

第六十九回帝國議會  
衆議院

# 不穩文書等取締法案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)  
不穩文書等取締法案(政府提出)  
總動員秘密保護法案(政府提出)  
退職積立金及退職手當法案(政府提出)

## 會議

昭和十一年五月二十日(水曜日)午前九時五十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 熊谷 直太君

理事 小山倉之助君 理事 川崎末五郎君

理事 齋藤 直橋君 理事 犬養 健君

岡本實太郎君 服部 英明君

勝田 永吉君 飯塚春太郎君

堀内 良平君 中村 又一君

渡邊 鏡藏君 淺沼稻次郎君

松田 正一君 松村 光三君

木村 正義君 本多貞次郎君

砂田 重政君 加藤鏖五郎君

宮澤 裕君 田尻 生五君

渡邊 泰邦君 福田 耕君

山口 久吉君 塚本 重藏君

田万 清臣君 藏原 敏捷君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 潮 惠之輔君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 次田大三郎君

社會局長官 廣瀬 久忠君

社會局部長 赤松 小寅君

社會局部長 山崎 巖君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

退職積立金及退職手當法案(政府提出)

○熊谷委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、松村君ニ發言ヲ許シマス

○松村委員 私ハ先ヅ重要ナル概括的ノ質問ヲ致シマシテ、ソレカラ各論ニ移ラウト

思ヒマス、第一ニ此法案提出ノ理由ト申シマス、度々説明サレテ居リマス中ニ、此

處ニ赤松君ノ書イタ澤山ノモノガアリマス、ソレハ失業保險ハ財政上其外ノ見地カ

ラ實際ニ實行スルコトハアマムツカシイ、ソレ故ニ是ハ失業保險ニ代置サル、社會立

法デアルト云フコトヲ度々ノ機會ニ於キマシテ言ウテ居ラレマス、私ノ茲ニ讀ミ上ゲマ

シタモノハ印刷ニ附シタモノデ、之ニ代ッテ置ク、代置サル、ト云フ言葉ヲ始終使ッテ居

ラレマス、サウスルト現内閣ハ勞働保險ハ財政上其外ノ見地カラ、殊ニ失業保險ハ實

行スルコトハ不可能デアルガ故ニ、之ニ代ッテ此法案ヲ提出シタルモノナリト解釋セザ

ルヲ得ナイノデアリマスガ、之ニ關スル内務大臣ノ所見ヲ一應伺ヒタイ

○潮國務大臣 松村君ノ御尋ニ御答致シマスガ、其點ハ先般本會議ノ席デゴザイマシ

タカ、ヤハリ御同様ノ御質問ガアリマシテ、ソレニ御答ヲ致シタノデアリマス、失業保

險其他勞働者ニ對スル金錢扶助ノ制度ニ付テ考ヘルコトハ決シテ差支ナイト思フノデア

リマス、諸テソレヲ失業保險ト云フ制度ヲ解決スルカセヌカト云フコトハ餘程考慮

ヲ要スルノデアリマシテ、勞働界ノ狀況ナリ、財政上ノ狀況等、色々其他各方面カラ研

究シナケレバ解決出來ナイ問題ダト考ヘテ居リマス、此法案ハ其際ニモ御答ヲ申上ゲ

マシタヤウニ、決シテ之ニ依ッテ失業保險制度ノ代リニ、ソレヲ阻止スルヤウナ意味合

ヲ以テ出シタト云フコトデモアリマセヌシ、又サウカト云ッテ失業保險ヲヤル前提ニ

之ヲヤルト云フコトニナリマスレバ、ソレモ左様デハナイノデアリマス、寧ろ是ハ獨

立ラシテ、此方法ニ依リ此程度ノ保護ナリ支給ナリヤルコトハ必要デアル、是ハ別

簡ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○松村委員 此赤松君ノ所論ハ公ニ之ヲ言

ハレテ居ルモノデアリマシテ、失業保險ハ非常ニ困難デ、特殊ノ原因ガアルカラ是ハ殆ドヤルコトハ出來ナイ、ソレ故ニ之ニ代

ルモノハナイカト搜シタ、又コチラデハ失業保險ニ代置サレル重要社會立法トシテ出

シタルアル、今ノ内務大臣ノ所見ト非常ニ違フノデアリマス、是ハ強ヒテ追究ハ致シ

マセヌガ、若シ失業保險ノ代案トシテ之ヲ出サレタト云フナラバ、是ハ現内閣ノ施政

ノ上ニ於テ非常ナ問題ヲ生ズルト思フノデアリマス、何故ナラバ而モソレガ財政上ノ

理由ニ依ッテ失業保險ガ實行出來ナイト云フナラバ、歷代ノ内閣ハ大體財政上ノ理由

ニ依ッテ社會立法ヲ、殊ニ政府自ラ金ヲ出ス社會立法ヲ殆ドヤッテ居ラナイ、又ヤレナ

イ、ソレダカラ勞働問題、農村問題等ニ付キマシテ、歷代ノ内閣、殊ニ岡田内閣以來

此内閣モ色々ナ聲明ハスルケレドモ、事實何モ出來ナイ、殊ニ政府自ラ金ヲ出ス社會

立法ハ何モ出來ナイ、大體各國ノ社會立法例ヲ見マシテモ、政府自ラ一文モ金ヲ出サ

ズニ、汚イ言葉デアアルカモ知レナイガ、他人ノ揮デ社會立法ヲヤルト云フ所ニ歷代ノ

第六類第十四號 不穩文書等取締法案委員會會議錄 第五回 昭和十一年五月二十日

一

内閣、殊ニ現内閣ノ非常ナ誤リガアルノデアル、金ヲ一文モ出サズニ社會立法ヲシヨウト云フ所ニ無理ガ生ジテ來ルノデアリマス、ソレダカラシテ總同盟ハ此案ガ出マシタ時ニ、苟クモ政府ガ斯ノ如キ案ヲ出シマスナラバ、労働者竝ニ事業主ニ百分ノ二ヲ強ヒルナラバ、政府自ラ百分ノ二ヲ出シテ、ソレヲ轉ジテ労働者ノ福祉ニ充ツベキガ本當デアルト云フ所見ヲ立テラレテ居リマス、

是ハ非常ニ面倒ナ問題ニナリマスルケレドモ、其精神ハ私ハ労働組合ノ主張ハ當然デアルト考ヘル、政府ハ一文モ金ヲ出サズニ、人ノ資金ノミデ社會立法ヲ施行シヨウトスル所ニ現政府ノ誤リガアルノデアリマシテ、労働組合ノ主張ハ實行ハ中々難カシイ問題デアルガ、私ハ確ニ社會立法ノ一ツトシテ考ヘナケレバナラスコト、思フノデアリマスガ、政府ハ斯ノ如キ状態ヲ以テマシテ現内閣ハ一文モ金ヲ出サズニ社會立法ヲ今日モ亦今後モ考ヘテ居ラル、ノデアリマスルカ、一言所見ヲ質シタイ

○潮國務大臣 失業保險制度ト本案トノ關係ニ付キマシテハ、私ガ申上ゲマシタ御答ヲ以テ政府ノ意思ト御諒解ヲ願ヒマス、ソレカラ尙ホ政府カラ一文モ出金セズシテ労働立法ヲヤラウト云フ精神カドウカト云フ

御尋デアリマスルガ、固ヨリ本案ノ如キハ政府カラ特ニ出金致シマセヌデモ成立チ得ルト考ヘマスガ、他ノ労働立法ヲ將來ニ於キマシテ必シモ政府ガ何等ノ犠牲ヲ拂ハズシテ致サウト云フ立場ハ執ッテ居リマセヌ、必要ニ應ジマシテハ、又財政ノ許ス限りニ於キマシテハヤルベキ場合モアラウト考ヘマス、之ヲ今日カラ否定シテ掛ッテ居ルモノデハナイコトヲ御答致シマス

○松村委員 左様ナラバ此案ハ最初ハ官業ニモ實行シヨウト云フ意思ヲ以テ始メラレタコトデアラウト當然推察スル、何故ナレバ之ヲ官業ニ行ハナイナラバ無意味デア

ル、其事ハ後デ日本ノ官業ノ賃銀支給状態ヲ私カラ示シマスガ、此機會ニ簡單ニ御尋シテ置キマスガ、日本ノ官業ニ之ヲ實行シナイ、サウシテ官業ノ支給ノ中デ非常ニ好イモノモアリ又退職手當ナド一ツモナイモノモアル、又アッテモ洵ニ極端ノ状態ノモノアル、官業ノ賃銀支給状態ハ後程私カラ申上ゲマスルガ、官業ノ賃銀支給拂状態ハ政府ガ出シタ表ニ依リマスルト、非常ニ官業ハ民間事業ヨリモ好イヤウニ出來テ居リマス、ケレドモ一々指摘致シマスルナラバ官業ノ賃銀支給ノ状態ハ洵ニ少クナッテ居リマス、サウ云フ事情ニアルニモ拘ラズ、政

府ガ之ヲ官業ニ何故ヤラナイカト云フト、是ハ民間ニ金ヲ出スコトハ財政上ノ理由デ困ル、陸海軍其他、郵便其他ニ關スル官業ニ對シテ退職手當ヲ實施スルニ至ルナラバ、政府ガ茲ニ餘計ナ財政上ノ負擔ヲ負ハザルヲ得ナイト云フコトガ官業ニ之ヲ及ボサナイ最大ノ原因ト考ヘルノデアリマス、内務大臣ハ金ノ方ハ何時デモ財政上ノ都合ニ依ッテヤルト云フコトデアリマスガ、官業ヲ加ヘナイ主タル理由ハ財政上ノ理由ナリト斷定致シマスルガ、内務大臣ノ御所見如何デアリマスカ

○廣瀨政府委員 官業ニ本法ヲ適用致シマセヌ、第一ノ理由ハ既ニ數回申上ゲタ通りデアリマスガ、本法ハ支拂ヲ確保スル爲ニ積立ヲスルト云フコトガ立前デアリ、其最モ重要トスル所デアリマス、併シ政府ノ仕事ニ付テハ積立ヲスル、サウシテ支拂ヲ確保スルト云フ必要ハナイノデアリマスカラ、ソコデ官業ニ對シテハ適用ヲ致サナイト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、是ガ最も主ナル點デアリマス、ソレカラ尙ホ官業ニ關スル退職手當デアリマスガ、官業ニハソレノ勅令ニ基キマシテ共濟組合ガアル、之ニ依ッテ脫退給與金ガアル、其他ニ尙ホ政府自身カラ支給シテ居ル所ノ退職手當モア

リマスノデ、大體ニ於テ本法ヨリ待遇等ハ好クナッテ居ルノデアリマス、併シ御話ノヤウニ官業ニ於テモ十分デナイ所モアリマスノデ、ソレニ對シマシテハ大藏省ト致シマシテ相當ノ改善ヲ圖ルト云フ豫定ニナッテ居ルノデゴザイマス

○松村委員 一言伺ヒマスガ、郵便關係ノ官業ニ於キマシテハドウ云フ退職手當ヲ施行致シテ居リマスカ

○赤松政府委員 郵便關係ニ於キマシテハ本案ニ關係ガゴザイマセヌノデ、十分ニマダ調査致シテ居リマセヌガ、一部ニ付キマシテハ餘リ好イ待遇ハ致シテ居ラナイカト考ヘマス、尙ホ後刻調ベテ御答致シテモ宜シウゴザイマス

○松村委員 私ハソコガ現内閣ノ大キナ誤リデアルト言フノデス、民間ニ實行ヲ強フルニ當ッテ官業自ラ之ヲシテ居ラナイ、官業自ラ之ヲセズシテ官業ノ待遇ハ大體ニ好イトハ如何ナル御考ヘデアリマセウカ、官業中ニハ退職手當ノ實行ノナイモノモアリ、アッテモ郵便ノ如キ、若シ私ノ信ズル所ニ誤リガナケレバ、郵便從業員ノ退職規定ハ一年ニ一圓位デヤナイカト思フ、ハッキリ分ラナイノデスガ、斯ウ云フ退職手當デ洵ニ憐ムベキ殘酷ナル待遇デアル、斯ル規定ヲ自

ラ持チナガラ、人ニ難キヲ強ヒテ自ラハ實行シナイ、私ハドウカ政府自ラ省ミテ、少クトモ官業ニ於キマシテハ此以上ノ規定ノ退職手當ヲ直チニ總テノ官業ニ實施スル意思アリヤ否ヲ内務大臣ニ伺ヒタイ

○潮國務大臣 官業ニ對スル大體ノ態度ハ先程長官カラ御答ヲ申上ゲマシタ、尙ホ個個ノ官業ニ付テノ御話デゴザイマスカラ政府委員ヨリ御答ヲ致シマス

○赤松政府委員 郵便關係ノ官業ニ付キマシテハ、本案ハ工場鑛山ニ對シマスル退職手當ヲ定メテ居リマスノデ、工場鑛山ニ屬シマスル官業ニ於キマシテハ、本案ヨリ勿論大體ニ於テ宜シイ待遇ヲ致シテ居リマス、全然別種ノ性質ノモノニ付キマシテハ本案ハ關係致シテ居リマセヌノデ、其點ニ付キマシテハ又別箇ニ考フベキコトハ本案ト切離シマシテ、官業全般ノ待遇問題トシテ考ヘル必要ハアラウト思ヒマスガ、本案ノ適用ニ於キマシテハ關係ガナイモノト御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村委員 第一條第三「勅令ヲ以テ指定スル事業」ハ工場鑛山以外ニハナイノデアリマスガ、ドウデアリマスガ

○赤松政府委員 目下ノ所第三號ニ依リマシテ指定致シマスモノニ付キマシテハ豫定

致シテ居リマセヌ、行クノ情勢ノ變化ニ伴ヒマシテ擴張致シマス場合モ生ズルカト存ジマスガ、只今ノ所デハ豫定致シテ居リマセヌ

○松村委員 昨日申シマシタ通り勅令案ノ内容ヲ速ニ御示シ願ハナケレバ審議ハ進メ兼ねマス

○潮國務大臣 御手許ニ廻シマシタ勅令案ノ中デ此第三號ノハ恐ラクナカラウト思ヒマスガ、今申シマシタヤウニ今直チニ指定スルト云フ見込ヲ立テテ居リマセヌカラ、參考書類ニシテ御上ゲシテナイト存ジマス

○松村委員 サウスルト愈是ハ分ラナクナル、電力トカ、瓦斯トカ、電車トカ、鐵道トカ、運送會社トカ、サウ云フヤウナ重要ナルモノハ大體指定シナイノデスカ

○廣瀨政府委員 サウ云フ工場鑛山ニ於キマシテ退職手當ノ制度ガ發達シテ居ルノデアリマシテ、先ヅ之ヲ法律化致シマシテ、サウシテ之ヲ合理化スルト同時ニ普及シヨウ、先ヅ工場鑛山ニ付テヤル、斯ウ云フノガ本法ノ第一條デアリマス、其實施ノ成績ニ徴シマシテ將來擴張スルコトガアルカモ知レマセヌガ、今ドレニヤルト云フコトハ豫定致シテ居リマセヌ

○松村委員 然ラバ第三ノ勅令ヲ以テ指定

スル事業トハドウ云フモノデアルカ、腹案トカ内案トカ、例ヘバドンナコトデスカ

○廣瀨政府委員 先程來申上ゲテ居リヤウニ、今はレト云フコトヲ豫定シテ居リマセヌカラ、申上兼ネル次第デアリマス

○加藤委員 一寸關聯シテ申上ゲタイ、只今勅令、命令ノコトニ關シテハハッキリ御答辯ガナイノデアリマスカラ、ドレガ適用ヲ除外スルトカ、ドレヲ加ヘルトカ云フ、勅令ニ於テ指定スル第一條ニアル事業ガハハ

キリ致シテ居リマセヌ、私ハ是ガ根本問題ダラウト思フ、私ハ此頃本會議ニ於テ、ドレヲ勅令ヲ以テ指定サレルカト云フコトヲ御尋致シマシタ所ガ、只今ノ所デハ何等考慮シテ居リマセヌカラ、是ハ追々研究シテ行キタイト思ヒマス云フコトヲ、内務大臣ハ御答辯ニナツテ居ル、是ハ私ハ驚入ッタコト、思ヒマス、ソレカラ又昨日此勅令及ビ省令ノ大綱ガ出テ居リマスルガ、除外規定ノ業種別ト云フモノモハハッキリシテ居ラス、茲ニ第一條第二項ノ適用ヲ除外スルモノノ業種別ガ出テ居リマスルガ、製絲業トカ織物業、陶器、燐寸、珐瑯鐵器、斯ウ云フモノガ出テ居リマスガ、是ガハハッキリシタモノデアアルカドウデアアルカト云フ質問ヲ岡本君カラサレルト云フト、政府委員ノ方デハ

ドウモ是ハハハッキリシテ居ラヌト言フ、又之ヲ加ヘタリ減スカモ知レヌト云フヤウナコトデアアル、是デハ一體吾々ハ何ヲ此處デ審議シテ居ルカト云フコトヲ考ヘニヤナラス、何トナラバ三十名ト云フコトヲ五十名ニスルガ宜イカ、或ハ三十名ハ多過ギルカラモウ少シ減ラシテ十名ニシタ方ガ宜イトカ、二十名ニシタ方ガ宜イトカ云フ議論ガアルノデアリマスルガ、是ガ三十名ノモノヲ五十名ニ直シマシタ所ガ、又此三十名ヲ十名ニ之ヲ少クスルト致シマシタ所ガ、假ニ工場法ノ適用ヲ受ケル工場ト云フモノヲ十名ニ若シ之ヲ致スト致シマシタナラバ、皆適用ヲ受ケルカト云フト、省令ニ於テ是ダケハ適用ヲ除外スルト云ッテドンノ之ヲ殖サレルコトニナレバ何等意義ハナイコトニナル、是ハ一體ドウデアリマスガ、是ハハハッキリシタモノデアアルカ、或ハ唯見本トシテ見セタト云フノデアリマスガ、内務大臣ノ本當ノ御所信ヲ承リタイ、是ハハハッキリシタモノデアアルカ、宜イ加減ナモノデアアルカ、内務大臣ニ私ハ細カイ業種別ヲ言フノデアリマセヌ、御示シニナツタモノハ唯見本トシテ御示シニナツタノデ、是ハ時々加ヘタリ減シタリスルモノデアリマスガ、是ハ根本ノ問題デアリマス、是ガハハハハハハハ

上審議シタツテ仕方ガナイト思ヒマス

○潮國務大臣 加藤君ノ御質問ノ時ニ考慮ヲスルト申シタ、ソレハ甚ダ分ラヌデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、其點ハ一條ノ三號ニ付テノ問題ダッタト思ヒマス、ソレハ今政府委員カラモ申上ゲタヤウニ、豫定ヲ致シテ居リマセヌカラソレデ將來ノ考慮ニシナケレバナラヌト云フコトデアル、第二項ニ付キマシテハ見本ニト云フ譯デハアリマセヌガ、大體サウ云フモノニ付テハ考ヘル、併シ之ヲ勅令ヲ決メマスマデニ寸分是ガ違ハヌト云フコトニハ申上ゲ兼ネル、研究ノ結果——大變間違ッテ居ルヤウナコトヲ申上ゲルコトニナッテモイケマセヌカラス様ナ類ハヤル見込デアリマス、尙ホ是ハ其外ニ於キマシテモ十分ニ研究スルト云フ意味デ御答申上ゲタノデアリマス

○加藤委員 是ハ益、私共ハ御答辯ヲ得テ分ラヌヤウニナル、大體此法案ニ依リマシテモ、命令、勅令ト一杯ニ書イテアル、今マデノ例ニ依リマスルト、吾々ガ或ル法案ヲ協賛致シマス、所ガ後デ命令、勅令ニ依ッテ協賛シタ意味ガ全部骨抜キニナル、骨抜キニナッタヤウナコトガ多々アリマス、選舉法ノ如キ然リデアリマシテ、之ニ依ッテ選舉違反——アノ戰慄スベキ所ノ勅令ヲ出サレ

テ居ル、今回ノ此法案モ勅令、勅令ト皆アルノデアリマスガ、之ヲ後デ社會局ノ一局ニ於テ、自由ニ此業種別ヲ加ヘタリ、減ラシタリサレタナラバ、吾々ノ審議ト云フモノハ何ノ意義ガアルカ分ラナクナル、之ヲハッキリシテ戴キタイ、是ハ殆ド吾々全體ノ希望デアラウト想像シマスカラ、先ヅ之ヲハッキリシテ貰ハナケレバナラヌ、是ハ吾々常時三十人ト云フノヲ五十人ニシタ方ガ宜イデヤナイカト云フ意向ヲ持ッテ居ル者モ然リデアリマスガ、又三十人ヲ十人ニセヨト云フ從業者側ノ立場ノ意見ヲ持ッテ居ル者ハ、尙ホ此處ガハッキリシナイト危險ヲ感ズル事柄デアリマスカラ、是ハドウシテモハッキリシテ貰ヒタイ、内務大臣ハ何時迄ニ之ヲ御出シニナルカ、早く御出シニナラナケレバ困ル、是カラ考ヘルナドト云フコトデハ困ル、内務大臣ハ近ク、今日ニデモ御出シニナル御考デアルカ、又ハ後デユックリ御考ヘニナル御積リデアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○犬養委員 御答辯ガナイヤウデスカラ、私ハ議事進行ニ付テ一言申上ゲタイ、是ハ只今内務大臣ガ御出席ニナッテ居ラレマスカラ御注意ニ申上ゲルノデスガ、只今ノ加藤委員ノ質疑デゴザイマスネ、是ハ昨日致

サウト云フ話ガアッタノデズ、併シアナタガ貴族院ノ豫算委員會ニ御出席デアルカラ、内務大臣ガ御出席ノ時ニ、是ハ根本問題トシテ一應御注意ヲシナケレバ議事進行ニ付テ非常ニ支障ガ起ルト云フノデ、實ハ此法案審議ノ全般ニ付テ申上ゲテ居ルノデアリマス、是ハ敢テ第一條ノ問題ノミデハナイ、勅令ニ依ル、省令ニ依ル、主務大臣之ヲ定ムト云フコトガ大分アリマスガ、其命令事項ニ關シテ衆議院ハ根本疑義ヲ持ッテ居ルノデアアル、決シテ意地悪ク申シテ居ルノデハナイ、現ニ第一條ノコトヲ取敢ヘズ取上ゲテ申上ゲレバ、本法適用ノ勞働者三十人、之ヲ現ニ塚本君ナド本會議デ十人ニシタイト云フヤウナ意向デアッタガ、一方ニハ又五十人ニセリ上ゲタイト云フヤウナ意向ガアル、ソレデ五十人ニ變ヘタイト云フヤウナ非公式ノ御話ガアッタ時ニ、内務省ノ方々ハドウ仰シヤッタカ、ソレハ第一條デ五十人トハッキリスルヨリモ、第一條ノ第二項ノ「主務大臣ハ事業ノ種類又ハ規模ヲ限リ本法ノ適用ヲ除外スルコトヲ得」ト云フ所ニ於テ彈力性ヲ持タシタ方ガ、立法ノ味ガアルノデハナイカ、斯ウ仰シヤッタ、其立法ノ味ガアル所ノ除外例ノ參考書類ヲ見セテ呉レ給ヘト言ッタ所ガ、此書類ヲ見セテ

呉レタ、此書類ヲ拜見致スト、色々工場ノ種類別ガ書イテアル、命令事項ニ對シテ根本ノ疑義ヲ吾々ガ持ッテ居ルカラ、此省令ノ内容ハ確定的ノモノデアルカ、是ハ思付キデ書イタモノデアッテ、將來變ヘルカモ知レナイ、ソコデ吾々ノ命令事項ノ運用ニ關シテ根本ノ疑義ガ非常ニ深マッテ居ル、是デハ審議ノ全般ニ非常ニ私ハ差障ルト思フ、決シテ意地悪ク申シテ居ルノデハアリマセヌ、滑カニ進行サセタイ爲ニ申シテ居ルノデスカラ、之ヲ根本的ニハッキリシテ貰ヒタイ、從來政府ノ方ノ御考ニ依リマス、法案ノ本文其モノガ決マラナイ中ニ——命令事項ハ後デ定メテモ宜イト云フ御考ガアルカモ知レマセヌガ、今日ノ衆議院ト云フモノハ命令事項ノ運用如何ト云フモノニ非常ナ深い疑ヲ持ッテ居ルカラ、命令事項ト云フモノニ付テハハッキリ法案ノ全般ニ互ッテ態度及ビ範圍ヲ決メテ戴キタイ、私ハ決シテ無理ヲ申シテ居ルノデハアリマセヌ、ドウカ此事ニ付テ明確ナル御答辯ヲ得マセヌト、私ハ審議ト云フモノニ餘程差障ルモノト思ッテ居リマス、是ハ意地悪ク申スノデハアリマセヌ、議事進行ヲ滑カニシタイ爲ニ申上ゲテ居ルノデズ、ハッキリ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマス

○塚本委員 其答辯ノ前ニ丁度ソレニ關聯シテ議事進行デ……

○熊谷委員長 塚本君

○塚本委員 前ノ質問竝ニ今ノ犬養サシノ發言ニ關聯シテデアリマスガ、私共ハ是非非常ニ重大ナル問題デアリマスシ、審議ヲ進メテ行クノニ可ナリ此事デ紛糾シテ時間ヲ取ル虞ガアルト見テ居ルノデアリマス、

是ハ切ニ委員各位ニモ御願シタイト考ヘマスガ、圓滿ニ此議事ヲ進メテ行キマス爲ニハ、是等色々ナ差障リノアル事柄ヲ極ク簡潔ニスルコトガ先ヅ必要デハナイカト思フノデアリマス、ソレカラ此第一條ニ關聯スル範圍ニ於ケル委員各位ノ御意見ヲ伺ッテ居リマス、或ハ適用範圍ヲ五十人ニシテハドウカ、或ハ勅令ヲ以テ指定スル所ノ事業ノ内容ガ分ラヌデヤナイカ、或ハ主務大臣ハ事業ノ種類又ハ規模ヲ限ッテ本法ノ適用ヲ除外スルコトヲ得ルトシテデアリマスガ、其除外ハドウスルノデアアルカト云フコトニ懸ッテ居ルト思フノデアリマス、サウ云フコトニ關聯シテ皆サンガ質疑ヲ試ミラレ

ルコトハ尤モト考ヘマスガ、ソレ等ヲ通觀シテ私ノ頭ニ起ッテ來ルモノハ、出來ルダケ適用ノ範圍ヲ狭メヨウトナサル御意思ガ可ナリ濃厚デアアルカノ如クニ思フノデアリマ

ス(「ノー」)「サウ云フ想像ヲシテハイカヌ」サウスルト益、確メナケレバナラヌ」ト呼フ者アリ)ソレデ私ハ當局ニ對シマシテ……(「擴大スルノダ」マルデ反對ノコトヲ言フナ」ト呼フ者アリ)」

○熊谷委員長

アナタノ聽カント欲スル所ヲ言ッテ下サイ

○塚本委員

今ノ言葉ニ益、私ハ意ヲ強ウシマシテ非常ニ喜ビトスルモノデアリマスガ、サウ云フ御趣旨デ議事ヲ進メテ戴キマスナラバ、私ノ喜ビ、是レ以上ノモノハナイ、サウ云フ御趣旨デアリマスナラバ、今參考書トシテ戴キマシタ所ノ工場法、鑛業法ノ適用ノ範圍ノ擴張ノ沿革デアリマス、既ニ明治四十四年ノ三月二十九日此工場法ノ發布ニ當リマシテ、其當時既ニ其工場法ガ發布ニナリマシタ最初ハ十五人以上ノ工場ニ是ガ適用サレルト云フコトニナッタノデアリマス、ソレガ大臣十二年……

○熊谷委員長

塚本君一寸御待チ下サイ、アナタガ聽カントスル所ノモノハ只今ノ松村君ノ質問其他ノ議員ノ質問ノ條項ニ關聯シナイ……

○塚本委員

其適用ノ範圍ノ問題デアリマス、松村氏ナリ、犬養氏ノ御質問モ適用ノ範圍ノ問題デアリマセウ、隨テ其適用ノ範

圍ノ問題ニ關聯シテ發言ヲ求メテ居ルノデアリマス

○熊谷委員長

簡單ニ言ッテ下サイ

○塚本委員

議事ノ進行上當局ガ御答辯ニナリマスル前ニ、私ハ其答辯ニ付テノ御注意ヲ申上ゲタイト思ッテ居ルノデアリマス(「ソレハイカヌ」注意ハ議事進行デヤナイ」議事規則ヲ知ラスカ」ト呼フ者アリ)」

○熊谷委員長

アナタハ後デ又好イ機會ニ御述ベニナッタラ如何デス

○塚本委員

私ハ昨日モ關聯事項ニ付テ發言ヲ求メタ時ニ、アナタハ私ニ發言ヲ御許シナラナカッタ、而シテ他ノ委員ニハ發言ヲ許サレタノデアリマス、私ハ今同一ノ關聯事項ニ付テ發言ヲ求メテ居ルニ拘ラズ、ソレガイケナイト云フコトデアリマスナラバ、私ハ一切ノ發言ヲ私ノ發言ノ順序ノ廻ッテ來ルマデ保留致シマス(「ソレガ本當ダヨ」ト呼フ者アリ)」

○潮國務大臣 只今ノ御尋ナリ、御注意モアリマシタガ、私ハ決シテ御質問ニ對シテ誤解ヲ持ッテハ居リマセヌ、誤解セズニ御答ヲシテ居ルノデアリマスガ、此除外スル事業ノ範圍ハ御手許ニ差上ゲマシタ數多ノモノガ入ルデアラウ、其外ノモノニ付キマシ

テハ出來得ベクンバハッキリ明瞭ニスルコトガ宜シイト思ヒマス、尙ホ是ハ勘考スベキ餘地モアルノデゴザイマスカラ、今全部ヲハッキリ此處デ申上ゲルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、而シテ委員會ノ御意見ノ在ル所、又議會ノ御協賛ノ精神ノ在ル所、ソコヲ能ク酌ミマシテソレニ副フヤウナ處置ヲ命令ニ於テ致シテ行キタイト思フノデアリマス

○木村委員

今ノ御答ニ對シテ議事進行デ一言……

○熊谷委員長

議事進行デスネー木村君

○木村委員

今内務大臣カラ御答ガアリマシタガ、ドウモ内務省ノ勅令、ソレカラ命令、主務大臣ガ定ムト云フコトニ付テ吾々ニ配付サレマシタモノヲ見ルト、實ハマダ其命令、勅令、主務大臣定ムト云フ中デ、吾々ノ手許ニ來テ居ナイノガ澤山アリマス、是ハ是非全部御示シテ願ヒタイト思ヒマスガ、ドウモ多少誤解ヲサレテハ居ナイカト思ヒマス、何カ參考ノ爲ニ一寸思付キヲ出シテヤッタラバ、ソレデ宜ササウダ、斯ウ云フ御考デヤナイカト思フ、併シ私共ハ法律案ヲ審議致シマス爲ニハ、少ク

トモ法律案ニ基ク所ノ勅令ナリ命令ナリ、主務大臣ガ定ムト云フコトハ、法律案ヲ定

メラレル時ニ當然確定ヲ致サルベキモノデアル、其後事情ノ變化ニ依ッテ内務當局ニ於テ御變更ニナル、勅令ヲ出サレル時ニ變更ニナルト云フコトハ、私共ハ或點ニ於テ有り得ルト思ヒマス、併ナガラ少クトモ現在ニ於テハ、内務當局トシテハ是ダト云フ、斯ウ云フ案ガナクチャナラス、所ガ今日御出シニナッテ居ルモノハ、現在ノ所内務省トシテハモウ是レ以上考ヘテハ居ナイノダ、其後ノ情勢ノ變化ニ依ッテ又之ニ變更ガ來ルト云フコトガ正シイ理由デアリマスルナラバ、私共ハソレハ餘儀ナイコト、思ヒマスガ、現在出サレタモノヲ何カ例示ミタイナ積リデ御出シニナッテ居ルト云フコトデアルナラバ、私ハ法案審議ノ上ニ非常ナ支障ヲ生ズルコトデアッテ、又斯ノ如キコトデアッテハナラヌト思ヒマス、ソコデ少クトモ御示シニナルモノハ現在十分内務當局デ御打合セニナッテ、是ガ今日考ヘテ居ル最上ノモノデアル、是レ以外ノコトハ考ヘテ居ナイノダ、事情ガ變化シテ又サウ云フ場合ガ生ズレバ是ハ別問題デアリマスガ、サウ云フ意味ニ於テ私共ニ御示シニナラヌト、參考ニ貰ッテモ何ニモナラヌ、斯ウ云フコトニナリマスカラ、其意味ニ於テ私共ハ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 昨日御要求ニナリマシタ

勅令、省令案等ニ付キマシテハ、手續的ノ規定ノモノガマダ未提出ノモノガアルヤウデアリマスガ、サウデナイ實質上ノモノニ付テハ、既ニ提出ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯ソレガ全部確定のデナイト云フコトハ尙ホ研究ヲ致サナケレバナラヌ點ガアリマスガ、ソレハ本法案ノ御協賛ヲ得マシタ後ニ於テ御意見ノアル所ヲ參酌シテ、尙ホ實情ニ合セテ決定ヲ致シタイ、斯ウ思ッテ居ル譯デアリマス

○熊谷委員長 内務當局ニ御相談シマス

ガ、如何デスカ、是ハ本當ニ勅令及ビ省令ノ範圍ガハッキリ決マラヌト云フト、本法ノ審議ノ上ニ於テ重大ナル影響ガアルト考ヘマス、丁度只今犬養君、木村君カラモ申サレタ通りデアリマスガ、其點ハドウデゴザイマスカ

○潮國務大臣 委員長ノ御注意モゴザイマ

スカラ、繰返シテ申上ゲマスガ、第一條ノ第二項ニ關シマシテモ、御手許ニ廻シマシタコトハ考ヘテ居ルノデアリマス、是ダケデ更ニ洩レガナイ、絶對ニ是ダト云フコトニナリマス、尙ホ御意見等モ拜聽シ、又コチラデモ考ヘテ見ナケレバナリマセヌカラ、一カラ十マデ全然此通りデアリマス

云フコトハ申上ゲ兼ネルト思フ、斯ウ云フモノヲ差上ゲタ、其他ノ點ニ付キマシテマダ足ラヌモノガアリマスレバ、今モ聞キマスレバ手續ニ關スルコトナドハマダ差上ゲテナイト云フコトデアルカラ、サウ云フモノハ取急イデ御廻シヲ致シマス、コチラモ決シテ考ヘズシテ唯御目ニ掛ケタ譯デハナイノデアリマス、私モ質問ニ對シテ決シテ誤解ハ致シマセヌガ、コチラノ態度ニモ誤解ヲ下サラヌヤウニ御願致シマス

○岡本委員 率聯シテ一寸……、内務大臣

ノ御説明デ餘程分リマシタガ、一應確メテ置キタイ、此處ニ書イテアルモノハ、後日勅令ニ依ッテ省カレルコトハアルマイ、是ハ御差支アルマイ、尙ホ續キマシテ是デハマダ例示シテアルモノハ足ラナイカラ、之ニ追加サレルモノガアルガラウ、之ヲ此意味デ伺ッタノデスカ……

○廣瀨政府委員 第一條ノ第二項ノ省令ト

シテ差上ゲマシタモノカラ省クモノハナイカト云フノデアリマスガ、省クモノハアリマセヌ、將來追加スルモノガアルカト云フ仰セデアリマスガ、ソレハアルカモ知レマセヌガ、今ハハッキリ是ト云フコトハ申上ゲ兼ネマス

○岡本委員 御示シニナッテ例示ノモノハ

省カレルコトハナイ、此以外ニ尙ホ追加サレルカモ知レナイ、サレナイカモ知レナイ、追加サレルモノガアルナラバ、此陶磁器ノ工業ニ頗ル能ク似テ居ル、同ジ窯業ノ硝子工業、食料品工業、是ナドハ御追加ニナッテ、之ニ御加ヘニナッテモ宜イモノト思ヒマス、御意見ヲ一寸承ッテ置キマス

○赤松政府委員 十分ニ今御示シノ點ニ付

キマシテハ具體ニ研究致シテ居リマセヌカラ、御意見ノ程ハ拜聽致シテ、十分ニ研究サシテ戴キタイト思ヒマス

○犬養委員 一寸關聯事項ニ付テ簡單デス

カラ……、只今岡本委員ノ御質疑デスガ、ア、云フ御質疑ガアルト内務當局ガ非常ニ用心ヲサレ、吾々ノ眞意ガ疑ハレルヤウナ、逆戻リノヤウナ狀況ニナルノデスガ、勅令命令事項ニ對スル吾々ノ疑ト云フモノハ、サウ云フ一分一厘違ッたら承知ラシナイゾト云フヤウナ非常識ナ話デハナイ、勅令命令ニ委セル其事項ノ大體ノ全貌ヲ伺ッテ審議上ノ安心ヲ得タイ、斯ウ云フコトナデス、ソレガ少シ違ッたら怪シカラヌト云フヤウナソナ問題デヤナインデス、ソレヲ能ク辨ヘテ戴キタイ、從來モ内務省ノミナラズ、所管省ノ御方針ヲ大體此衆議院デ拜見シテ居リマス、法案ノ通過後ニ

命令事項ト云フモノヲユックリ御決メニナル、又其關係委員ト當該政府委員トノ話合デモ、從來ハ命令事項ハ何レ……斯ウ云フ大體ノコトデ定メマセウト云フヤウナ極ク曖昧ナ話合ヒデ濟シテ來タモノデス、所ガ此頃ノ色々ノ情勢カラ考ヘマシテ、命令事項ノ運用ト云フモノニ對シテ、吾々ハ失禮ナガラ根本的ナ疑ヲ持ッテ居ルノデス、其疑ヲ持ツト云フコトガ無理カラヌト云フコトハ先刻御承知デアラウト思フ、デスカラ大體ノ命令事項、勅令事項ノ全貌ヲ御示ヲ願ヒタイ、少シ間違ッタツレハ構ヒマセヌ、サウ云フ意味デス

○廣瀨政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテ申上ゲマスガ、勅令、省令ノ全貌ニ付テト云フ御話デアリマスガ、私共ノ方ノ考デハ其全貌ヲ知り得ル範圍ニ於テ昨日御手許ニ差上ゲタ積リデアリマス、唯手續ノ規定等ニ於テ殘デ居ルモノガアルヤウデアリマスカラ、ソレハ現ニ持合セノモノハ無論差上ゲテ差支ナイト思ヒマス、全貌ニ關シテノコトデアリマスルナラバ差上ゲタ積リデアリマス

○渡邊(泰)委員 勅令ノ内容ニ付テ範圍ヲ御示シ下サル際ニ、第六條ノ標準賃金ハ健康保險法ニ依ルトシテアル、其健康保險法

ノ表ト、ソレカラ大體文明各國ノ最低賃金、是ハ州ニ依リ、國ニ依ッテ違ヒマスガ、其最低賃金ガドノ位デアルカ、其表ヲ序ニ……

○熊谷委員長 ソレハ後デ一ツ……

○松村委員 只今ノ質疑應答ヲ聽キマシテ、今ノ答辯デハ益分ラナイ、何故ナレバ全貌的ノモノハ殆ド出シテ、手續ノモノガ殘ッテ居ルダケダト御答ニナッテ居ル、全貌モ全貌、一番肝腎ナル第一條ノ第三號ノ勅令ヲ以テスル事業ハ何カト云フコト、是ダケ政府ハ色々ナコトヲ澤山出シテ居ラレルノニ、是デ全貌デアリマスカ、今政府ノ御答ニ依リマスレバ、勅令ヲ以テ指定スル事業ハ現在ノ所デハ何ニモ考ヘテ居ラナイト云フコトデアリマスルガ、ソレヲ明確ニ御答願ヒタイ、若シ何モ考ヘテ居ラヌト云フコトデアルナラバ、先ニ言ッテ置キマスガ、ソレハ極ク大事デアリマス、吾々ハ工場、鑛山以外ニモ本法ヲ擴大シナケレバナラヌト云フ趣旨デアリマスガ故ニ、勅令ヲ以テ指定スル事業ヲ何ニモ考ヘテ居ラヌト云フコトデアルナラバ、斯ノ如キ狹キ範圍ニ適用セントスル本法ノ審議ハ進メ兼ねマスカガ故ニ、ハッキリ御答ヲ願ヒタイ

○廣瀨政府委員 只今ノ御質問ノ勅令ヲ以

テ指定スル事業、第一條ノ三號ニ關スル御質問デアリマスガ、之ニ付テ何モ御手許ヘ差上ゲテ居リマセヌシ、先程申上ゲタヤウニ將來ノコトハ率ザ知ラズ、現在ニ於テハ指定スルト云フ事業ヲ考ヘテ居リマセヌノデ、差上ゲテ居ラヌノデアリマス

○松村委員 本法ガ折角社會立法ト名乗ラレルニモ拘ラズ、僅ニ工場法竝ニ鑛山法ヲ適用スル一部ニノミ適用シテ、而モ官業ハ除外スル、現在ノ日本ニ於テ非常ニ考ヘナケレバナラヌコトハ、鐵道、電氣、瓦斯、或ハ船會社——造船所デヤアリマセヌ、斯様ナモノニ本法ヲ適用スルニアラズンバ社會立法ト云フ名ノミ大ニシテ、本案ハ甚ダ其適用ノ範圍ノ貧弱ナルコトニ驚ク、私ハ勅令ヲ以テ指定スル事業ハ餘程アルト、今日マデ政府ノ此法案ヲ非常ニ信ジ、且ツ信賴シテ居ッタ、現在ノ所勅令ヲ以テ指定スル事業ガ何モナイト云フニ至リマシテハ、私ハ本當ニ社會立法ト云フ名バカリデ、狹イ範圍ニノミ適用シヨウトスル政府ノ趣旨ニ驚カザルヲ得ナイノデアリマス、ドウモ後カラ是ハドン／＼決メテ勅令ヲ以テ指定セラレト云フ趣旨ナラバ、尙ホ左様ナ官僚的ナ考ハドウシテモ打破シテ貫ハナケレバナラヌガ、何ニモ考ヘテ居ラヌト云フ今ノ

社會局長官ノ御意見ハ、ドウシテモ私ハ信ジ兼ねルト同時に非常ニ遺憾デアリマス、內務大臣ハ此社會局長官ノ答辯ヲ以テ満足致サレテ居リマスカ、內務大臣ノ所見ヲ伺ヒマス

○潮國務大臣 勅令指定事業ニ付キマシテハ、社會局長官カラ申上ゲマスカウニ、將來ノコトハ研究シテ行カナケレバナリマセヌカラ、將來其事業ヲ指定スルト云フコトガ起リ得ルカト存ジマスルガ、只今ハ此勅令ニ依ッテ斯様ナモノヲ指定シマスト云フコトハ決メテ居リマセヌト云フ社會局長官ノ答辯ハ私モ其通リト考ヘテ居リマス、唯ソレデハ餘リニ狹イデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、狹クハアリマスガ、先ヅ工場鑛業カラ進メテ行キタイ、先ヅ漸進ノ意味ヲ以テヤッテ居ル譯デアリマス

○松村委員 內務大臣ノ御答デ以テ明瞭ニナリマシタ、現在何モ考ヘテ居ラナイ、將來ハ別デアル、何モ考ヘテ居ラナイナラバ洵ニ遺憾デアルガ、此第三號ハ削除シナケレバナラヌ、併シ吾々ハ削除スルコトヲ望ムモノデハナイ、削除シテハ大變デアル、ケレドモ削除シナケレバ理論ノ上カラ本案ハ成立チマセヌ、故ニ速ニ今晚ノ中ニ省議ヲ開イテ、明日ノ朝マデニ適用スル指定事

業ニ付テ勅令ノ内容ヲ決定スルニアラズンバ、私ハ本案ハ審議ガ出来ナイと思フ、徹夜シテデモ今晩ノ中ニ省議ヲ開イテ、大凡指定スル事業ヲ一ツナリ二ツナリデモ定メルニアラズンバ、斯様ナコトヲ法律ノ上ニ規定シテ居テハ洵ニ危険千萬デアリマス、本案ヲ削除スルカシナイカト云フ是ハ肝心ナ問題デアルガ故ニ、内務大臣ノハッキリシタ所見ヲ求メマス

○砂田委員 議事進行ニ關シテ發言ヲ求メマス、先刻カラ質問應答ヲ聽イテ居ルト云フト、一體是ハ内務省デモ法制局デモ餘程此立法技術ニ於ケル最近ノ趨勢ヲ少シ御考ヘニナラナケレバナラス、潮君モ御承知ノヤウニ、從前ニハ法律案ガ提案サレル場合ニハ、勅令若クハ命令ノ少クトモ原案ニナルベキモノハ議員ニ御示シニナッタノガ先例デアリマス、所ガ最近ノ傾向ハ何デモ命令若クハ勅令ニ委シテシマッテ、兎ニ角内容ニ互ルコトハ一切官僚ダケデ勝手ニ出來ルト云フ風ナ立法技術ニ、此項法制局デモ内務省デモ皆ナッテ來テ居ル、此法案ニ對スル命令ダケデモ五ツアリマス、勅令ガ二ツ、施行令ノ外ニ勅令ガ二ツ、斯ウ云フ風ニナッテ居リマスガ、是ハ最早今日デハ斯ウ云フ立法技術ノ行キ方デハ議院ヲ通過シナイ、

以前ノ通りニ少クトモ政府ノ方デ立法ヲサレル時ニハ大體ノ方針ガ決ッテ、サウシテ勅令ナリ命令ナリハ未定稿ニモシロ、其案ヲ御示シニナルト云フコトデナケレバ、安心シテ審議ハ進メラレナイ、斯ウ云フコトニ今日ハナッテ來タノデアリマス、ソレダカラ政府ノ方デモ先ヅ今迄ノ人ノ此行方ノ何デモ官僚ダケデヤルンダト云フ、此觀念ヲ御捨テニナッテ、議會ニハ腹藏ナキモノヲ御提案ニナリ、又御説明ニナラナケレバ、審議ガ段々遅レテ參リマス、是ハ潮君ハ以前カラ内務省ニ長ク居ラレタカラ御承知ノコトデアル、吾々ハ如何ナル法律案ガ出タ場合デモ、勅令若クハ命令ノ未定稿ノ案ハ見セテ貰ッタ、ソレガ最近ハ斯ウ云フモノハチットモ見セナイデ、是カラ考ヘルノダ、サウ云フコトデハ法律案ハ通りマセヌ、先ヅ其根本ノ考ヲ改メテ御臨ミニナリマセヌト審議ハ進行シナイと思ヒマスカラ、私ハ此意味ニ於テ政府ニ於テ十分御考ヘニナッテ、腹藏ナク内容ヲ御示ヲ願フコトガ、審議ヲ進行スル所以ナリト考ヘマスカラ、此點ヲ申上ゲテ置キタイと思フノデアリマス

○熊谷委員長 暫時休憩致シマス  
午前十時五十分休憩

午前十時五十九分開議

○熊谷委員長 是ヨリ開會致シマス

○淺沼委員 議事進行ニ付テ——只今休憩

ニナッタノデスガ、私共甚ダ遺憾ニ思フノデスガ、此退職手當法ノ問題ニ付テ昨日カラノ質疑應答ヲ聞イテ居リマス云フト、一面ニ於キマシテハ、ドウモ政府ノ方ノ言フコトニ付キマシテモ、言ヒタイ所マダ言ッテシマハナイ點ガ多量ニアルと思フノデアリマスルシ、質問サレル方ニ於テモ何ダカ故意ニ引延バシテ行カウト云フヤウナ傾向ガ見エルノデアリマシテ、非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス（「ノー」）サウ云フコトガナケレバ結構ニ思フノデアリマスガ、サウ云フ傾向ガアルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、殊ニ中小工業者彈壓ノヤウニ考ヘラレテ、勞働者保護法デアルト云フコトヲドウモ忘れ勝チニナルト云フ點ガ強イノデアリマシテ、勞働者保護法デアルト云フ點ニ重點ヲ置カレマシテ、中小工業者ノ問題ハ自ラ他ニ考ヘル點ガアルガラウト思ヒマスシ、尙ホ政府ノ方ニ於カレマシテモ、此法案ノ立法ノ趣旨ガ「インフレ」景氣ノ破綻ノ來ル反動ニ備ヘル爲デアルト云フコトヲ、強調セナイ點ガ中々納得行カナイノデアリマス、今直グノ問題ダ

ト云フコトガ當ッテ居ルヤウニ思フノデアリマシテ、其點モ一ツ高調シテ戴キタイと思フノデアリマス

○木村委員 私ハ議事進行ニ付テ此機會ニ一寸申上ゲタイノデアリマスガ、此法案ハ此内閣ノ社會立法トシテ御提出ニナッタ唯一ノ法律デアリマス、隨テ私共此提案ノ理由ニ付キマシテモ、十分ナル理解ト、尊重ヲ以テ此法案ニ相對シテ居ルノデアリマス、此法案ノ審查ニ付キマシテハ、私ハ資本家ノ味方デアッテモナラス、勞働者ノ味方デアッテモナラヌと思フ、一方ニ私共ハ偏スルコトハイケナイと思ヒマス、公平ナル第三者ノ立場ニ於テ之ヲ決定致サナケレバナライ、公平ナル第三者ノ立場ニ於テ爲スコトガ、私ハ議會ノ爲スバキ唯一ノ途デアルト思ヒマス、決シテ帝國議會ト云フモノハ一方ニ偏シテ斯ノ如キ社會立法ヲ取扱フベキモノデハナイと思ヒマス、此意味ニ於テ色々此法案ノ實施ニ必要ナル材料ヲ請求致シテ居リマスルカラ、政府ニ於キマシテモ此純眞ナル吾々ノ氣持ヲ十分ニ御諒解下サイマシテ、有ユル材料ヲ御提出アランコトヲ此機會ニ於テ更ニ申上ゲテ置キマス

○松村委員 只今ノ問題ハ政府ノ考慮ヲ促シマシテ、保留ノ儘質疑ヲ進メタイと思ヒ



マス、此際政府ハ何カ御答ガアルナラバー  
應……

○潮國務大臣 最初ノ木村君カラノ御注意  
ハ拜承致シマシタ、私共モ慮心坦懷ニ御役  
ニ立チマス材料ハ出來ルダケ差上ゲマス、  
ソレデ御審議ヲ進メテ戴キタイト思ヒマス、  
尙ホ松村君ノ御話カラ一時休憩ト云フコ  
トニナリマシタノハ、洵ニ遺憾ニ存ジマス  
ルガ、先程申上ゲマシタ中ニ、或ハ言葉ノ  
用ヒ方、或ハ不足ト云フ點カラ、眞意ノ御  
諒解ヲ願フコトガムヅカシカッタ思ヒマ  
スガ、繰返シテソレヲ申上ゲマスルト、將  
來勅令ナリ、省令ナリデ決メルモノハドウ  
云フモノカト云フ第一ノ問題デアリマスガ、  
ソレハ既ニ差上ゲマシタ材料ハ大體是ガ  
勅令案ナリ、省令案ノ内容ヲ成スモノト御  
諒解下サイマシテ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマ  
ス、唯形ガ如何ニモ規則デアルヤウニ書イ  
テナイノデゴザイマスカラ、御覽惡イカモ  
知レマセヌガ、政府ノ趣意トスル所ハ、大  
體御示シ致シマシタモノヲ根幹トシテ居ル  
ト云フコトデ御承知ヲ願ヒマス  
尙ホ第一條第一項第三號ノ如キモノニ付  
キマシテハ、只今直グ此法施行ト同時ニ斯  
ウ云フ事業ヲ指定シテヤルノダト云フ豫見  
ガ出來ナイノデ、ソレデ豫定致シテ居リマ

セヌトカ、種々ノ言葉ヲ以テ申上ゲタノデ  
アリマスガ、併シ全然考究ヲ致シテ居ラヌ  
譯デハナイノデアリマシテ、是ハ直グニ實  
行出來ルカドウカハ、篤ト研究ノ上デナイ  
ト言ヘマセヌケレドモ、例ヘバ一二ノ事業  
カラ申シマスレバ、瓦斯トカ、電氣トカノ事  
業ニ關係シテノ工場等ニ於ケル、斯ウ云フ  
類似ノ業態ニ付キマシテハ、ソレハ先ヅ研  
究ヲ進メテ行クベキデヤナイカ、ソレガ愈  
イカヌト云フコトニナリマスレバ、此勅令  
ヲ活用致シマシテ、或ハ指定ト云フ時期モ  
來ルモノト存ジマスガ、此法施行ト同時ニ  
ソレヲヤルダケノマダ研究ガ進ンデ居リマ  
セヌ、其意味ヲ以チマシテ豫見ガ出來テ居  
リマセヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリマ  
ス、ドウゾ其邊ハ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒ  
マス  
○松村委員 只今内務大臣ハ電氣、瓦斯等  
ニ付テハ考慮スベキモノト思フ、併シソレ  
ハ次ノ施行期日マデニハ指定シ得ルカドウ  
カ分ラヌ、本法ハ施行期日ハ明記シテ居ラ  
ナイガ、度々ノ御説明デ一年間位ノ猶豫ヲ  
置クト云フヤウニ私共ハ聞イテ居リマスガ、  
然ラバ次ノ通常議會マデニハ當然此三號ノ  
指定スル事業ヲ研究シテ、次ノ議會マデニ  
御示シアル意思デアルカドウカ

○潮國務大臣 此法律ハ來年ノ一月一日カ  
ラ施行シタイ見込ヲ有ツテ居リマス、又今申  
上ゲマシタ事業ナリ、其他ノ事業ニ付キマ  
シテ研究シタ結果、見込ガ付キマスレバ次  
ノ議會ニ申上ゲル機會ガアルカト思ヒマス、  
今之ヲ固ク御約束申上ゲルコトハ出來マセ  
ヌガ、出來ルダケ審議ヲ進メテ見タイト思  
ヒマス  
○松村委員 内務大臣ノ御答辯ハ幾分不滿  
ノ點ハゴザイマスガ、此儘保留シテ次ノ質  
疑ニ移リマス、本法ハ非常ニ重刑ヲ科シテ  
居ル、殊ニ第三十三條ニ於キマシテハ三年  
以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處スト  
シテアル、此體刑ヲ科スル法律上ノ論據如  
何ト云フコトデアリマス  
〔委員長退席、川崎委員長代理著席〕  
○廣瀨政府委員 三十三條ノ體刑ニ關スル  
問題デアリマスガ、是ハ退職手當積立金ニ關  
シマシテ御承知ノヤウニ、退職手當ハ工場  
ガ大キイ、又ハ職工數ガ大キイ、ソレカラ  
勤続年數ガ長クナルニ從ツテ中々大キナ金  
額ニナルモノデアリマス、サウシテ其性質  
ハ、言フマデモナク職工ノ平素ノ勤勞ノ結  
晶トシテ、將來退職ノ際ニ貰ヘトル云フ、非  
常ナ職工ニ對シテハ重大ナル金デアリマス、  
併シナガラ退職手當積立金トシテ存スル間

ハ、事業主ノ名ニ依ツテ、事業主ノモノトシ  
テ保管ヲサレルコトニナツテ居ルノデアリ  
マス、サウシテ是ハ本法ニ依リマシテ差押  
ノ禁止竝ニ免稅等ノ取扱ヲ爲シテ、非常ニ  
確實ニ保護ヲ致シテ居ルノデアリマス、併  
シ之ヲ使フ目的ハ退職手當以外ニ使ツテナ  
ラヌノハ原則デアリマスガ、運用ヲスルコト  
ハ認メル、確實ナ方法ヲ以テ許可ヲ受ケレ  
バ運用スルコトヲ認メルノデアリマスガ、  
併シ許可ヲ受ケズシテ若シ退職手當積立金  
ヲ勝手ニ使ツタト云フヤウナコトニナリマス  
ト、是ハ職工ニ對シテハ非常ニ重大ナ問題  
デアル、又之ヲ法律的ニ見マスと、職工ニ與  
ヘルベク保管ヲシテ居ルモノデアリマシテ、  
其職工ニ與ヘルベク保管ヲシテ居ルモノヲ  
自ラノ勝手ニ使ツタト云フコトニナリマス  
ト、其性質ハ横領ニ類スルヤウナ性質ヲ有  
テ居ルノデアリマス、ソコデ横領ニ關スル刑  
ヨリモ低ク致シマシテ、且ツ選擇刑ヲ以テ已  
ムヲ得ズ此程度ノ刑ヲ以テ臨ムヨリ致シ方  
ガナイト云フコトニナツタノデアリマス、若  
シ之ヲ單純ニ罰金刑ヲ以テ臨ミマスルト、退  
職手當積立金ガ非常ニ大キカッタ場合ニ、之  
ヲ勝手ニ使フト云フコトニナリマシタナラ  
バ、例ヘバ假ニ之ヲ千圓ノ罰金ヲ以テ之ニ  
當ツテ居リマシタナラバ、退職手當積立金ガ

五萬、十萬トアツタト云フヤウナ場合ニ之ヲ

勝手ニ引出シテ使ッテシマツテ、千圓ノ罰金

ヲ覺悟スルト云フコトニナリマス、其結

果ハ勞働者多年ノ勞苦ニ對スル非常ニ重要

ナル金ノ處分ヲ勝手ニサレテシマフコトニ

ナルノデアリマス、是ハ非常ニ重大ナ問題

デアリマス、ソコデ已ムヲ得ズ斯ノ如キ刑

ヲ以テ臨シテデアリマス、併シ尙ホ之ニ

ハ特ニ選擇刑ニ致シマシテ——横領ニ類ス

ル刑、選擇刑ヲ加ヘマシテ罰金ト兩方ニ致

シテ居ルノデアリマス、法律的ノ理由ト申

シマスレバ、大體其性質ガ横領ニ類スル性

質ヲ有ッテ居ルト云フ點カラ、斯ウ云フコト

ニナッテ居ルノデアリマス

○松村委員 簡潔ニ御答ヲ願ヒマスガ、此

預ッテ居ル金ノ法律上ノ性質ハ何デアリマ

スカ、只今ノ御答デアルト、性質ハ色々違

フケレドモ、民間ノ各種ノ工場、會社ハ或

ハ退職、或ハ各種ノ名前ニ於テ當然勞働者

各員ニ歸屬スベキ各種ノ積立、各種ノ預金

ヲ今日有ッテ居リマス、殊ニ非常ニ大キナ金

額ヲ有ッテ居ル、サウスルト斯ウ云フヤウナ

當然勞働者ニ歸屬スベキ各種ノ預金——退

職手當ト云フ名前デナクテモ、各種ノ預金

ヲ有ッテ居ルガ、是等ニ對シテ法律上ノ保護

ハ甚ダ緩慢デア

〔川崎委員長代理退席、委員長著席〕

獨リ退職手當積立金ニ限テ斯ノ如キ體刑

ヲ科スル理由ガハッキリ分ラヌ、第一ニ伺

ヒマスコトハ、此預カル金ハ是ハ法律上ド

ウ云フ種類ノ性質デアリマスカ伺ヒマス、

唯横領罪ト云フヤウナコトデナク、此保管

サレル金ハドウ云フ種類ノ法律上ノ性質ヲ

有ッテ居リマスカ

○廣瀬政府委員 只今ノ御質問ハドウ云フ

種類ノ金カト云フ御質問デアリマス、或ハ

私が誤解スルカモ知レマセヌガ、誤解デ

アリマシタラ、又御質問願ヒマス、ドウ云

フ種類ノ金カト云フコトノ要點ハ、誰ノ所

有カト云フコトデアラウト思ヒマス、ソレ

ハ事業主ノ所有デアリマス、サウシテ是ハ

事業主ガ有ッテ居ルガ、是ハ退職手當トシテ

此法ニ依ッテ勞働者ニ支給スベキ性質ヲ有ッ

テ居ル金デアリマス

○松村委員 サウシマス、所有權ハ事業

主ニアルト云フコトデアリマスナラバ、是

ハ度々色々機會ニ於テ言ハレテ居リマス

信託預金、或ハ信託保管ニ類スル性質ノモ

ノデアリマセヌカ、ドウデスカ、先ニ其所

見ヲ伺ヒマス

○赤松政府委員 御説ノ通り此財産ノ實質

的性質カラ申シマスナラバ、信託財産ニ類

スルモノト解釋シテ差支ナイモノダト考ヘ

テ居リマス

○松村委員 信託ノ法規ハ少クトモ所有權

ノ移轉ガナケレバナリマセヌ、所有權ノ移

轉ナシニ信託法ノ觀念ハ全然當嵌マリマセ

ヌ、殊ニ所有權移轉ガナキノミナラズ、度

度ノ説明ニ依ッテハ所有權ハ事業主ニアル、

所有權移轉ハナクテ、積立金ハ事業主ガ唯

保管スルダケデハ——類似ト云フ言葉ヲ頻

ニ言ハレテ居リマスガ、所有權ノ移轉ナク

シテ、少シモ信託ノ觀念ハナイト思ヒマス

ガ、政府ノ御考ハドウデアリマスカ

○赤松政府委員 我國ニ於キマスル信託法

ノ觀念ノ上カラ申シマスレバ、是ハ勿論純

然タル信託財産デハゴザイマセヌ、御説ノ

如ク日本ノ信託法ノ上カラ申シマスレバ、

所有權ノ移轉ガナケレバソレハ信託財産ト

申サレナイコトハ御説ノ通りデアリマス、

唯私ノ申上ゲマシタノハソレニ觀念ガ類ス

ル、斯ウ申上ゲタノデアリマシテ、英法ニ

於キマス自己信託、或ハ信託宣言ノ如キ種

類ノモノト認メラルベキモノト思ヒマス、

尙ホ刑法上ニ於キマシテハ横領罪ノ中、自

己ノ物ト雖モ公務所ヨリ保管ヲ命ゼラレタ

ル場合ニ於テ云々ト云フ、刑法第二百五十

ハナイカト考ヘラレマス、ソレデ横領罪ト

比較致シテ明ニ是ハ——勿論公務所ヨリ保

管ヲ命ゼラレタモノデハゴザイマセヌカラ、

他ノ性質モアリマスノデ、ソレヨリハ低イ

所デ以テ選擇刑ニ致スノガ穩カデアラウト

云フ考ヘ方ヲ持ッテ居リマス

○松村委員 非常ニ是ハ政府ノ考ハ無理デ

アッテ論理ガ立たナイ、信託法上ノ觀念カラ

言フナラバ、全ク日本ノ信託法ニ當嵌ッテ居

ラナイ、斯ウ云フ信託法ノ觀念ハナイ、又

刑法第二百五十二條ノ只今申シマシタ所ノ

公務所カラ保管ヲ命ゼラレタト云フ規定ニ

ハ少シモ當嵌ラナイ、法律ニ明記シテアル、

公務所カラ保管ヲ命ゼラレタ、サウスルト

勞働者ハ公務所類似ノモノデナケレバナラ

ヌト云フ解釋ニナラナケレバナラヌ、私ハ

横領罪ノ二百五十二條ノ法律ヲ茲ニ適用ス

ルト云フコトハ無理デナイカ、間違デナイ

カ、從來カラ度々政府ハ横領罪ハ五年、十

年デアルカラ、是ハ刑ハ輕イノデアルト云

フ恩惠的ナコトヲ非常ニ言ハレテ居ルガ、

是ハ政府ハモウ少シ御慎ミニナラヌトイカ

ヌト思フ、横領罪ハ五年、十年デ重イノニ、

是ハ特ニ三年デ輕クシテヤッタダト云フ

コトハ、餘程恩惠的ニ之ヲ見テ居ルノデア

ルト思フ、法ノ論據ナシニ體刑ヲ科スルト

云フコトハドウシテモ分ラナイ、ドウゾモウ少シ明確ナ御答辯ヲ煩ハシマス

○赤松政府委員 若モ本條ニ當リマス行爲ガ、刑法ノ横領罪ニ該當致シマスルナラバ、勿論本法ニ特別ノ規定ヲ設ケマス必要ハナイノデアリマスガ、只今申上ゲマシタヤウニ自己ノ財産デアアルノデアリマスカラ、所有權ハ事業主ニアルノデアリマスカラ、唯其事實上ノ性質ガソレニ類似致シマスルガ故ニ、ソレ等ヲモ考慮致シマシテ獨立ノ條文ヲ設ケマシテ、是ガ處罰規定ヲ定メタノデアリマス

○松村委員 退職手當ノ金バカリデナク、斯ウ云フ種類——之ニ類スル種類ノ金ハ澤山アルノデス、此上ゲマシタ各種勞働者ノ名ニ於テ保管スル所ノ、各種ノ預金ハ當然皆勞働者ニ歸屬スルモノデアアルカラ、善良ナル管理者ノ名ヲ以テ、之ヲ管理スルト云フ趣旨デアアルカラ、大體ニ於テ退職手當ト同ジヤウナ趣旨ノ預金デアリマス、斯ウ云フヤウナ預金ト云フモノハ現在、民間デ五千萬圓、官業デ千萬圓以上モアル今日ノ現狀ニ於キマシテ、是等退職手當ニ類スル各種ノ預金ニ對シテハ、簡單ナル民法三百九條カ、或ハハ賃銀ノ問題デアアルガ、賃銀ソノモノニ對シマシテモ、我國ノ法律上ノ

保護規定ハ甚ダ緩慢デアアル、民法三百九條ノ保護規定シカナイノデス、肝腎要ノ賃銀ニ對シテサヘ國家ノ法規ハ——保護規定ハ民法三百九條シカナイ、其他別ニ各種ノ保護規定ガナイノニ拘ラズ、獨リ退職手當ノミニ付テ、而モ此實例ハ後カラ能ク申シマスガ、誤リ易キ斯ウ云フヤウナ保管ニ付テ、處罰三年ノ體刑ヲ以テ臨ムト云フコトハ、ドウシテモ承服出來ナイ、若シ之ヲヤラレルナラバ、賃銀ソノモノニ對シテ、又退職手當ト類似スル各種ノ預金其他ニ付テ政府ハ善良ナル、是ト同ジ類似ノ趣旨ヲ以テ將來法律ヲ改メラレル考カドウカ、一應伺ヒマス

○赤松政府委員 退職手當積立金ハ此法律ニ依リマシテ、事業主ガ設ケナケレバナリマセヌ公法上ノ義務ニ基キマス所ノ財産デゴザイマスノデ、他ノ私法ニ屬シマスル所ノ賃銀、或ハ各種積立金、任意ノ積立金等ニ付キマシテハ、是トハ性質ガ違ッテ居ルト解釋致シテ居ル次第デアリマス

○松村委員 唯ソレハ國家ノ法規ニ依ッテ保管スルト云フ所ガ公法上ト云フ、假ニ見解ヲ取ラル、ノデアリマセウガ、私ハ法律ノ性質上此退職手當ハ他ノ預金ト違ッテ居リマセヌ、ソコニ本法ヲ適用サレテ體刑ヲ科

セラレルト云フ所ニ、無理ガドウシテモ起ッテ來ル、サウシテ此賃銀ト云フモノニ對シテ、保護ノナイモノニ、退職手當ダケ非常ニ何サレルト、態々體刑ヲ科ス惡イ規定ヲ爲シテ、サウシテ混亂ヲ生ゼシメル結果ニナリマスルガ故ニ、又繰返シテ申スノデハアリマセヌガ、政府ノ度々ノ御説明ノヤウニ、其信託預金ニ類スルト伺フシ、今伺ヘバ信託預金デナイト云フ、所有權ガ移轉シテ居ラスト云フ、自分ノ所有シテ居ル財産、委託サレテ自分ノ所有財産ヲ、誤ッテ好意カ惡意カ、或ハ善意カニソレヲ使フ、行政官廳ニ届出デテ許可ヲ受ケナケレバナラヌ、ソレハ差支ナイ、行政官廳ノ認定ニ依ッテソレハ決マルノダ、運用其外ノコトモ、總テ其行政官廳ノ考ヘ次第ニ依ッテ、是ハ運用ノ點モ決マルノデアアルガ、サウ云フ曖昧ナル此法規ノ下ニ於キマシテ、誤ッテ之ヲ只今ノヤウニ犯シタル場合ニハ體刑ヲ科セラル、ト云フノデアアルカラ、ドウシテモ私ハ其他ノ法律ト鈞合ガ取レナイモノデア

ル、斯ウ思フノデスガ、此點意見ノ相違ニナルト思ヒマスガ、深ク政府ハ考ヘラレマシテ、茲ニ横領罪類似ノ法規ヲ適用スルト云フコトハ、根本的ニ誤リデアアル、只今マデノ説明デハ單純ニ唯公法上ノ問題ト云フ

○廣瀨政府委員 此金ノ性質上竝ニ法律上ノ根據ニ付キマシテハ、私共ハ公法上ノ義務トシテ積立テ、居ルノデアッデ、サウシテソレガ多クハ許可ヲ受ケズシテ勝手ニ使ハレタル場合ニ於テハ、ヤハリ横領ニ類スルモノデアアルカラ、法ヲ以テ特ニ規定シテ行カナケレバナラヌノデ、特ニ茲ニ法ヲ以テ刑罰規定ヲ成シタト云フコト、以上申上ゲタ通りニ考ヘテ居ルノデアリマス

○松村委員 ソレナラバ實例ヲ以テ伺ヒマスガ、政府カラ吾々ニ與ヘラレタ書類ヲ見マスルト、從來工場法違反ノ内容ヲ調べテ見マスルト、形式犯、形式犯トハ賃銀ヲ支拂フ帳簿、又ハ出勤簿ヲ付ケテ居ラス、或ハ付ケルコトヲ誤ッタ、斯ウ云フヤウナ形式犯ト云フモノガ工場法違反ノ大部分ヲ占メテ居ル、其件數ダケデモ一萬件ニ近イ程形式犯ト云フモノハ多い、大體今日三十人前後ノ勞働者ヲ使ッテ居ル所ノ雇主ハ殆ド勞働者カラ上ッタ人モ少クナイノデアアル、自ラ勞働ニ從事スル人モ多ク、此賃銀支拂簿ト

ダケデ以テ、其他ニ何等法理上之ニ體刑ヲ科スル理由ノ説明ガ完全シテ居ラスヤウニ思ヒマスガ、質問ヲ進メマス便宜上、簡單ニシタイト居ヒマスガ、尙ホ御意見ガアッタナラバ、一應此際ニ伺ッテ置キマス

第六類第十四號 不機文書等取締法案委員會議錄 第五回 昭和十一年五月二十日

カ或ハ出勤簿サヘ備ヘテ居ラナイ、又付ケナイ、サウ云フ形式犯ガ工場法違反ノ殆ド大部分ヲ占メテ居ル、斯ウ云フ現狀ヲ考ヘマスルト、事實ニ於キマシテ賃銀帳簿ヲ備ヘル事サヘ難シイ、斯ウ云フヤウナ現狀ノ中小工業者ニ對シテ、斯ウ云フ體刑ヲ以テ臨ムト云フコトハ必ズヤ非常ナ混亂ヲ來スコトハ想像ニ難クナイノデアリマスガ、大體今日マデ工場法違反ノ實例カラ見マスレバ、是ハ幾ラ注意サレテモ、中小工業者ハ斯ノ如キ違反所爲ヲ已ムヲ得ズ起シテ居ル現狀カラ見マスルナラバ、之ニ段々關聯シテ、帳簿スラ備ヘテ居ラナイ、又記載ヲ怠ッタト云フ人多イノデアリマスカラ、ソレ等ハ段々斯ウ云フ形式犯ヲ重ネテ居リマスル間ニ、本法ニ依リマシテ茲ニ幾多ノ誤リヲ生ズル、單ニ三十三條ノ規定バカリデハアリマセヌ、茲ニアリマスル所ノ三十六ノ各種ノ懲罰規定ト云フモノハ、當然是ハ本法施行ト同時ニ幾多ノ問題ヲ起スコトハ想像スルニ難クナイノデアリマスガ、斯ウ云フ工場法違反ノ實例カラ見マシテモ、政府當局ハ將來本法ヲ施行シタ上ニ於テ違反事項續出ノ心配ナシト云フ何等カ確信ヲ御持チデアリマスカ、伺ヒマス

○赤松政府委員 工場法ノ違反ニ付キマシ

テハ、其實質ハ違反デアリマセヌ場合ニ於キマシテハ、成ベク戒告ニ止メマシテ處罰ヲ致サズ、之ヲ善導シテ參リマスルヤウニ取計ラツテ居リマスルコトハ、只今御手許ニ御覽ノ如ク戒告件數ニ比較致シマスナラバ、處罰ヲセラレマスルモノハ極メテ少イコトニ依ッテ吾々ノ眞意ノ在ル所ハ御了解下サルコトガ出來ルト思フノデアリマス、本案ニ於キマシテモ是ガ實施ニ當リマシテハ努メテ是等ノ過チナカラシムルヤウニ、能ク諒解セシメマスコトニ努メマシテ參ル積リデ居リマス、本當ノ實質的ナ惡意アル所ノ行爲ニ付キマシテハ、是ハ懲戒ノ意味モアリマスルシ、已ムヲ得ズ處罰致ス場合モアルト存ジマス、成ベク是ハ工場法施行ノ法律ト同ジヤウナ意味ニ於キマシテ、趣旨ノ徹底ヲ圖ッテ、善導致シテ參ルヤウニ心掛ケテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松村委員 本法ハ行政官廳ガ許可サヘスレバ、運用上其他ニ付テ雇主ハ隨時出來ルノデスカラ、紙一重デアリマス、而モ許可ガ遅レタ場合ニ、許可ガ何時マデモ行政官廳ノ特有ノ今日ノ現狀ニ於テ、許可ガ中々出ナイカラ已ムヲ得ズ雇主ハ郵便貯金ニ預ケルナント云フコトハ出來ナイカラ、之ヲ

利用シ勝デアルト云フコトハ想像スルニ難クナイ、行政官廳ノ許可ガ遅タトシテ出テ來ナイ、片方ハ背ニ腹ハ替ヘラレヌカラ、紙一重デ法規ヲ犯ス者ノ起ルコトハ、想像スルニ難クナイ、サウ云フ際ドイ問題デアリマス、小山君ハ何カ猫ニ經節ト云フヤウナコトヲ申サレタガ、私ハ紙一重ノ際ドイモノダト思フ、當然起リ得ル斯ウ云フヤウナ法規ノ違反ニ關シマシテ、體刑ヲ以テ臨ムト云フコトハ、ドウシテモ是ハ酷デアルト云フ考デアリマスガ、此問題ハ此程度ニ止メマシテ、次ノ質疑ニ移リマス

退職手當其モノノ法律上ノ性質ハ何デアルカ、退職手當其モノノ性質ハ何デアリマスカ、退職手當ヲ渡ス其金ハ法理ノ上カラドウ云フ性質デアリマスカ、モット具體的ニ伺ヒマスガ、是ハ賃銀デアリマスアカリマセヌカ、又其他ノ法律上ノ性質デアリマスカドウデアリマスカ、是ハ學者ノ間ニ此退職手當ノ性質ニ付テ非常ニ議論ガ極マッテ居ラス、極マッテ居ラヌトスレバ、本法ヲ適用スル上ニ於テ非常ニ他ノ幾多ノ難關ヲ生ズルカラ、豫メ退職手當ト云フモノノ法律上ノ性質ヲ伺ヒタイノデアリマス

○赤松政府委員 退職手當ハ賃銀デハアリマセヌ、本法ニ依ッテ定メラレマシタ所ノ退

職手當デアルト存ジマス

○松村委員 名前ヲ聞イテ居ルノデヤアリマセヌ、法律上ノ性質ヲ聞イテ居ルノデアリマス

○赤松政府委員 賃銀デハゴザイマセヌ、本法ニ依ッテ退職時ニ給與スベキ所ノ給與デアルト申上ゲタラハハッキリスルカト思ヒマス

○松村委員 給與ト云フヤウナ言葉ハ法律上ノ用語デハアリマセヌ、給付、反對給付ノ關係カラ申シマスレバ、給與デアッテ賃銀デハナイト言ハレルガ、然ラバ賃銀ノ後拂ヒデアルカ、伺ヒマス

○赤松政府委員 賃銀ノ後拂ヒデモナイト思ヒマス

○松村委員 然ラバ從來ノ退職手當ハ、雇主ノ一方的意思ニ依ッテ與ヘラレタ所ノ給與、贈與デアリマスカ、本法ニ依ラザル從來ノ退職手當ハ雇主ノ一方的意思ニ依ッテ決メラレタル——ソレガ勿論執務規程、規約ノ上ニアリマシタナラバ法律ハ之ヲ擁護致シマス、法律ハ之ヲ擁護スルガ、併シ退職手當ト云フモノ、歴史的根本的ノ性質ハ雇主ノ一方的意思ニ依ッテ與ヘラレタ所ノ給與、贈與デアリマスカ

○赤松政府委員 從來民間ニ行ハレテ居リ

マス所ノ退職手當ハ、其發生ノ原因ニ依ッ

テ色々違ヒガアルト思ヒマス、契約上ノ給與デアル場合モアリマセウシ、或ハ恩惠デ

アリ、贈與デアルヤウナ場合モアルガラウ

ト思ヒマス、是ハ一々具體的ノ場合ニ依リ

マシテ其性質ヲ異ニ致シテ居ルト思ヒマス

○松村委員 アナタノ講演ノ何處カニ賃銀

ノ後拂ヒデアルト云フコトヲ頻リニ言ハレ

テ居ル、ソレ故ニ私ハ賃銀ノ後拂ヒデアル

カナイカト云フコトヲ伺ッテ居ルノデアリ

マスガ、後拂ヒデハ確ニナイト云フ御言明

デアリマシテ、單純ナル給與デアル、此給

與ヲ今日政府ノ御示シノ所デハ、從來或ル

程度迄行ハレテ居リマスガ、マダ必シモ廣

ク行ハレテ居ラナイ、廣ク行ハレテ居ラナ

イ此種ノ給與ヲ直チニ法律ヲ以テ強制スル

根據ハ何處ニアリマスカ

○廣瀨政府委員 我國ニ行ハレテ居リマス

ガ、マダ是ガ必要ナル方面ニ向ッテ十分ニ

普及モ致シテ居リマセヌシ、又現在自然ノ

發達ノ儘デハ其内容ガ明確ヲ確イタリ、色

色缺點モアルノデアリマスカラ、是ハ法律

ヲ以テ決メテ、サウシテ現在ノ勞働者ノ生

活安定ト云フコトヲ確保スル必要ニ付テ、

其必要ヲ満足意味ヲ以テ法律ヲ以テ之ヲ定

メタ譯デアリマス

○松村委員 茲ニ法律學者ノ間ニ色々ノ問

題ガ生ズルノデス、元々或ハ雇主ノ一方的、

或ハ契約ニ依ッテ起ッタモノデアリマスケレ

ドモ、併シマダ必シモ普及サレテ居ラナイ、

サウ云フ種類ノモノヲ直チニ法律ヲ以テ之

ヲ國家ガ強制スルト云フコトニ付キマシテ

ハ、社會通念ノ上カラ、法律通念ノ上カラ、

各國勞働立法ニ關スル先例ノ上カラ、ソコ

ニモウ少シハッキリシタ觀念ガナケレバナ

ラナイ、唯國家ノ法律ハ萬能デアルカラ、

何デモヤレルト云フコトデ、此法律ヲ實行

スルト行フ譯ニハ行カナイ、茲ニ私ハ我國

ノ勞働立法ノ權威者デアル所ノ末弘嚴太郎

君ガ本法ニ對スル批判ヲシテ居ラレル、全

部讀上ゲル譯ニハ行キマセヌガ、我國ノ勞

働立法ノ權威者デアリ、常ニ可ナリ進歩シ

タ所見ヲ勞働立法ニ對シテ吐カレル末弘嚴

太郎君ガ、昨年中央公論其他ノ誌上ニ於キ

マシテ、之ヲ法律ヲ通シテ交付スルコトハ

洵ニ無理デアル、又之ヲ讀上ゲマスコトハ

面倒デアリマスガ故ニ、簡單ニ茲ニ要點ダ

ケヲ申上ゲマス、之ヲ一片ノ千篇一律ノ

法律デ之ヲ強要セントスルコトハ全ク條理

ニ反シ、本邦產業ノ特異ナル勞働關係ヲ破

壞スルモノデアッテ、承服スルコトガ出來ナ

イト云フコトヲ詳シク述べテ居ル、法律學

ノ權威者デアル末弘君ガ之ヲ條理ニ反スル

ト言ウテ居ル、私ト同ジ意見ヲ以テ此種ノ

程度ニ行ハレテ居リマスル所ノ退職手當

ヲ、一般法律トシテ國家ガ強要スルコトハ

洵ニ條理ニ反シ、且ツ之ヲ法制化シテ權利

トシテ勞働者ニ與ヘルト云フコトハ或ル意

味カラ申シマスナラバ、是ハ不可能ナコト

ト言ハネバナラヌト云フ所見ヲ述べテ居

ル、我國法律學界ノ勞働立法ノ權威者ガ斯

ノ如キ所見ヲ吐イテ居ラレマスニ拘ラズ、

政府ハ唯法ノ萬能ヲ以テ、如何ナルモノデ

モ法律ノ力ナレバ之ヲ強制シ得ルト云フ所

見デアリマスカドウカ、内務大臣ノ所見ヲ

伺ヒマス

○潮國務大臣 私ハアナタノ仰シヤルヤウ

ナ法律萬能主義者デハアリマセヌ、成ベク

法ガナクテ事ガ足リレバ之ニ越シタコトハ

ナイノデアリマス、或ル種類ノモノ、或ル

程度ノモノニ付キマシテハ、國家ノ力ヲ藉

リルト云フコトハ已ムヲ得ナイ、法律學ノ

大家デアル末弘君ト意見ヲ異ニスルコトハ

洵ニ遺憾デアリマスガ、私ニハ私ノ所見ガ

ゴザイマス

○松村委員 内務大臣トシテハソレヨリ外

ニ御答ガ出來ナイデアラウト思ヒマスガ、

苟モ斯ル法規ヲ實行スルニ當ッテハ、内務省

ノ參與會議ナント云フモノバカリデナク、

廣ク學界竝ニ各方面ノ所見ヲ質サナケレバ

ナリマセヌ、各國ノ勞働立法ヲ見マス、

咄嗟ニ政府ガ立法ヲ出スト云フヤウナコト

ハアリ得ナイコトデアリマス、殊ニ民間各方

面ノ學者、竝ニ實際家ノ意見ヲ徴シテ萬遺

漏ナキヲ期サナケレバ、完全ナル法律ハ得

ラレナイノミナラス、社會立法ノ如キハ其

關係スル所極メテ複雑多岐、影響スル所ガ

大デアリマスカラ、少クトモ專門家ノ意見

ヲ質サズ、況ンヤ斯ノ如キ程度ノモノヲ法

律ヲ以テ強制シ、體刑ヲ以テ臨ムト云フコ

トニ付テハ、唯一内閣、一内務大臣ガ左様

ナ所見デアルト云フヤウナ——「フアッシ

ヨ」國デアルナラハ卒サ知ラズ、法治國家

ニ於キマシテハ、議會政治ノ國家ニ於キマ

シテハ、左様ナ内務大臣ノ所見ニ依ッテ、無

闇ニ意見ノ相違ト云フヤウナコトデ、簡單

ニ國家ノ法規ヲ以テ臨マレルト云フコト

ハ、非常ニ注意ヲ願ハナケレバナラス、現

ニ法律學者ノ末弘君バカリデハナイ、可ナ

リ此問題ニ對シテ反對意見ヲ述べテ居ル、

政府ハ參與會議以外ニ、然ラバ從來ノ勞働

立法其他ノコトハ可ナリ廣イ方面ニ長イ間

希望シ、長イ間色々意見ヲ述べラレテ居

ルガ、ドウ云フ方面ニ——學界其他ノ方面

ニ意見ヲ質シテ居ラレカ、一應伺ヒマス

○廣瀨政府委員 此問題ハ決シテ咄嗟ノ間

ニ生レタモノデハナイノデアリマス、一昨

年ノ暮頃カラ恐ラク始ッタ問題ダウト思

ヒマスガ、昨年一年内務省ノ失業對策委員

會ニ於テ慎重ニ審議ヲ致シマシテ、サウシ

テ成案ヲ得マシタ、其參考資料ハ昨日御手

許ニ退職積立金法案要綱ト云フモノヲ差上

ゲデアリマスガ、ソレヲ御覽下サイマスト

御分リニナルト思ヒマス、之ニハ勞資並ニ

學者ノ方モ入ッテ居ルト思ヒマスガ、之ニ

依ッテ約一年ノ間審議ヲサレテ居ルノデア

リマス、其結果纏リマシタ案ガ昨年末ニ出

來マシテ、ソレヲ法案ノ要綱ト云フヤウナ

意味ヲ以テ内務大臣ニ建議ヲ致シタノデア

リマス、其間ニ於テ此問題ハ随分新聞紙上

ニ於テモ現ハレ、又各方面ノ論議ノ中心ニ

ナッテ居ッタノハ、定メシ御承知ノコトデア

ラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ此問題

ニ付テノ各方面ノ意見ト云フモノハ、内務

省ト致シマシテハ、自ラ相當ニ是ハ聞イテ

居ッタノデアリマス、ソレカラ尙ホ本法案ニ

付テハ御話ノ參與會議ニモ付シマシタ、其

參與會議ノ中ニハ只今御舉ゲニナッタ末弘

博士モオ出デニナッタノデアリマスガ、別

ニ反對モゴザイマセヌヤウナ譯デアリマシ

タ、右事情ヲ申上ゲテ置キマス

○松村委員 我ハ參與會議ノ委員デナイカ

ラ分ラヌガ、茲ニ明ニ末弘博士ハ反對意見

ヲ述べラレテ居ル、而モ從來斯ウ云フ種類

ノ立法ヲ爲スニ當リマシテハ、是ハ私ノ希

望デアリマスルガ、簡單ニ申シテ置キマス

ルガ、大體斯ウ云フ立法ヲ爲スノニハ、モッ

ト廣ク公ニ、祕密ニセズニ、少數ノ人ニ見セ

テ居ラレズニヤラレナケレバイカヌト思フ

ノデアリマスガ、若シ末弘君ガソレニ賛成

シテ居ラレマスルナラバ、此末弘君ノ所見

ハ何ヲ物語ルカ、學者ノ墮落ト謂ハネバナ

ラス、枝葉ノコトデアリマスルガ一言茲ニ

申述ベテ置キマス

次ニ伺ヒマスルノハ、第十七條デアリマ

スガ、此十七條ノ規定ハ政府ハ是ハ利益分

配デナイト云フコトヲ頻リニ言ウテ居リマ

スルガ、是ハ理論ノ上カラ申シマシテモ、

當然利益分配制度ノ一種ニ外ナラヌノデア

リマスルガ、何故ニ是ハ利益分配デナイト

云フコトヲ赤松君ハ強調サレルノデアリマ

スカ、所見ヲ伺ヒマス

○赤松政府委員 此本案立案ノ趣意ハ、十

七條ニ關シマシテハ、負擔能力ノアリマス

所ニ手當ノ増額ヲ求メテ居ルノデアリマス、

然ラバ負擔能力ヲ何處デ測定スルカト云フ

問題ニナリマスレバ、單ニ工場ノ規模デア

リマストカ、種類デアリマストカ云フコト

ニ依ッテ求メマスコトハ出來マセヌ、結局ソ

レハ經濟的實力ト申シマスルカ、經濟的ナ

關係ニ於テ考ヘナケレバナライト云フ所

カラ是ハ出マシタノデアリマス、隨ヒマシ

テ其根本ノ考ヘ方ガ別ニ利益ヲ分配ショウ

ト云フノデハナタ、利益ノアリマス、負擔能

力ノアリマス處ニ於キマシテ、或ル程度ノ

負擔ノ増加ヲ求メヨウ、斯ウ云フ考ヘ方デ

アル、此點ヲ立案者ノ趣意トシマシテ申述

ベタノデアリマシテ、其邊ヲ御諒解願ヒタ

イト思フノデアリマス

○松村委員 政府ノ殊ニ勞働部長ハ國際會

議デ決ッタ世界共通ノ勞働法規ノ上ニ於ケ

ル所ノ利益分配ノ定義、意義ヲ御承知デア

リマスカ

○赤松政府委員 大體ノコトハ知ラナイト

ハ申上ゲマセヌガ、サウ専門ニ研究モ致シ

テ居リマセヌカラ、只今此處デ以テ深く承

知致シテ居リマスト御答スルダケノ知識モ

持合セテ居リマセヌ

○松村委員 御承知ナケレバ私ノ著書ノ中

カラ引イテ御教ヘ致シマスガ（笑聲）利益

分配トハ——既ニ國際會議ヲ度々聞イテ世

界的ニ決定シタル定義ガアルノデアリマス、

利益分配トハ明示又ハ默示ノ規約ニ依ッテ企

業家ガ勞働者ニ對シテ確定賃銀ノ外ニ、豫

メ定メタル所ノ計算方法ニ基イテ企業利潤

ノ一部ヲ分配スル制度ナリ——利潤分配ト

ハ明示又ハ默示ノ規約ニ依ッテ企業家ガ勞

働者ニ對シテ、確定賃銀以外ニ、豫メ定メタ

ル計算方法ニ基イテ企業利潤ノ一部ヲ分配

スル制度ナリト云フコトガ世界共通ノ利益

分配ノ定義デアリマス、是ハ議論ノ餘地ガ

アリマセヌ（「アル」ト呼フ者アリ）世界共

通ノ是ハ定義デアリマス、之ヲ議論スルナ

ラバ數日掛リマス（笑聲）是ハ世界共通ノ國

際會議ニ於テ認メラレタル定義トシテ之ヲ

承認セネバナリマセヌ、議論ガアルナラバ

此際伺ヒマス

○赤松政府委員 我ハソレ程専門家デゴザ

イマセヌカラ、別ニ議論モゴザイマセヌカ

ラ、拜聽致シテ置キマス

○松村委員 ソレナラバ此明示又ハ默示ノ

規約ニ依ッテ、勞働賃銀以外ニ企業利益ノ中

ノ一部分ヲ雇主ガ勞働者ニ與ヘルコトヲ約

束シテ、ソレヲ積ンデ置ク所ノモノ、サウ

シテ是ハ國家ノ法規ヲ以テヤラウ、少クト

モ出スモノハ是ハ雇主デアル、唯茲ニ國家

ガ法規ヲ以テソレ等ノコトヲ強制スルト云

フ點ガ違フダケデアッテ、國家ノ強制ノ下ニ

事業主が積ムト、斯ウ云フノデアル、而モ此十七號ノ規定ハダ、明ニ利益ニ或ル程度マデ、法人ノ場合ハ此處ニアリマス通りニ其超過金額ノ十分ノ一ト云フ、又個人ノ場合ハ茲ニ説明スルマデモナク、明記シテアル、此明記シテ居ルコトハ、即チ國家ノ法規ニ依ッテ事業ノ利益ノ中カラ一部分ヲ與ヘラレルト云フノデアデ、是ハ明白ナル利潤分配ニ外ナラヌノデアリマス、尙ホ先程政府委員ノ説明サレマシタ所デハ、是ハ負擔能力ノ測定デアル、負擔能力ノ測定ナント云フ理窟ハ全然法規ノ上カラ當該デ居リマセヌ、是ハ詭辯デアリ、漫然タル説明ト言ハネバナラス、ナゼカ、ソレハ負擔能力ノ測定デアリマスルナラ多少ノ測定ハ出來マスヨ、ソコニ會社、個人ノ利益ハ出ル、多少ノ測定ハ出來マスアレドモ、本當ノ測定ハ出來マセヌ、ナゼカ、ソレハ個人ノ場合ニダネ、百分ノ六十ヲ引クト云フコトニナッテ居リマス、百分ノ六十トハドウ云フ風ニシテ決メラレルカ、一々聽カナクテモアナタノ方出シマシタ書類ニ依リマス、百分ノ六十ト云フコトヲ決メテ根據ハ、大藏省ノ調査、三菱ノ調査ノ結果、大體法人ハ百分ノ六十位ヲ配當シテ、アトノ残りヲ社内ニ保留スル、配當スルノハ百分ノ六十位ヲ配當

シテ、其残りヲ社内ニ保留スルカラ、ソレヲ基礎ニ取ッタアナタハ度々ノ講演ノ中ニモ言ハレ、又與ヘラレマシタ書類ノ中ニモサウ書イテアリマス、サウスルト此百分ノ六十ト云フコトハ、外ニ出シテシマッタモノヲ負擔能力ニ比例シテ取ラレルコトハ矛盾デアリマス、アトニ殘ッテ居ル社内保留ヲ基礎ニシナケレバ、此法規説明ノ趣旨ハ立チマセヌ、何等カノ標準ニハナリマス、何等カノ負擔能力ノ標準ニハナリマスガ、純然タル負擔能力ノ標準ナラバ、社内ニ保留シテ居ッタ金デナケレバナナイ、社外ニ出シタモノヲ基礎ニスルコトハ出來ナイ、斯様ナ議論ハ最早主張スル必要ハナイノデアデ、各國法規ノ上カラ言フ利潤分配制度ノ實例ガ澤山アリマスカラ、實例ノ上カラ是ハ明ニ此第十七條ハ利潤分配ノ制度ナリト斷定スルヨリ外ハナイノデアリマスガ、政府ノ所見ヲ一應伺ヒマス

○赤松政府委員 是ハ繰返シテ申上ゲマス通り、一ツノ負擔能力測定ノ方法トシマシテ之ヲ取リマスコトガ最モ妥當ナリト考ヘタニ過ギマセヌ、隨ヒマシテ是ハサウ云フ事業ノ基礎ヲ固メマスル爲ニ保留サレマス所ノ留保利益ハ、是ハ事業ガ繁榮スルノ基デアリマスルシ、之ニ對シマシテ勞働者モ亦事業ノ繁榮ト云フコトニハ協力致シテ行カナケレバ相成ラナイモノト考ヘマスルカラシテ、之ヲ考慮ノ中ニ入レマスコトハ妥當デナイ、但シ事業カラ離レテ表ヘ出マス所ノ、ソレダケノ餘裕ガアル場合ニ於キマシテハ、ソレヲ一應標準ニ致シマシテ經費ノ中カラ手當ヲ支出致スコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、別段此利潤其モノヲ分配シヨウト云フ意味デハナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○松村委員 段々説明ガ分ラナクナッテ來ル、ソレハ負擔能力測定ノ何等カノ標準ニハナルガ、政府ガ負擔能力、負擔能力ト言フノハ顯著ノ説明デアルコトハ私が先程申上ゲタ通りデアル、外ニ出シテシマッテ、配當シテシマッタモノ、中カラ拂フノデハナイ、モウ支出シテシマッタナクナッテ居ルノデアル、其後ニ殘ッテ居ルモノガ、本當ニ其會社ガドノ位拂ヒ得ルカト云フ負擔能力ノ測定ニナルノデナケレバナラス、ソレヲ政府ガ負擔能力云々ト言フノハ、漫然タル説明ニハナルケレドモ、其根據ハ甚ダ薄弱デアアル、モウ一ツハ利潤カラ拂フノデハナイト云フケレドモ、一遍會社ガ計算シテ出シテシマッテ、ソコニアル會社ノ利潤ヲ決メテ、其利潤カラ十分ノ一ノモノヲ取ルト云フノデアルカラ、ドウシテモ是ハ利潤カラ拂フ經費デアルコトハ疑ナイ、ソレヲ利潤分配デナイト云フノハ、ドウシテサウ云フ説明ガ出來マスカ、只今マデノ説明デハ少しモ私ハ承服出來マセヌ

○赤松政府委員 只今ノ御意見ノアリマシタ社外ヘ出シテシマッタ金ヲ標準ニスルノデハ、負擔能力測定ニハ殆ド役ニ立タナイデハナイカト云フ御意見デアリマスガ、是ハ社外ヘ出シテ事業カラ離シテシマフコトノ出來ルヤウナ場合ニ於テハ、出シテシマフ前ニ勘定スルノデアリマス、ソレダケノ表ヘ出スダケノ力ガアル場合ニ於テハ、表ヘ出スト同時ニ、之ニ手當ノ増額ヲシヨウト、斯ウ申スノデアリマス、隨ヒマシテソレガ其負擔能力ノ測定ノ一ニナルト申スコトハ、敢テサウ矛盾ガアル事柄デハナイヤウニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ重ネテ是ハ利潤分配デナイト私共ハ考ヘテ居リマスト云フコトヲ、繰返シテ申上ゲル外アリマセヌ

○松村委員 政府委員ハ事業界ノ實情ヲ全ク御知リニナラナイ、サウ云フコトデハ問答シテモ全く無益デアリマス、チットモ知ラナイ、何故知ラナイカト申シマス配當ヲシテシマッタノデアアル、其配當シテ出シテシ



マッタモノガドウシテ取レマスカ、ダカラ其後ニ残ッタ利益ヲ標準トシテ取ルノデアアル、若シサウデナイトスレバ一遍配當ヲ出シタノダカラ、又斯ウ云フ配當ヲスルト云フコトヲ政府ニ示シテ、モウ一遍配當ヲヤリ變ヘナケレバナラヌコトニナル、故ニ配當シテシマッテ残ッタモノカラ、後ノ積立ヲスルノデナケレバ、會社ノ計算ハ出來ナイ、サウ云フコトハイロハデス、是ハ問答スル値打ハアリマセヌ、其説明ハ殆ド役ニ立タナイ、全ク間違ッテ居ル、外ニ出テシマッテナクナッタモノカラ拂フト云フ今ノ御説明デスガ、然ラバドウシテ拂フカ、其説明ガ出來マスカ

○赤松政府委員 私ノ言葉ノ足りマセヌ爲ニ誤解ヲ招イテ居ルノカモ知レマセヌガ、詰リソレダケ社外ヘ出シマス場合ニ一緒ニソレヲ考ヘルノデアリマス、其時出ス前ニ一緒ニ——例ヘバ一割配當ヲシヨウト云フ時ニ一緒ニ計算ヲシマシテ、其上デ手當ヲドノ程度マデ積ム場合デアアルカ否カト云フコトヲ考ヘテヤルノデアリマス、全然出デシマッテ後ニ考ヘルノデハナイノデアリマス

○松村委員 ソレダカラ配當シテシマッテ残リノ、所謂各種ノ積立ト云フモノハ、皆

社内保留ナンデス、計算ハ只今ノヤウナ計算デス、併シ出スモノハ出シテシマフノデスカラ、一遍計算シマシタ社内保留ト申シマスモノハ——是ハ又社内保留ノ定義ガムヅカシクナリマスガ、一遍出シマシタモノカラ出スノダカラ、ソコニ何等カノ標準ガナケレバナラヌト思フ、政府ハ是ハ利潤分配デナイト云フコトヲ非常ニ強調サレルガ、何故ニ世界共通ノ定義ガアルノニ、之ヲ利潤分配デナイト非常ニ否定サレルカ、ソレハ理由ガアルノデスカ、利潤分配デナイト言ッテ政府ハ非常ニ其事ヲ逃ゲラレルガ、ドウ云フ譯デ逃ゲラレルカ、是ガ利潤分配デアアルコトハ殆ド問題デナイ、ソレヲ何故否定サレルノカ、其理由ガドウシテモ私ニハ分ラナイ

○赤松政府委員 別ニサウ云フ考ハナカッタノデアリマシテ、唯負擔能力測定ノ爲ニト云フ、單ナル考カラ出發シマシタカラ、ソレヲ申上ゲテ居リマスダケデアリマス

○渡邊(鏡)委員 松村君ノ質問ニ關聯シテ御伺シマスガ、是ハ利潤分配、即チ西洋語デ「プロフィット・シェアリング」デアアルコトハ、ドウシテモ御認めニナラナケレバイケナイヤウニ思フノデス、成程立法ヲナサル時ノ社會局ノ考ハ、賃金バカリニ何「パー

セント」ト云フ割合デ掛ケルト、是ハ負擔能力ニ應ジナイト云フノデ、親切ニ一部分ダケハ損益ニ於テヤラウト云フ御考デ、斯ウ云フ立案ヲサレタノダラウト、私共モ想像スルノデアリマスガ、併シ其案ニ就テ見マスルト、是ハ明ニ利潤分配デアアルコトハ疑ヲ入レナイ、斯様ナ利益ヲ處分スルコトヲ制限スル規定ハ、商法ノ法定積立金等ガアリマスルガ、是等ハヤハリ事業其モノノ利益ノ爲ニ使ハレルモノト思フノデアリマス、利益ニ對シテ負擔ヲ掛ケルコトヲ國家ガ強制スルノハ、勿論租税ノ如キモノデヤッテ居ルト思フノデアリマス、事業家ノ利益ト云フモノハ資本主ニ屬スルモノト思ッテ居リマス、利益分配制度ハ勿論賃金支拂ニ對シテ追加的ニ、所謂恩惠ノ給與ト云フ意味デ各種ノ方法ハアリマスガ、非常ニ複雑デアアルコトハ御承知ノ通りデアアル、色々ニ實行シテ居ルモノガアリマスガ、之ヲ賃金支拂ニ對シテ追加的ニ補給スル意味デ恩惠的ニ與ヘラレル利益分配、之ヲ法律デ強制スルモノハ未ダ嘗テナイノデアリマス、況シテヤ此退職積立ノ財源ニ「プロフィット・シェアリング」ノ財源ヲ用ヒルト云フコトハ頗ル穩當デナイト思ッテ居リマス、其他十七條ノヤリ方が不都合デアルト云フコト

ハ加藤委員カラモ先日申サレマシタガ、是ガ「プロフィット・シェアリング」ニナルト云フコトダケハ、私ハ是ハ御認めニナラヌトイケナイト思ヒマス、ソレニ對スル御所見ヲ伺ヒマス

○廣瀬政府委員 十七條ノ問題ニ付キマシテ色々御議論デアリマスガ、私ハ利潤分配デアアルカドウカト云フコトニ付テハ何トモ申上ゲマセヌガ、私ハヤハリ是ハ負擔ノ能力ニ應ズル爲ニ是ダケノ積立ヲサセルト云フ規定デアアルト解シテ居ルノデアリマス、十六條ノ一律ニ百分ノ二ト云フ規定ハ、是ハ一般的ニ掛ケマスト是ダケデハ千遍一律デアアル、會社モ或ハ個人モ或ル場合ニハ負擔ノ能力ノアル場合ガアル、ソレデ此十七條ノ一號並ニ二號ハ共ニ會社、個人ガ相當ニ負擔ノ能力ノアル場合デアアルカラ、其負擔ノ能力ニ應ジテ或ル限度ヲ決メマシテ、茲ニ仕事ヲシテ行ッテ積立ヲ行フ、斯ウ云フ精神カラ出來テ居ルノデアリマス、即チ劃一主義ノ弊カラ離レテ、負擔ノ能力ニ應ジテ積立ヲスル、斯ウ云フ意味デアリマス

○渡邊(鏡)委員 今社會局長官ノ御説明ハ勞働部長ノ御説明ト同ジデアリマスカラ、其立案ノ趣旨ト云フモノハ吾々モ諒承シテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ氣持デ劃一主



義デナクシタイト云フ立案ノ御趣旨ハ御尤  
デアリマスガ、併シ實質ヲ吾々ガ見マスル  
ト、今松村君ノ申サレタ通り利潤分配ニナ  
ルノデアリマスカラ、斯ウ云フコトヲ法律  
デ強制スルト云フコトハ、私共ハ懺カデナ  
イト、斯ウ思ッテ居リマス、ソレダケヲ申上  
ゲテ置イテ、後ハ私ノ質問ノ時ニ譲リマス

○松村委員 是ガ利潤分配デアルカドウカ  
ト云フコトハ、議論ノ餘地ハナイノデスガ、

政府ガ逃ゲラレル理由ハ、逃ゲナケレバナ  
ラナイ重大ナ缺陷ガ其處ニアルト云フコト  
ニ外ナラナイノデス、ドウシテモ利潤分配  
デアルト云フコトヲ逃ゲナケレバナラスト  
云フヤウナ法案ニ缺陷ガアリマス、世界各  
國デ賃銀報酬ニ關シテ、殊ニ利益ノ中カラ  
斯ウ云フヤウナ規定ニ基イテ、國家ノ法規  
デ以テ其積立ヲ強要シテ居ル立法例ガ世界  
ニ何處ニアリマスカ、御同致シタイ

○廣瀨政府委員 各國ノ立法例ノコトデア  
リマスガ、私モ研究ガ足リマセヌガ、私ノ

聞イタ所デハ未ダ斯ウ云フ退職手當制度ノ  
法律化シタ所ハ聞イテ居リマセヌノデアリ  
マス、隨テ斯ウ云フ制度ガ法律トシテ何處  
ノ國ニアルカト云フ御質問デアリマスガ、  
サウ云フコトハナイト私ハ思ッテ居リマス

○松村委員 私ハ敢テ退職手當トハ申シマ

セヌ、退職手當ト云フ名前ハドウデモ宜イ  
ノデアルケレドモ、企業上ノ利益ニ對シテ  
國家ノ法律デ以テ租稅ヲ取ルコトハ、是ハ  
當リ前デアアル、租稅以外ニ國家ノ法デ以テ  
其利益ノ中カラ、殊ニ其利益ニ比例シテ斯  
ノ加キ規定ヲ設ケテ居ル國ガ、前例ガ何處  
ニアルカ、退職手當ト云フ名前ハドウデモ  
宜イノデス

○赤松政府委員 私モ能ク存ジマセヌノ  
デ、明確ナ御答ハ致シ兼ねマス

○松村委員 私ハ此十七條ハ非常ニ無理デ  
アル、日本ハ日本精神デアアルノデアルカラ、  
外國ノ眞似ハ致サナクテモ宜イト云フコト  
ハ贊成デアリマスケレドモ、此利益分配制  
度ノ問題ハ、既ニ百數十年ノ間非常ニ難問  
ヲ世界ニ投掛ケタ問題デアアル、サウシテ佛  
蘭西ノヤウナ國デアッテモ、利益分配制度ヲ  
ドウカ何等カノ形ニ於テ普及シヨウトシ  
テ、議會ニ法案ガ出タコトハ既ニ數十年前  
デアアル、然ルニ今日ニ至ルマデドウシテモ  
國家ノ法規ヲ以テ斯ウ云フヤウナ規定ガ出  
來ナイノデ、已ムヲ得ズ佛蘭西デハ水力電  
氣ヲ許可スル場合ノ許可條項、鑛山ヲ許可  
スル場合ノ許可條項、サウ云フヤウナ特殊  
ノ事業ヲ許可スル場合ニ許可ノ條件トシテ  
ノミ利益分配ヲスルコトヲ法律ガ明記シテ

居リマス、其外英吉利デハ瓦斯會社ニ限り  
國家ガ特殊ノ法令ヲ以テ、例ヘバ南府瓦  
斯株式會社法例ノ如キ、瓦斯類似ノ公共事  
業ノ許可ヲ爲ス時ニ限り、分配制度ヲ實行  
スルナラバ許可スルト云フコトガ許可ノ條  
項ニナッテ居リマス、其外ノ國デハ百二三十  
年ノ間國家ガ有ユル力ヲ用ヒテ、或ハ考案  
ヲ廻ラシテ是同ジヤウナコトヲ法規ヲ以  
テ規定セントシテ居ル、殊ニ佛蘭西ノ如キ

ハ每期議會ノ中心議論ハ是デアリマス、國  
家ノ法規ヲ以テ之ヲ強要シヨウト云フヤウ  
ナコトガ佛蘭西ノ議會デ過去數十年間ノ問  
題デアアルガ、只今申シマシタヤウナ外ニハ  
立法例ニ於キマシテモ、各國ノ實情ニ照シ  
テモ今日マデ利益分配制度ハ出來テ居リマ  
セヌ、隨分英吉利邊リハ國家ガ有ユル保障、  
利益ヲ與ヘテ之ヲ懲慝シテ居ルニ拘ラズ、  
利益分配制度ハ微々トシテ振ハナイノデ  
ス、其振ハザル所以ノモノハ何處ニアルカ  
ト申セバ、法律ヲ以テ斯ノ如キコトヲ強要  
スルコトハ理論上ノ缺陷、法理上ノ缺陷ニ  
依ッテ事實上ニ於テ出來マセヌ、數十年來今  
日ニ至ルマデ此利益分配制度ト同ジヤウナ  
コトハ、法規ノ上ニ於テ出來テ居ラナイト  
云フノガ現状デアアル、是ガ利益分配制度デ  
アルト云フコトハ、此處ニアル例ヲ讀上ゲ

マスガ、伊太利、亞米利加アタリデモ利益  
分配ノ中ニ入レテ居ルノデアリマス、此處  
ニ各國ノ例ガ皆アリマス、是ハ佛蘭西、是  
ハ亞米利加、此様ニ立派ニ協調會カラ出テ  
居ルモノノ中ニアリマス、此退職手當ノヤ  
ウナモノハ、是同ジ種類ノモノハ皆利益  
分配ノ統計ノ中ニ各國ハ入レテ居ル、而モ  
ソレハ今日ニ至ルマデ百三十年間法律ヲ以  
テ強要出來ナイ所ノ法理上ノ問題デアリ、

實際ノ社會通念ノ上カラ其様ナ問題ガアル  
ノデス、今茲ニ退職手當制度トシテ規定セ  
ラレルコトハ、皆是ハ利益分配ノ統計ノ中ニ  
明ニ入ッテ居ルノデアアルカラ、ソレハ議論ス  
ル餘地ガアリマセヌ、斯様ナコトハ既ニ先  
進諸國ニ於テ、勞働立法ニ努メテ居ル國デ  
モ、法律ヲ以テ之ヲ強要出來ナイノニモ拘  
ラズ、日本ガ十七條ノ規定デ以テ率先シテ  
臨ムト云フコトノ勇氣ハ、甚ダ嘉スベキデ  
アルガ、法理上ノ論據並ニ社會通念ノ上ニ  
於キマシテモ、其考ヘ於ハ甚ダ根據ガ薄弱  
デアルト云フコトヲ私ハ簡單デハアルガ、

先程カラ申述べタノデアリマス、ソレデモ  
世界ハ世界、日本ハ日本デアアルカラ、他人  
ガ何ヲ言ハウトモ、ドウシテモ之ヲ押通ス  
ト云フ勇氣、ソレハ唯勇氣ダケノ問題デア  
リマスガ、意見ノ相違デアルト云フナラバ

ソレマデアリマスガ、殊ニ内務省八年々  
勞働會議ニオイデニナル、何ノ爲ニ勞働會  
議ニオイデニナルノカ、日本ハ日本ダケデ  
ヤルト云フナラ勞働會議ニ行クコトハ止メ  
ラレタラドウカ、行ク必要ハアリマセヌ、  
是マデ内務省ガ斯ウ云フ社會立法ヲ爲スニ  
付テハ、各國ノ採ルベキモノハ探ッテ、其範  
ト爲スベキモノハ探ッテ、各種ノ社會立法ヲ  
發案シタト云フコトハ明瞭デアリマス、ソ  
レニモ拘ラズ、此案ニ限ッテ世界各國ニ何等  
ノ前例ヲ持タザル所ノ斯ウ云フモノヲ、一  
年間研究シタカラト云ッテ、突如トシテ提案  
サレルト云フコトハドウシテモ分ラヌ、私  
ハ此十七條ノ規定ノ論據ガドウシテモ諒解  
ガ出來ナイ、此點ヲ一應内務大臣ノ所見ヲ  
伺ヒマス

○廣瀨政府委員 十七條ノ問題ニ付キマシ  
テ色々學理的ノ御議論ヲ拜聴致シマシタ、  
本法ハ社會的ノ通念ニ反スルト云フ仰セデ  
アリマスガ、私ハサウ思ヒマセヌノデ、是  
ガアッテ第十六條、第十七條ト相伴ッテ初メ  
テ完全ニナリ得ルモノト、斯ウ思ッテ居リ  
マス、社會的通念ニ反スルト云フ仰セデア  
リマスガ、併シ負擔能力アル場合ニ於テ、或  
ル限度ニ之ヲ割イテ、サウシテ退職積立金  
ニ充テルト云フコトハ、其計算方法、其他ニ

付テノ面倒ハアルカモ知レマセヌガ、常  
識カラ言ヘバ一向差支ナイ、立法例ガナイ  
ト云フ仰セデアリマスガ、立法例ニ付テハ  
私共ノ十分ノ調査ガ足ラヌノデアリマセウ  
カ存ジマセヌガ、立法例ガナクテモ、ヤハ  
リハ負擔ノ能力アル場合ニ於テ、一定ノ  
限度ニ於テ之ヲ積立金トシテ割クト云フコ  
トハ、通念ニ反スルモノデハナイト信ジテ  
居ルノデアリマス

○松村委員 意見ノ相違デアリマスルガ、  
此際附加ヘテ置クコトハ勞働組合ハ多年、數  
十年ノ間利益分配制度ニ對シマシテ、極力  
反對ノ態度ヲ執ッテ居ッタ、日本ノ勞働組合  
ノ過去ニ於キマシテハ此利益分配制度ニ極  
力反對ノ態度ヲ執ッテ居ッタノデアリマス、  
分ラズニ色々ナコトヲ言ッテ居ルガ、一言附  
加ヘテ置キマスガ、唯最近ニナリマシテ獨  
逸其外ノ國ハ勞資ノ關係ハ今マデノヤウナ  
階級闘争デハイカヌト云フ觀念ノ進ンデ來  
タ結果、此種ノ問題ニ付キマシテ、勞働組  
合モ稍、妥協的ノ態度ヲ最近執リツ、アリ  
マス、日本ノ勞働組合ノ如キハ過去ニ於テ  
極力反對シテ居ッタ、ソレガ最近妥協的ノ態  
度ヲ示シテ居ルカドウカ、私ハ寡聞ニシテ  
知リマセヌガ、利益分配ノ制度ニ對シマシ  
テハ、勞働組合運動ノ歴史ノ上カラ言フナ

ラバ、長イ間極力反對シテ來テ居ル、日本  
ノ勞働組合モ過去ニ於テ反對シタ、若シ私  
ガ間違ッテ居ルナラバ取消シマスガ、私ノ寡  
聞ノ過去ニ於テハ反對ヲ聲明シテ居ッタヤ  
ウニ思フノデアリマス、多分昭和六年ニ内  
務省カラ出シマシタ勞働組合法ノ立法ノ時  
ニモ左様ナコトヲ何カ吾々ニ書類ヲ配ッテ  
居ルノデアリマス、此處ニ持ッテ來テ居リマ  
スガ、讀上ゲル必要ハナイ、サウ云フ勞働  
運動ノ上ニ於キマシテ非常ニ面倒ナル利益  
分配制度ナンデス、是ガ今日デハ漸クサウ  
云フ社會全體ノ考ガ變リ、勞働組合モ贊成、  
妥協的ノ態度ヲ執ッテ來タノデアリマスガ、  
併シ世界各國ノ勞働組合ガ悉ク之ニ贊成シ  
テ居ルト云フ現狀ニハ行ッテ居リマセヌ、斯  
ウ云フ面倒ナ問題デアルカラ、分ラズニ唯  
贊成トカ、反對トカ言ウテ居ラレル人モア  
ルヤウデスガ、ドウカ政府ハ此點ニ付キマ  
シテ、徹底的ナル調査研究ヲ進メラレテノ  
後ノコトナラ鬼毛角、餘リ世界ノコトハド  
ウデモ宜イト云フヤウナ、日本ハ日本ダト  
言ハレテ居ルガ、ドウモ意見ノ相違デアリ  
マスルガ、一言茲ニ附加ヘテ置キマス

○熊谷委員長 松村君、尙ホ發言ガ澤山ア  
リマスカ  
○松村委員 マダ大分アリマス

○熊谷委員長 ソレデハ是デ休憩致シマシ  
テ、午後二時ニ開會シマス  
午後零時十三分休憩

午後二時三十六分開議

○熊谷委員長 ソレデハ是カラ開會致シマ  
ス

○松村委員 内務大臣ノ出席ヲ要求シマス  
——午前中罰則ノ規定ガ酷ニ過ギル、而モ  
法律上ノ論據モ薄弱デアルカラ、或ハ横領  
罪云々ト云フ觀念モ當嵌ラナイ、色々ナル  
實例ヲ擧ゲタノデアリマスルガ、要スルニ  
此罰則ハ法律上ノ性質モ違ヒマスケレド  
モ、工場法、商法其外日本現行一般ノ法規  
ト比較シテ研究ガ足りナイ、又法文ハ難解  
デアッテ、手續ハ煩瑣デアッテ、殊ニ中小工  
業者ハ此法規ニ違反スル虞ガ多分ニアル、  
又第三ハ退職手當ト云フモノガ、從來史的  
發展ノ経路ヲ見テモ、特殊ニ發達シタル日  
本特有ノ制度デアルト云フヤウナコトヲ考  
ヘル時、此罰則ハ餘程考ヘナケレバナラヌ、  
斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、  
罰則ニ關聯致シマシテ第三十條ノ第三項ニ  
「少クトモ勤続一年ニ付標準賃金十二日分  
ニ相當スル退職手當」云々トアル、三十四  
條ノ第四號ニハ「標準賃金十二日分以内ニ

相當スル金額トアツテ、一方ハ十二日分ニ相當スル、一方ハ少クトモ十二日分以上トアル、三十四條ニ十二日分以上トアルノハドウ云フ理由デアルカ、一應説明ヲ願ヒマス

○赤松政府委員 三十條ニ勤續一年ニ付標準賃金ヲ少クトモ十二日分以上ヲ支給スルヤウニ書イテゴザイマスノハ、從來民間ニアリマス所ノ退職手當制度ニ於キマシテハ、本案ノ要求致シマスモノヨリハ以上ノモノヲ規定致シテ居ル實例ガ澤山アルノデアリマス、其規定ヲ本法施行後ニ於キマシテモ續ケテ、本法ニ依ル退職手當制度トシテ維持シテ行クコトノ出來マスヤウニ書イタモノデアリマス、其場合ニ於キマシテ三十一條ニ依リ準備積立金ヲ置キマシテ、從來ノ制度ヲ其儘ニ維持シテ行ク爲ニハ、本案ノ要求致シマスヨリモ其程度ガ以下デアツテハ困リマスノデ、少クトモ其程度ガ退職時ニ於キマス所ノ標準賃金ノ十二日分以上ヲ支給スル規定デナケレバナナイト云フコトヲ茲ニ明ニシタノデアリマス、而シテ三十四條ノ四號ニ於キマシテ「勤續一年ニ付標準賃金十二日分以上ニ相當スル金額」此場合ニ於キマシテ「以內」ト云フ字ヲ使ッテ居リマスノハ、法律ガ要求致シマスモノ

ハ少クトモ十二日分、最高十二日分ヲヤレバ罰則デ以テ強要スル所デハナイノダ、ソレ以上ノモノハ從來通り任意ノ給與ト云フ性質ヲ持タシテ行キタイ、法律ハ十二日分ヲヤレバ宜イシト云フコトヲ明ニシタノデアリマシテ、尙ホ其以內ト申シマスノハ、三十條ノ第三項ニ於キマシテ、終ノ方ニ第二十四條第一項但書ヲ準用致シテ居ルノデアリマス、第二十四條第一項但書ト申シマスルノハ、特別ノ事由アル場合ニ於キマシテハ、退職手當ノ全部又ハ一部ヲ支給セザル場合ノアルコトヲ規定シテ居リマス所ノ條文デアルノデアリマス、隨ヒマシテ其命令ニ依リマシテ定メラレタル範圍内ニ於キマシテハ減額シテ支給ヲ致ス場合モアリマス、隨テ十二日分以上ノ支給ヲ致シマス場合モ生ジテ來ルノデアリマス、故ニ罰則ニ於キマシテハ十二日分以上ト云フ字ヲ使ヒマシテ、其點ヲ明ニ致シタ次第デアリマス

○松村委員 サウスルト一日分支給シテモ大體法ノ違反ニナラナイト云フコトニナリマスカ  
○赤松政府委員 二十四條但書ニ依リマス命令ノ定メマスル範圍内ニ於テ、ソレニ違反シナイ程度ニ於テ減額致シマシタ場合デ

アリマスルナラバ差支ナイノデアリマス  
○松村委員 二十四條ノ但書、所ガ三十條第三項ノ規定ニ依ッテ支給スル退職手當ハ二十四條ノ但書以外ニハ何モ觸レテ居リマセヌカ  
○赤松政府委員 詳シク申上ゲマスレバ、二十四條第一項但書及ビ第二十六條第一項但書、即チ是ハ特別手當ヲ加算シナイデモ宜イ場合デアリマス、此場合ガ其十二日分ヨリ以下ニ下リマス場合ヲ生ズル時デアリマス

○松村委員 多少不明ノ點ガアリマスガ、尙ホ其點ハモウ少シ研究ヲ要スルト思ヒマス、ソコデ次ニ先程第一條ノ時ニ續イテ質問スベキデアリマシタガ、大分混亂シテ居リマシタカラ差控ヘタノデアリマスルガ、アノ時ノ政府委員ノ答辯デハ分ラナイ問題ガ大分殘ッテ居ル、電氣、瓦斯ニ付テハ考慮スルト云フ話デアツタガ、電氣、瓦斯ハ先程非公式ニ是ハ私が申シマシタヤウニ、工場法ノ適用ヲ大體受ケテ居ルノデアリマセヌカ、其點ヲ伺ヒマス  
○赤松政府委員 電氣事業、瓦斯事業ニ於キマシテハ工場法ノ適用ヲ受ケマスヤウナ工場ヲモ含ンデ居リマス以外ニ、労働者トシマシテハ戸外ニ出マシテ働イテ居ル種類

ノ者モ居リマス、隨ヒマシテ電氣事業、瓦斯事業全體トシマシテハ工場法ノ適用ヲ受ケマスコトハアリマセヌケレドモ、其中ノ工場ト目セラレルベキモノニ付キマシテハ、工場法ノ適用ヲ受ケテ居ルモノモアルノデアリマス

○松村委員 ソレナラバ電氣、瓦斯事業ハ考ヘルナント云フコトヂヤナクテ、電氣、瓦斯事業ハ當然工場法ノ適用ヲ受ケル、又新聞社ノ如キ、編輯ト營業ヲ除ク外殆下全部——殆下全部ト言フト多少語弊ガアルガ、輸送部、自動車部ニ至ルマデ全部本法ノ適用ヲ受ケルモノト解釋サレマスカドウカ  
○赤松政府委員 電氣、瓦斯事業ニ於キマシテハ、工場法ノ適用ヲ受ケテ居リマス工場ハ本法ニ依リマシテ適用ヲ受ケルコトニ相成リマス、或ハ今例トシテ御引ニナリマシタ新聞社ニ於キマシテモ、印刷工場ニ屬シマスル處ガ、工場法ノ適用ヲ受ケテ居リマス工場デアリマスルナラバ、其處ニ從事致シテ居リマス所ノ労働者ハ本法ノ適用ヲ受ケルコトニ相成ルノデアリマス、今御質問ノアリマシタ發送部ノヤウナ種類ノモノハ、恐ラク是ハ工場法ノ適用ヲ受ケテ居ル職工デハナイト考ヘラレマスノデ、若シ左様トスレバ本法ノ適用ヲ受ケナイコ

トニ相成リマス

○松村委員 尙ホソレハ御調ノ上御答ヲ願ヒマス、大體新聞社ハ多分發送部マデ、工場法ノ解釋ハサウ云フ工場其モノデナクシテ、寧ロ植字工、印刷工「パッキング」ヲスル處ハ當然工場法ノ適用ヲ受ケルモノト思ハレマスノデ、ソレハモウ一應御調ヲ願フテ置キマス、ソコデサウ云フ關係カラ申シマスナラバ、先程電氣、瓦斯ニ付テハ考ヘルト言ハレマシタガ、一ツノ事業ノ中デ工場法ノ適用ヲ受ケテ居ル者ト、受ケテ居ラナイ者ガアリマスルノデアリマスルカラ、ドウシテモ第三項ノ勅令ヲ以テ指定スル事業ハ餘程慎重ニ考ヘラレテ、擴大スルト云フコトノ方針ヲ以テ、特ニ明年一月一日本法ヲ施行スルマデニ十分練ラレマシテ、サウ云フ方針ヲ以テ本案ヲ施行セラレルコトヲ希望トシテ申上ゲテ置キマス

次ニ第五條ニ關係ガアリマスルガ、本會議以來屢々質問ガアッタノデアリマスガ、臨時工ノ問題デアリマス、本案適用ノ上ニ於テ臨時工ハ非常ニ問題トナルノデアリマシテ、現ニ末弘君ノ如キハ臨時工ガ多イト云フコトハ近代勞働狀態ノ現狀デアルカラ、ソレデアルカラ退職手當ト云フモノハ外國デモ行フコトガ出來ナイト思フ、失業保險

ガナケレバ其用ヲ爲サナイノデアル、日本

モ段々臨時工ガ多クナル傾向ニアル、ソレダカラ此退職積立法ト云フモノハサウ云フコトカラ考ヘテモ餘程考慮シナケレバナラヌト云フコトヲ説イテ居ラレマスガ、斯ウ云フ議論ハ別ト致シマシテ、臨時工ノ問題デアリマスルガ、臨時工ハ是非非常ニ多クアッテ、サウシテ屢々外ノ委員カラ質問サレマシタ通り一番本法ヲ適用スル上ニ於テ問題トナルノデス、政府ハ善處スルト申サレマスルガ、殊ニ臨時工ハ遺憾ナガラ官業ニ於テ著シク多イノデアリマス、民間ヨリモ官業ニ多イノデス、是ハ政府ハドウ云フ心持デアルカ、私ノ請求シマシタ資料ニハ官業ダケハ一ツモ出シテ居ラス、是ハ善意デアルカ、惡意デアルカ、折角是ダケ大キナ書類ヲ拵ヘマスノニ官業ハ殆ド此中ニハ載ッテ居ラナイ、所ガ臨時工ニ關スル半バ公ケノ書類ト見テ宜イヤウナモノヲ見マスト云フト、臨時工ト云フモノハ官業ニ非常ニ多イ、是ハ臨時工ニ關スル勞働調査所ノ編纂デアリマシテ、此調査ニ依リマスト云フト、官業ノ臨時工ハ昭和十年五月一日現在ニ於テ、陸海軍ノ工廠ダケデモ三萬七千五百二十四名ト云フ驚クベキ臨時工ガ居ル、其他ノ官業ノ工場ヲ合セマスト非常ニア

ル、陸海軍ダケデモサウ云フ大キナ臨時工

ヲ持ッテ居リマス、是ハ陸海軍ダケシカ調べガ出來テ居マセヌガ、其他ニモ臨時工ハ非常ニ多ク大體百人以上使ッテ居リマス民間ノ工場ノ臨時工ガ八萬デアリマス、サウシマス、民間ノ八萬ニ對シテ、官業ハ陸海軍ノ工廠ダケデモ三萬七千五百ト云フ風ナ大キナ臨時工ヲ持ッテ居ル、此臨時工ノ問題ガ非常ニ日本ノ勞働問題ノ上ニ喧シイ問題デアリ、本法ヲ施行スルニ當リマシテ、此臨時工ノ問題ガ一番問題トナッテ居ル、ソレバカリデハナイ、陸海軍ノハ今數字ヲ述ベマシタガ、曾テ官業デアッタ八幡製鐵所ノ如キハ、驚ク勿レ一萬六千人ノ職工中一萬一千三百人ガ臨時工デアアル、殆ド臨時工ト云フモノハ常雇ト同ジ位ニ八幡製鐵所ナドデハ數ガ多イ、八幡製鐵所ノ如キハ、既ニ官ノ手ヲ離レテ民間ニナッタノデアリマスガ、殆ド半分マデ臨時工デアアル、斯ウ云フヤウナ官業並ニ官業類似ノ工場ニ於キマシテ、本法ハ適用出來ナイト云フコトハ、折角政府ガ社會立法ヲ行ハレタ趣旨ノ上カラ、洵ニ遺憾ノ點デアリマス、又政府ハ善處スル、善處スルト言ハレマスケレドモ、是等ノ夥シイ臨時工、殊ニ官業ニ於ケル民間ヨリモ夥シイ臨時工ニ對シマシテ、政府ハ

本法ヲ施行シナイナラバ、特ニ是等ノ臨時

工ニ對シマシテ、何カ應急臨機ノ代案トナルベキ救済施設ヲ講ゼラレル意思アリヤ否ヤト云フコトヲ、今御出デニナリマシタカラ、内務大臣並ニ政府委員ニ伺ヒマス

○赤松政府委員 官業ニ於キマスル臨時工ハ御説ノ如ク相當ノ數ガ一部ニ存在致シテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテハ、本案施行後ニ於キマシテハ、本案ト同程度以上ノ退職手當ニ關シマスル待遇ハ致スコトニ内定致シテ居リマス次第デアリマス

○松村委員 只今政府委員ハ官業ニ於キマシテハ、少クトモ本案以上ノ退職手當ヲ實行スル意思ナリト言明シテ居ラレマス、勿論ノコトデアリマス、私ノ問ハントシタコトハ、是等ノ臨時工ニ關シマスルコトニ付キマシテ、此間内務大臣其他ノ答辯ニ依リマスルト、數日間位中斷シタ者ハ悉ク臨時工ト見ナイト云フ、可ナリ廣キ意味ノ……臨時工ニ對シマシテハ嚴格ナル解釋ヲ以テ其救済ニ當リタイト言ッテ居ラレマスガ、殊ニ陸海軍ノ工場ニ於キマシテハ、只今申シマシタヤウナ臨時工ニ付キマシテ、果シテ政府殊ニ内務省ハ、今ノ臨時工ノ解釋ト同様嚴格ナル解釋ヲ採ラレル御方針ト解シマスルガ、内務大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

○潮國務大臣 只今御尋ノ臨時工ニ關スル問題ハ、赤松政府委員カラ大體申上ゲタ通リデアリマス、成ベク官業ニ於キマシテモ事實ニ合セルヤウニ、臨時工ト云フモノハ出來ルダケ整理ヲシテ、實際ニ合フヤウニシテ行ク方針ヲ持ッテ居リマス

○松村委員 先程、私ガ指摘致シマシタ通りニ、政府ハ殆ド遞信省關係ノモノハ調ガ出來テ居ラスト云フ、洵ニ情ナイ御言葉デアリマシタガ、ドウカ是等ノ事實上哀レナル遞信從業員ノ爲ニモ、本法ト同様ナル退職手當ヲ速ニ實施セラレンコトヲ要望致シ、且ツ政府ノ言明ノ誤リナカラシメコトヲ茲ニ確メテ置キマス

○赤松政府委員 郵便從業員ノ事柄ニ付キマシテハ、只今松村委員ノ御話ニ誤解ガアルト思ヒマスノデ、申上ゲテ置キマスガ、勿論是ガ待遇ニ付キマシテハ、別途考慮スベキコトガ多々アルヤウニ考ヘルノデアリマスルガ、本案トハ全然關係ガゴザイマセヌノデ、此點ニ付キマシテハ、比較ノ問題ガ起ラナイト云フコトヲ先程申上ゲタニ過ギマセヌコトヲ御承知置キ願ヒタイト思ヒマス

○松村委員 官業デアリマスルガ故ニ、特ニ工場關係ノモノデナクテモ、ヤハリ此精

神ヲ酌シテ救済法ノ實施サレルコトヲ吾々ハ要望シテ居ルノデアリマス、ソレカラ陸海軍ノ問題ヲ述ベマシタ時ニ申シテ置キマシタガ、日本ノ陸海軍ノ工場ノ賃銀支給ノ狀態ハ、總額ニ於キマシテハ此頃忙シイノデ非常ニ實收ハ多イヤウデアリマスケレドモ、併シ賃銀支給ノ支拂方法ハ非常ニ舊式デアリマシテ、是等ノ點ニ付キマシテモ、此退職手當ヲ實施スルニ付キマシテ政府ノ注意スベキコトガアリマスガ、長クナリマ

スルカラ、陸海軍ノ政府委員モ居リマセヌカラ、是ハ保留致シテ置キマス、尙ホ是ガ最初ニ出マシタ舊案ニ依リマス、一箇年千二百圓、月百圓以内ノ職員ヲ加ヘテ居リマシタガ、之ヲ除カレマシタ理由ハドウ云フ譯デアリマスカ

○廣瀨政府委員 最初失業對策委員會ニ內務省ノ幹事案ト云フヤウナコトデ非公式ニ出テ居ルモノガ只今御議論ニナッタ點ダト思ヒマスガ、職員等ハ労働者ト其使用條件其他ノ社會的事情ト云フモノガ全ク異リマスノデ、本法ハ工場鑛山ノ手當制度ヲ法制化スルト云フコトデアリマスカラ、サウ云フモノヲ除イタ次第デアリマス

○松村委員 除カレマシタル経路ハ色々理由モアリマセウガ、併シ最初ニ出サレタ舊

案ニ依リマスルト、之ニ職員モ加ッテ居リマス、其加ッテ居リマスコトガ社會立法ノ本質上當然デアリマシテ、除カレタコトヲ頗ル吾々ハ本案ニ對シテ遺憾ナコトダと思フ、ヤハリ最初ノ案ノヤウニ、ソレハ千二百圓ガ妥當デアルカドウカハ兎ニ角、モウ少シ其標準ハ下ゲテモ宜イト思ヒマスガ、職員ヲ除カレタコト云フコトハ、本案ノ非常

ナ缺陷デアリマス、官業ニ於テハ少クトモ十八萬人カ二十萬人ノ雇、殊ニ薄給ナル雇ガ居ル、總テノ會社工場ナドニ於テモ、實際保護シナケレバナラヌ者ハ何デア、團結權ノ自由モナケレバ、團結其モノ、力モ乏シイ是等ノ薄給ナル下級職員、日本ノ殊ニ是等ノ人々ハ團結ノ自由モナケレバ其力モ乏シイ、ダカラ最初ニ此案ヲ立テラレタ時ノ考ヘ方ガ非常ニ良イノデス、職員ヲ加ヘテ居ルト云フコトハ非常ニ良イニモ拘ラズ、之ヲ除カレタコト云フコトハ、本法適用ノ範圍ヲ極端ニ縮小シテシマッタ、斯ウ云フ必要缺クベカラザル、保護シナケレバナラヌモノヲ除カレタコト云フコトハ、洵ニ遺憾ノ極デアリマスガ、唯審査ヲシテ居ル間ニ簡單ニ除イタコト云フコトデアリマスガ、是

ハ内務省ガ只今ノ御答ノヤウニ簡單ナ理由デ除カレタノデアリマスルカ、然ラバ最初

ニ之ヲ加ヘラレタ理由ヲ伺ヒマス

○赤松政府委員 最初ニ之ヲ加ヘマシタ時ノ考ハ、健康保險法等ニ於キマシテ少額所得デアル所ノ職員ニ付キマシテハ、之ヲ一般労働者ト同様ニ健康保險ノ被保險者ニ致シテ居リマス、經濟的事情カラ申シマスルナラバ、同様ニ取扱フノガーツノ立法ノ理窟デアルト考ヘマシテ、最初ニ加ヘタノデアリマス、併ナガラ其後本案ノ對策委員會ニ於キマスル経路ニ於キマシテ、職員ト労働者トハ立場ガ違フノデアリマス、ソレヲ一律ニ法規ノ中ニ規定スルノハ、工場利用經營ノ上ニ障礙ガアルト云フ實際家ノ御意見モアリマス、旁、事情ノ違ッテ居リマス所ノ職員ヲ同一法規ノ中ニ取扱ヒマスコトヲ差控ヘタ方ガ、實際ニ適應スルデアラウト考ヘマシテ、之ヲ割愛シタ次第デアリマス

○松村委員 實際家ガドウ云フコトヲ言ッタカ、私ハ實際家ノ意見ヲ伺ッテ居ルノデハアリマセヌ、實際家ハ便宜上色々言フデアリマセウ、政府ハソレダケノ説明デ同意サレタノデアリマス、工場利用經營上立場ガ違フコト云フノハドウ云フコトデアリマスカ

○赤松政府委員 サウ云フ輿論モアリマシタノデ洵ニ尤ナ次第デアリマスシ、取敢ヘ

ズ工場鑛山ニ先ヅ之ヲ普及致シテ行クノガ  
妥當デアルト考ヘマシテ、職員ハ除キマシ  
タ次第デアリマス

○松村委員 是レ以上申シマシテモ無益デ  
アリマスケレドモ、取敢ヘズト云フ以上ハ、  
ヤハリ最初ニ立案サレタガ如ク、政府ハ適  
當ナル機會ニ於キマシテ、是等ノ洵ニ氣ノ  
毒ナル、見方ニ依ッテハ労働者ニ劣ラザル  
氣ノ毒ナ事情ニ在ル所ノ、是等ノ雇、他ニ  
何ニモ保護規定ノ無イ是等下級職員ニ對シ  
マシテ、此法規ノ恩典、社會立法ノ恩典ニ  
浴サセルヤウニ、適當ナル善處考慮ヲ煩ハ  
サレンコトヲ要望シテ置キマス、マダ私ノ  
逐條ニ關スル質疑ハ殘ッテ居リマスケレド  
モ、長クナリマスカラ、是デ一應質疑ヲ保  
留ヲ致シテ置キマス

○熊谷委員長 デハ次ニ松田正一君

○松田委員 松村君ノ御質問デ大體私ノ伺  
ハウト致シテ居リマシタ罰則ノ點、竝ニ官  
業ヲ除外致シタ點ニ付テハ、殆ド質問應答  
ガ盡キテ居ルヤウニ思ハレマスカラ、唯一  
點内務大臣ニ御伺シテ置キタイノデアリマ  
ス、先ヅ罰則デアリマスガ、此案ヲ見マス  
ト、丁度十七箇條罰則ガ設ケラレテ居ル、  
一體工場主ト労働者ノ間柄ト云フモノハ、  
サウ仇同士ノ寄ッテヤウナモノデヤナイノ

デアリマス、ヤハリ一ツノ工場ノ爲ニ働イ  
テ、工場主モ工場ノ爲ニ、又労働者ノ爲ニ  
始終畫策ヲシテ居ルト云フ間柄デアルノデ  
アリマス、昔カラ主従ハ三世ト言ハレテ居  
リマスガ、ドウモ此間柄ヲ水臭クスルヤウ  
ナ法律ヂヤアルマイカト思ハレル、成程此  
積立金ヲ勝手氣儘ニ使フト云フコトハ、是  
ハ労働者ニ對シテ不安ヲ感ゼシメル、サウ  
云フコトニナリマス、刑法上横領ト類似ヲ  
致シテ居ルカラ、刑法上ノ横領ノ罪ハ重イ、  
十年以下ノ懲役デアル、ダカラ之ヲ恩惠的  
ニ三年以下ノ懲役トシタト言ハレマス、所  
デサウ云フコトニナリマス、横領類似ト  
申シマス、内務大臣モ内務行政ノ事ニ付  
テハ御詳シイノデアリマスシ、社會局長官  
モ知事ヲナサツテ居ラレタノデ、大分御詳シ  
イヤウニ思ヒマス、一體豫算ヲ取ッテ、其豫  
算デ假ニ人件費五十人ノ豫算ヲ取ッテ置イ  
テ、四十人使ウッテ十人ノ人件費ガ殘ッテ、是  
ハ決算ノ方ニ現レテ居ルコトガ多クアリマ  
スガ、斯ウ云フ場合ニ殘ッタモノヲ流用シ  
テ賞與ニ分ケテシマフ、此例ハ澤山アル、  
刑法上ノ背任罪ノ上カラ云フト、他人ノ事  
務ヲ處理スルモノハ自己若クハ他人ノ利益  
ヲ圖ッテ場合ハ背任罪ニナルト云フコトデ  
アリマスガ、此ガ所謂横領類似ダト申サ

レマスレバ、今迄官廳ノヤッテ居ル斯ウ云  
フ流用ハ背任類似ト申サナケレバナラヌ、  
大分長イ仕來リデ、吾々ハ縣會當時カラ大  
分叫ンデ來テ居リマスガ、今ニ改メナイ、  
是ハ背任類似ト云フコトニナラヌカドウカ  
御伺致シマス

○潮國務大臣 此罰則ヲ本法ニ設ケマス  
トハ、今朝モ御答致シテ置キマシヤウニ、  
罰則ノナイコトガ好マシイコトデアリマス  
ケレドモ、萬已ムヲ得マセズ、或ル要所要  
所ハ押ヘテ罰則デ行カナケレバナラヌト云  
フコトニナッタノデス、固ヨリ仰セノ通り勞  
資ノ關係ハ決シテ相互信頼ノ趣旨ヲ踏外シ  
テハナラヌノデアリマシテ、飽迄モ兩者ノ  
關係ハ相互信頼ト云フコトニ立脚シテ行カ  
ナケレバナラヌト思ヒマスカラ、出來得ベ  
クンバ法制ヲ作りマシテモ、罰則ナド設ケ  
ズニ進ムコトヲ望ンデ居リマスガ、何分ニ  
モ斯ウ云フ新シキ立法デアリ、而モソコニ  
積立其他ニ付テ支給ノ確保ヲ期スル上カ  
ラハ、或ル程度ノ罰則ハ已ムヲ得ナイト思ッ  
テ居ルノデアリマス、唯然ラバ豫算ニ付テ  
流用ト云フコトヲヤッテ居ルガ、是ハ背任類  
似ノモノデハナイカト云フコトデアリマス  
ガ、此點ハドウモ政府全體ニモ關シタコト  
デアリ、長イ間ノ慣行ヲヤッテ居ッテ、是ハ

背任類似ノモノトハ考ヘマセヌガ、今直チ  
ニ之ニ付テ明確ナル答辯ヲスルダケノ準備  
ヲ持ッテ居リマセヌ

○松田委員 他ノ内閣ナラバ是ハ御尋致シ  
マセヌ、二・二六事件ガ起ッテ現内閣ガ組織  
サレタ時ノ第一ニ言ハレタ政策ト云フモノ  
ハ庶政一新ト云フコトデアアル、ソレデア  
ルカラ特ニ御伺致スノデアリマス、サウ云フ  
コトヲアナタハ善イト思ハレテ居ルカ、惡  
イト思ハレテ居ルカ、善イト思ハレテ居レ  
バ善イデ宜イ理由、惡イト思ハレテ居ルナ  
ラバ、庶政一新ニ於テ改メル必要ハナイカ、  
此點ヲ御伺致シマス

○潮國務大臣 概括論ト致シマスレバ、無  
論豫算ニ細カク見積ッテ明細書等ノ上ニモ  
現レテ居リマスシ、ソレヲ組立テ、大キイ  
豫算ノ款項ニナルノデアリマス、厘毫ト雖  
モソレニ合ハナイヤウニスルコトハ、極論  
スレバソレハ豫算ノ精神ニ反スルコトデア  
リマシテ、決シテ褒ムベキコト、進ンデヤ  
ルベキコトデハナイト思ヒマス、併シ今申  
上ゲタヤウナ事情デ、是ハ從來トデモ或ル  
程度ニ於キマシテ認メラレテ居ルコトデア  
リマスカラ、今全然之ヲ改メテシマフト云フ  
コトハ私一存デ申兼ネマス、併シ精神ト致  
シマシテハ出來得ベクバ細カイ所マデ豫算

編成ノ趣旨ヲ以テ進シテ行クノガ正シキ行キ方ト考ヘテ居リマス

○松田委員 アナタ一人デ御答ガ出来ヌト言ハレルガ、折角閣議等ノ時ニハ、御相談ヲ願フテ置キマシテ、庶政一新ノ實ヲ舉ゲルヤウニ願ヒタイ、吾々ハ此委員會デ政府委員ガ御答辯ニナッタヤウニ、此法案ノ罰則ガ横領類似ダト言ハレ、バ、豫算ノ流用モ明ニ背任類似ト思フノデアリマス、是等ノコトニ付テ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、例ヲ舉ゲマシテモ、幼ナイ子供ニ小遣ヲ十圓ヤッタ、一圓使ッテ九圓殘ッテ居ッタ、ソレヲ目的ヲ定メテ居ラナイ外ノコトニ使ッタナラバ、ヤハリ子供ニ意見ヲサレルデセウ、サウ云フヤウナ所カラ見マスレバ——豫算ハ見積デアリマスカラ、ソレハカッキリトハ行カヌ筈デス、足ラヌ時モアリマスレバ、殘ルコトモアルデセウ、足ラヌ時ニハ必ズ追加豫算デ御出シニナルデハナイカ、所デ餘ッタ時ニハ賞與デ分ケテシマフ、時ニ依ッテハ見物ニ出掛ケテ旅費ニシテシマフ、ソレハドウモ餘リ庶政一新ノ實ガ舉ッテ居ラヌデヤナイデセウカ、ソレカラ工場主ガ特別ニ許可ヲ受ケテ此積立金ヲ運用スル場合ニ、銀行ニ假ニ預金シテ居ッタモノヲ出シテ他ノ目的ニ使フト云フコト、是ハ勞働者

側ニモ同意ヲ求メ、行政官廳ノ許可モ得テソレヲ運用スルノデアリマスガ、斯ウ云フ時ニ損失シタ場合ハ、行政官廳モソレヲ運用シテ宜シイ、又勞働者側デモソレデ宜シイ、工場主モ宜カラウト思ッテ許可ヲ得タ、サウシテ其積立金ノ損失ガ出タ時ニハ、工場主ダケガ之ヲ補填シナケレバナラヌト云フ、是ハ少シ工場主ニ對シテ酷デハナイカト思ハレルガ、コンナ時ニハ政府ガ其缺損ニ付テ何カノ補償ヲシテヤルト云フ御考ガナイカドウカ

○廣瀨政府委員 勞働者側ノ貯金竝ニ事業主ノ積立テ、居ル積立金ニ付キマシテ、其運用ヲ行政官廳ノ許可ヲ受ケテ致シタ場合ハ、是ハドウモ運用ヲ致シタ者ガ支拂フベキ責任ヲ負フノデアリマシテ、行政官廳ト致シテハ相當ノ擔保ヲ提供サシテ、サウシテ運用ヲ許可致シタダケデアリマシテ、ドウモ之ニ對シテ補償ノ途ヲ開クト云フヤウナ譯ニハ參リマセヌ、運用シタ者ガ其責任ヲ負ッテ、ソレガ支拂ニ當ルト云フコトヨリ致シ方ガナイト思ヒマス

○松田委員 内務大臣ニ一寸御伺致シタイノデスガ、一體中小工場主ガ事業資金ヲ得ルニ付テ、只ノ金ハナイノデゴザイマスカ

ラ、此低金利政策ノ實行サレテ居ル現在ノ時代ニ於テ、此資金ニ付テドレ位ノ利息ヲ負擔シテ居ルカト云フコトヲ御取調ニナッテ、此案ヲ立テラレタカドウカ、其利息ガドレ位ノ資金デヤッテ居ルカ、是ハ少クトモ六大都市ダケデモ結構デス、之ヲ御伺致シマス

○赤松政府委員 事情ニ依ッテ色々違フト思ヒマスガ、一々詳シク取調ベタ譯デハゴザイマセヌガ、常識的ニ見マシテモ、中ニハ一割、或ハ一割五分ノ高利ヲ、又ソレ以上ノモノヲ借りテ居ルヤウナ場合モ相當ニ存在シテ居ルト考ヘテ居リマス

○松田委員 サウ致シマス、一割位ナモノモアルト云ハレルノデスガ、此積立金ノ法律ガ實施サレルト、私共ノ承ッテ居ルノデハ、ザット二千二百萬圓位ノ金高ニ上ルヤウニ承ッテ居リマス、ソレデ支拂ッテ行クモノガドレダケカト云フト、マアザットノ計算デアリマスガ、四五百萬圓ト聞イテ居リマス、サウスルト其差ハ、内務大臣ハ昨日ノ答辯デ死藏デヤナイト云ハレタ、ソレガ銀行預金ノ特別當座デアルト百圓ニ付テ目歩七厘、郵便貯金ハ御承知ノ如ク三分デアリマス、ソレカラ金錢信託、最低ハ四分一厘強ニハナッテ居リマスガ、マア四分二厘マデ

デゴザイマス、國債ノ利廻ハ三分五厘ノモノガ今出テ居リマスガ、大體三分七厘ガ程度ダト思ヒマス、サウ致シマスルト二千二百萬圓ノ中デ、假ニ五百萬圓引イタ一千七百萬圓ノ金ト云フモノガ、假ニ運用サレルト云フコトニナリマスレバ、其一割ニ付イテ居ル資金ヲ、平均三分二厘、能ク見テ三分四厘位デ遊バサナケレバナラヌト思ヒマスガ、此利息ノ差ト云フモノハ、工場主ノ負擔デアッテ、此點ニ付テハ工場主ガ、資本ノ運轉上苦シイ立場ニ立ツト云フコトヲ御考ニナッタカドウカト云フコトヲ御伺致シマス

○廣瀨政府委員 御説ノヤウニ工場主ガ、資金ノ利用ニ付テ高利ノ金ヲ借りルト云フコトハアルノデアリマシテ、ソレヲ積立テナケレバナラヌ、而モ積立ツタ金ハ郵便貯金、其他銀行預金デアッテ、割合ニ利息ガ少イト云フコトハ御説ノ通りデアリマスガ、併シ其金ノ性質ヲ御考ヘ下サルト、此金ハ確實ニ將來之ヲ保管シテ行カナケレバナラヌ、サウシテ將來ノ勞働者ノ退職ニ備ヘルト云フ、確實ニ保管シテ行クト云フ以上ハ、ドウモ利子ノ少クナルノハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、又是ハ決シテ死藏ト云フコトデハナイ、之ヲ社會的ニ見マス、是モヤハリ



他ノ方面ニ活用サレテ居ルノデアリマス、

又事業主ノ側ニ付テ申シマシテモ、將來拂  
ハナケレバナライ所ノ手當ヲ、將來ニ於  
テ一度ニ之ヲ纏メテ拂フノヲ、逐次溜メテ  
行ッテ居ルノデアリマシテ、而モ之ヲ確實ニ  
溜メテ行クノデアリマスカラ、其關係上下

ウシテモ已ムヲ得ナイモノト思ッテ居リマス

○松田委員 已ムヲ得ナイモノト言ハレ

コトハ一寸私ハ諒解ガ出來ナイノデアリマ  
スガ、サウナッテ行キマス、隨テ工場主ガ  
苦シイカラ、マア今マデ備ウテ居ル人ハ別

デアリマスケレドモ、將來備フ人ハ成ベク  
安ク備フコトヲ考ヘテ行クグラウト思ヒマ  
ス、是ハ苦シ紛レニサウナッテ行ク、ソレデ此

法律ノ上デハ賃銀ニ付テ、是ハ労働者ノ側  
カラ申シマシテモ、最低賃銀ト云フモノノ  
規定ガアリマセヌシ、時ニ依ッテハ命令ト

カ何トカ云フコトニナッテ居ルカモ知レマ  
セヌガ、是ガ法文ニ上ゲテアリマセヌ爲ニ、  
工場主ガ苦シ紛レニ安イ人ヲ使フト云フコ

トニナッテ來テ、社會局ノ此案ヲ作ラレタ精  
神ニ反スル結果ガ、或ハ惹起ルカモ知レマ  
セヌガ、サウ云フ虞ガアルトハ御考ニナラナ

イカ、サウ云フコトニナル虞ガアルトスル  
ナラバ、最低賃銀ト云フモノヲ此成條ノ上  
ニ現シテ置ク必要ガナイカドウカ、之ヲ承

リマス

○赤松政府委員 本案施行ノ爲ニ労働賃銀

ガ低下スル虞ハナイカト云フ御質問デアリ  
マスルガ、百分ノ二ノ程度ノ問題デアリマ  
スルガ故ニ、是レアルガ爲ニ労働賃銀ガ下

ルト考ヘル必要ハナイヤウニ私共ハ思ッテ  
居リマス、其外ニ労働賃銀ノ上下致シマス  
モト重要ナル原因ガ多々存在致シテ居リ

マス關係上、寧ロ是等ガ影響ヲ及ボシマス  
程度ハ極メテ低イモノダト考ヘテ居リマ  
ス、尙ホ是低賃銀ノ問題ニ付キマシテハ、

別途ニ勿論考究モ致シテ居リマスルガ、本  
案ニ於キマシテ之ヲ設ケマス意思ハ有ッテ  
居リマセヌ

○松田委員 ソレデヤ御答ニハナラヌデ

ス——ソレハ分ッテ居リマス、百分ノ二ト云  
フコトノ負擔ノ重クナルコトハ法ノ上デ  
分ッテ居ル、其以外ニ今言ウタ苦痛ガアルカ

ラ、サウ云フコトニナル、アナタハ百分ノ二  
ノコトヲヤカマシウ言ハレルガ、ソレハ分ッ  
テ居リマス、ソレ以上ニ今申シマスル資本

ノ利子ノ上カラ苦痛ガアルカラ、一層工場  
主ガ安イ人ヲ使ハウト云フコトニナリハセ  
ヌカ、是ハサウデヤナイト仰ッシャルカ、絶

對ソシナ虞ハナイト仰ッシャルカ、更ニ御答  
願ヒマス

○赤松政府委員 先ヅサウ云フ影響ハナイ

モノダト私共ハ觀測シテ居リマスト申上ゲ  
タノデアリマス

○松田委員 觀測ト言フカ、實際今事情ヲ

明ニ私ハ示シテ言ウテ居ル、此案ヲ御考ニ  
ナル時ニハ、モウ少シ工場主ノ立場ニモナ  
リ、労働者側ノ立場ニモ實際ナッテ案ヲ立

テラレヌカラ、ソシナ觀測デ案ガ出來テ來  
ル、少クトモアナタノ心ノ底デハ、成程サウ  
ナルカモ知レヌト云フコトヲ思ハレテ居ル

ニ相違ナイ、若シサウ云フ風ニ思ハレテ居  
タナラバ、最低賃銀ノコトヲ茲ニ現ハスト  
云フコトハ今カラデモ遅クハナイノデス、

サウ云ウヤウニ私共ハ考ヘル、ソレデ私ハ  
實ハ商工大臣ニ通告ヲ致シテ置イテ貰ッ  
タ宜カッタンデスガ、商工大臣ガ居ラレマセ

ヌノデ、之ヲ内務大臣ニ承ッテ置キタイト  
思ヒマス、斯ウシタ苦痛ヲ工場主ガ持ツ、是  
ガ労働者ノ方ニ影響ヲ及ボスコトニナッテ

來ルカラ、之ヲ成ルベク其弊害ヲ少クシヨ  
ウト思ヒマスレバ、幸ヒ商工組合中央金庫  
法ト云フモノガ衆議院貴族院ヲ通過致シタ

ノデ、各工場主ガ組合ヲ作ッテ、アノ商工組  
合中央金庫法ニ基キ中央金庫カラ、資金ヲ  
仰グ場合ニハ、少クトモ此利息ヲ成ルベク

安ク借入レテ運轉スルト云フコトガ、労働

者ト工場主トノ双方ノ救済ニナッテ行クヤ

ウニ思ハレル、コンナコトニ付テ商工省ノ  
方ト御打合せデモシテ居ラレルヤウナ形跡  
ガアルカドウカ

○潮國務大臣 只今ノ工場主ノ苦痛犧牲ヲ

緩和スル爲ニ、或ハ中央金庫等ヨリノ借入  
ニ際シテ便宜ヲ圖ルヤウニト云フ御考ハ、  
私拜聽シテ居ッテ御尤ト考ヘマスルガ、兎ニ

角商工大臣ノ當然ノ主管デゴザイマスノ  
デ、今迄此問題ニ付テ各課ノ打合せトカ云  
フコトハマダハッキリ御答出來ル程度ニ至ッ

テ居リマセヌ

○松田委員 サウシマス、商工大臣ト相當

ナル御協議デモサレテ、成ルベク安イ金ヲ  
工場主ニ貸與ヘルト云フヤウナ便法デモ設  
ケテ貰ヒタイト云フ考ヲ御持チニナッテ居

ルカドウカ

○潮國務大臣 中央金庫ノ貸出ニ付キマシ

テモ、ソレノ條件モアラウト思ヒマスノ  
デ、サウ云フヤウナ條件ヲ滿シマシテ、差  
支ガナイヤウナモノナラバ、私共トシマシ

テハ出來得ル限り其方面ノ便宜ヲ圖ッテ貰  
ヒタイト云フ考ハ持ッテ居リマス、併シ是ハ  
篤ト主管ノ大臣ニ相談シタ上デナイト決リ  
マセヌ

○松田委員 此法案ノ終リノ方ニアリマス

特別手當ノコトデ一寸御伺ヲ致シマス、特別手當ヲ一定ノ額マデ積ンダナラバ、工場ニ依ッテハモウ積マヌデモ宜イト云フコトニナルヤウニ解釋致シテ居リマスガ、其程度ト云フノハ、或ハ資本額ニ依ルノカ、或ハ使ッテ居ル人ノ貸銀ノ高ニ依ルノカ、此點ヲ伺ヒタイ

○赤松政府委員 是ハ事業ノ種類ニ依リマシテハ、特別手當ヲ受クベキヤウナ場合ノ生ジマス人間ガ非常ニ少イモノモアリマスレバ多イモノモアリマス、隨ヒマシテ事業ノ性質ニモ依リ、又其工場ノ狀況ニモ依リ、事業主ノ都合ニ依リマシテ、解雇致シマス者ガ多イカ少イカト云フヤウナ、色々ノ事情ヲ考慮致シマシタ上ニ於テ、或ル程度マデ特別手當ノ準備金ガアレバ、事業主ノ都合ニ依ッテ其額ガ解雇スル者ニ對シ二十日分又ハ三十五日分ノ手當ヲ支給スルニ十分デアルト認メマシタ場合ニハ、ソレ以上積立ラスル必要ハナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松田委員 其必要ガナイト御認ニナルノハ官廳ノ自由デアリマスガ、ソウスルト是ガ私共今聽イテ居ル所ニ依リマスレバ、ザット二千二百萬圓バカリノ高ニナッテ、其中デ年々支拂テ行クモノガ五百萬圓ト致シテ、

千七百萬圓位殘ル、工場主ニ其利息ノ苦痛ガアル、ソレガ都合ニ依ッたら五千萬圓ニモナルカモ知レマセヌ、サウシテ其金ガ殖エテ來タ、運用ノ方ハ是ハ小山君モ申サレタノデアルガ、運用ハ郵便貯金トカ、銀行ノ預金トカ、金錢信託トカ登録公債ト云フヤウナモノデヤラス譯——ソレデモウ少シ利殖ノ途ヲ圖ッテ置キタイ、是ハ双方ノ爲ダカラト思ッテ行政官廳ニ許可ヲ得ニ行クト、中々許可ト云フモノハ急ニシナイノデス、

是ハ迎モ面倒ダカラト云フノデ仕方ガナイカラマア公債ニデモセネバナルマイ、要スルニ是ハ公債ヲ強制的ニ持タス一ツノ方法デヤナイカト社會ハ見テ居ル、デスウ云フヤウナコトハ、社會局トシテハ御考ニナッテハ居ラヌノカドウカ、是ハ中央金庫ノ時ニモ斯ウ云フ御話ガ出タノデスガ、キツト是ハ國債ヨリ仕様ガナイ、ト云フノハ郵便貯金ハ三分デス、ダカラ三分七厘ニナル公債ヲ持タウ、斯ウ云フコトニナッテ來マスガ、サウ云フヤウナコトハ御考ニナッテ居ルノカ居ラヌノカ、氣ガ付イテ居ルカドウカ

○廣瀨政府委員 此積立金ノ積立方法トシテハ決シテ國債ヲ持タセルト云フ所ニ持ッテ行カウト云フ意味ハ毛頭アリマセヌノデ、郵便貯金デモ宜シイシ、又銀行預金デ

モ宜シイ、ソレカラ國債デモ宜シイト云フコトニナッテ居リマス、特ニ一ツノ公債ニ集メロト云フヤウナ考ハ別ニ持ッテ居ラヌノデアリマス

○松田委員 工場主ガ場合ニ依ッテハ斯ウ云フコトモ爲ス場合ガアルト云フ、一ツノ例ヲ申上ゲテ政府當局ノ御考ヲ承リタイノデアリマスガ、工場ガ工場トシテ生キテ行クノニハ、ヤハリ社會ノ信用ト云フコトガ主デヤッテ行クノデゴザイマス、ソレデスカラ工場ノ資本金ガ假ニ十萬圓ト致シマシテモ百萬圓ノ振廻シヲ付ケ、又少クトモ五十萬圓位振廻シヲ付ケテ行カナケレバ逆モ工場ハ維持シテ行ケナイ、信用ガ主ニ仕事ヲスル爲ニ便利ニナッテ居ル譯デス、其信用ヲ得ル爲ニハ配當ヲ成ベク餘計ニシタイト云フノハ是ハ人情デアアル、サウ云フ時ニハ此期ハ以外ナ災害ニ遭フテ利益ガナカッタケレドモ、其期ノ配置ヲ少クスルト云フト信用ノ上ニ困ルカラ、買入レタ機械ガ實際カラ申シマスレバ今マデハ値上リシテ居ル、什器ノ値上リモヤル、又不動產ヲ持ッテ居ルモノガ隨分値上リシテ居ルカラ、アレモ一ツ値上リニシテ、サウシテ利益ノ中ニ組込ンデシマハウ、ソレデ今日マデノ配當ヲ續ケテ行カウト云フヤウナ、苦シ紛レニサウ

云フヤウナコトヲヤル工場モアルト云フコトハ、此法案ヲ作ラレル時ニ御考ニナッタカドウカ

○赤松政府委員 勿論サウ云フ特殊ノ事情ガ實業界ノ中ニ存在シテ居リマスコトハ承知致シテ居リマス

○松田委員 サウ云フコトヲ御考ニナッテ此法案ヲ御作リニナッタト申シマスガ、サウシマスルト云フト、此利益ト申シマスルカ、是ハ宜イコトデヤナイノデスガ、已ムヲ得ズヤルノデアリマスガ、宜イコトデヤナイデスケレドモ、此法案ニ積立金ヲ積立テ、行ク歩合ガ利益トナッテ居リマスガ、サウスルトソレモ尙ホ割イテ此積立金ヲシテ行カナケレバナラヌト云フコトニナルト、一層工場主ガ苦痛ヲ感ズル、寧ロ之ヲ収益トシテ、収益ノ中カラ積立ルト云フヤウニ爲サル御考ハナイカドウカ

○廣瀨政府委員 成ベク十七條ノ場合ニ於キマシテハ外部カラ見エマス、客觀の標準ヲ取ッテ決メテ行キタイト云フ考カラ、配當金ヲ目安ニ置キマシタノデ、収益ヲ基準ニ致シマスレバ、色々其調査ノ問題ガ起リマシテ却テ好マシカラザルコトモ生ジナイトモ限リマセヌノデ、極力サウ云フコトヲ避ケルト云フ意味ニ於キマシテ配當金ヲ採リ

マシタノデ、斯ウ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○松田委員 サウシマスト、元來此社會局ノ作ラレタ此案ハ社會立法ト致シマシテ人類愛カラ出テ來タノガ根本デヤナイカト思ハレル、ソレデ工場主ト云フモノノ立場モ考ヘ、勞働者ノ立場モ能ク考ヘテ此案ガ出來タニ相違ナイノデアリマス、サウシマルト今申シマシタ點ガドウモ工場主ノ非常ニ苦痛トスル所デアッテ、此法案ヲ作ラレル時ニハ當然斯ウ云フコトガ御考ノ中ニナクテハナラヌノデハナカッタカト思ハレルノデアルガ、其御考ガアッタモノトシマスレバ、茲ニ出來テ居ル此案ハ少シ慘酷デヤナイカト思ハレル、又先程モ申シマシタ罰則ノ如キモ何トカモウ少シ緩和スルコトハ出來ヌデセウカ、此罰則ヲ全然ナクセヨトハ申シマセヌ、申シマセヌガ、此處マデ疑ッテ行ッテ、勞働者ト工場主トガ不信用デ以テ、工場ノ中デ働クト云フコトハ面白クナイ、ソシナコトラシテ行ッタナラバ、月末ニ賃銀ガ貰ヘルカ貰ヘナイカト云フノデ、前拂ニデモ貰ハナケレバナラスト云フヤウナコトニナルデハアリマセヌカ、日給ノ人ハ前日ニ貰ッテ置カナケレバナラスト、仕事ヲスルノト賃銀ヲ貰フノト引換ニ、何カ號令デモ

掛ケテ一緒ニシナケレバナラスト云フヤウナコトニナル、工場ト云フモノハソシナモノデハナイ、是ガ人類愛ノ上カラ出タ法律デアルトスルナラバ、此法律モ結構デアルガ、私ニ言ハセレバマダ〱社會立法ノ立場カラシテ、モウ少シ社會局トシテモ考ヘルベキコトガアルト思フ、例ヘバ一家ノ戸主ガ金ヲ濫費シテ死ンデシマッタ、後ニ殘タ五人ノ家族ハ食フニ食ハレナイ、斯ウ云フヤウナモノニ對シテハ、其五人ノ家族ニ對シテ戸主ハ月々金ヲ積立テ、ヤルトカ、或ハ保險ニ加入シテ置イテヤルトカ云フヤウナコトラ法律デ定メタラドウデス、コンナ事例ハ世間ニハ澤山アッテ、新聞ニモ出テ居ル、母子ガ溺レテ死ンデ居ル、ソシナコトノナイヤウニ、夫ガ濫費シナイデ、妻モ子供モ困ラナイヤウニ、サウ云フコトノ社會立法ガ必要デヤナイカト思ハレル、一體モウ少シ双方ノコトラ深く考ヘテ戴キタイ、今私ハ同僚トモ話ヲシテ、私ノ質問ハ簡單ニスルコトニナッテ居リマスカラ、サウ諄々シク質問ハ致シマセヌガ、サウ云フヤウナ意味ニ於テ此法律ガ出來テ居ル、而モアナタ方ハ二年モ掛ッテ此法律ヲ作ッタ、サウシテソレヲ此短イ特別議會ニ出シテ、二日カ三日デ衆議院ニ審議ササウ、サウシテ之ヲ

法律化スル、是ガ議會ヲ通過シタラ國民ニ對スル責任ハ議會ガ負ハナケレバナラスト、佛サンハアナタ方ガ御造リニナッタカモ知レヌガ、魂ハ衆議院デ入レル、魂ヲ入レタ者ガ責任者デアル、ヨウモコンナ短イ特別議會ニコンナ複雑ノ案ヲ出シタモノダト吾吾ハ思ッテ居ル、モウ一年モ二年モ延バサレテ、篤ト考ヘタ上デ御出シニナル御考ハナイカドウカ、斯ウ私ハ思ッテ居ルノデアルガソレニ對スル御意見ハアリマスマイ、聞イタ所ガヤリタイト言フニ決マッテ居ルカラ、私ハ是ダケ申上ゲテ私ノ質問ヲ終リマス

○熊谷委員長 木村君

○木村委員 私ハ本案ニ賛成デアルトカ反對デアルトカ云フ、サウ云フ立場カラデナク、全ク白紙ノ狀態デ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、隨テ其積リデ御答ヲ願ヒタイ、此法案ガ勞働者ノ福利ノ増進ヲ目的トスルモノデアル、斯ウ云フ立法ノ目的ニ付キマシテハ私共モ全然賛成デアリマス、隨テ此法案ガ適切デアルト云フコトデアレバ、私共ハ進ンデ御賛成ヲ申上ゲタイト思フ、然ルニ此法案ヲ通覽シテ見マスト、勞働者ノ爲ニ圖ルガ如ク、而シテ圖ラザルガ如ク、又事業主ヲ拘束スルガ如ク、又拘束セザルガ

如ク、全ク此立法ノ精神ニ於テ一貫シテ居ナイ、私ハ之ヲ通覽シテ感ズルノデアリマス、隨テ各條毎ニ疑問ガ續出スル、斯ウ云フ有様デアリマス、今日マデ色々方面カラ御質問ニナッタト云フノモ全ク其爲デアラウト思フ、ソコデ逐條ノ審議ニ入ルニ先立ッテ當局ノ勞働立法ニ對スル認識ト云フコトラ私ハ伺ハナクチャナラスト、昨日モ此席上デ此退職積立金及退職手當法ガ制定サレルナラバ、從來ノ退職手當ニ關スル勞働爭議ト云フモノハ減少スルデアラウト云フヤウナ御答辯ガアリマシタガ、是ハ私ハ甚ダ諒解ニ苦シム所デアリマス、勞働立法ノ目的トスル所ハ勞働爭議ヲ減少サセル——サウ云フ所デハナイト思フ、勞働者又ハ勞働階級ノ福祉ヲ増進スルト云フ所ニ其目的ガナクチャナラスト思ヒマスガ、此勞働立法ノ結果ト致シマシテ、私ノ考デハ勞働爭議ト云フモノハ一層増加スル、斯ウ斷定シテ私ハ誤リガナイト思ヒマス、併シ私ハ勞働爭議ガ増加シタカラト云ッテ、決シテソレハ爭議ノ性質ニ依リマシテハ社會的見地カラ考ヘテ必シモ惡イトハ言ヘナイ、勞働立法ノ目的トスル所ハ、勞働爭議ガ増加シテモ或ル點ニ於テハ私共ハ差支ナイデヤナイカ、ソレガ社會全體ノ永遠ノ幸

福ニナルト云フコトナラバ、一向差支ナイ  
デヤナイカ、昨日ノ御話デハ本法ヲ制定ス  
ルト勞働爭議ガ減少スルノダト云フヤウナ  
御見解デアル、トスルト餘程當局ノ勞働立  
法ニ對スル認識ト云フモノガ、私ハドンナ  
モノデアルカ御伺シテ見ナクチャナラヌ、  
斯ウ考ヘル次第デアリマス、恐ラク昨日ノ  
答辯ト云フモノハ、當局ノ獨斷デアッデ、法  
ヲ以テ勞働者ノ權利又ハ資本家ノ義務ト云  
フモノガ茲ニ決リマスルナラバ、ソレ等ノ  
コトニ關シテ今後爭議ガ多クナルト云フコ  
トハ、私ハ社會ノ實際カラ見テ當然デアラ  
ウト思フ、例ヘバ退職手當ヲヤルカヤラヌ  
カト云フコトニ付テハ、此法ガ出來マスル  
ナラバ問題ハ起リマスマイ、併ナガラ其支  
給ノ方法等ニ付キマシテ今議論ノアリマシ  
タヤウナ、或ハ利益配當金又ハ純益計算等  
ニ於キマシテ爭ヲ生ズル、本法ニ爭ノ根據  
ヲ持ッテ爭議ガ一層深刻化スルト云フコト  
ハ、私ハ想像ニ難クナイト思ヒマス、是等  
ノ點ニ付キマシテ當局ノ御考ヲ伺ヒタイト  
思ヒマス

此法律ガ出來タ爲ニ爭議ガ殖エルト云フコ  
トハ考ヘラレナイノデアリマス、寧ロ減少  
スル傾向ヲ有ッデアラウト云フコトヲ申上  
ゲタノデアリマス、當局ニ於テハ爭議ハ是  
ハ成ベク避ケタ方宜イ、爭議ヲセズニ其  
目的ヲ達成シ得ルナラバ、是ヨリ結構ナコ  
トハナイト云フヤウニ考ヘテ居リマス、此  
法律ガ出來テ爭議ガ起キルト云フ御見解デ  
アリマスガ、從來ノ退職手當等ハ其制度ハ  
アリマシテモ、或ル場合ニ於テハ明確ヲ缺  
キ、其他色々缺陷ガアツタヤウデアリマス  
ガ、ソレガ今回ノ制度ニ依ッテ相當整備セ  
ラレマシテ、曖昧ナルガ故ニ生ズル爭議ト  
云フヤウナモノハ恐ラク無クナルガラウト  
云フヤウナ工合ニ考ヘテ居リマスノデ、爭  
議ガ殖エルト云フヤウナ工合ニハ考ヘテ居  
リマセヌ

○木村委員 只今ノハ私ハ内務大臣ニ向ッ  
テ御伺シタイ積リデアリマシタガ、是ハ將  
來五六年先ニナッテ統計ヲ取ッテ實際ヲ見レ  
バ直グ分ルコトデアリマス、現ニ内務ノ當  
局、社會立法ノ局ニ當ラレテ居ル所ノ社會  
局長官ガ考ヘテ居ル其認識ガ誤リデアッ  
カドウカト云フコトハ、一三年ノ經過ヲ見  
レバ明瞭ナコトデアリマス、隨テ私ハ將來  
ノ爲ニ内務大臣ノ此點ニ關スル御意見ヲ一  
應伺ッテ置キタイ、内務大臣ハ今社會局長官  
ガ答辯サレタヤウニ、此法ガ出來ルト退職  
手當等ニ關スル爭議ガ今後ハ今日ヨリモ減  
少スルト云フ御考デアルカドウカ、社會ノ  
全體ヲ見テ、勞働運動ノ實際ヲ見テ内務大  
臣ハ篤ト御考ニナッテ、今後は事實ニ依ッ  
テ證明サレルコトデアリマスカラ、御答ヲ  
願ヒタイト思フ

○潮國務大臣 私ノ見テ居ル所モ大體ニ於  
テ社會局長官ノ考ト同ジデゴザイマスガ、  
立法ノ趣旨ガ那邊ニアリヤ分ラヌト云フコ  
トニナッテ參リマス、是ハ長官ガ申シタヤ  
ウニ勞働者ノ福祉ヲ増進スルト云フコトガ  
主デアリマスルシ、從來トテモ慣行ニ依ッ  
テ類似ノ制度ガナカッタ譯デハナイノデア  
リマスケレドモ、ソレニモ拘ラズ隨分爭ハ  
起ッタノデアリマス、度々申上ゲルヤウニ、  
或ハ支給ヲスル場合ニ付テモ爭ガ起リ、又  
支給スル額ナドニ付テモ爭ガ起ッ、餘リ愉  
快デナイ場面モ澤山アツタ、サウ云フコトヲ  
除キマス爲ニハ、或ル程度ノ規則ヲ付ケテ  
ヤルト云フコトガ斯様ナ爭ヲ減ラシムル所  
以ニナルト、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、能  
ク此立法ノ趣旨ト云フモノガ事業主ノ方ニ  
モ、勞働者ノ方ニモ徹底ヲ致シマシテ、双  
方ガ、先程モ申シマスルヤウニ信頼ノ念ヲ  
持タシテ參リマスナラバ、勞働爭議ヲ是ガ  
爲ニ増スト云フコトハナイ、又増サシテハ  
ナラヌ、當局トシテモ十分ニ注意ヲ致ス積  
リデアリマス

○木村委員 當局トシテ十分注意ヲナサル  
コトハ私モ是非注意シテ戴キタイ、今後兩  
三年ニシテ本法ガ實施サレマシタナラバ、  
其結果ハ直チニ分ルコトデアリマスシ、今  
ノ廣瀨社會局長官ナリ、潮内務大臣ガ、立  
法ノ當時ニドウ云フ認識ヲ有ッテ居ッタカト  
云フコトハ、今後統計ニ依ッテモ、實際ニ  
依ッテモ證明サレマス、私ハ決シテ爭議ハ減  
リハシナイ、此事ヲ申上ゲテ置キマス、併  
シハ認識ノ相違デアリマスカラ、争ッテモ  
致シ方アリマセヌガ、併シサウ云フ頭デ考  
ヘラレテ勞働立法ヲサレヌデモ私共ハ宜イ  
ト思フ、爭議ガ多クナルトカ、少クナルト  
カ云フコトハ私ハ眼目デヤナカラウト思  
フ、勞働者ノ福祉ヲ増進スルカドウカ、爭  
議ガ假令多クナッテモ、社會正義ノ爲ニ、勞  
働階級ノ福祉ノ増進ノ爲ニハヤラナクチャ  
ナラヌカラ、社會立法ヲスルンダト云フ、  
斯ウ云フ意氣込デナクテハ、私ハ社會立法  
ヲ主管スル官廳トシテハ甚ダ旗幟鮮明デナ  
イト思ヒマス、ソコデ尙ホ今内務大臣ガ私  
ハ立法ノ趣旨ガ判明シナイトカ言ッタト云

フ御答辯デアリマシタガ、私ハ立法ノ目的ハ十分先刻了解シテ居ルコトヲ申上ゲタノデアリマス、趣旨ガ分ラヌト云フヤウナコトハ私ハ申シマセヌ、ソコデ凡ソ此立法ニ當ッテハ社會ノ實體其モノニ私ハ即シナクテハナラヌト思フ、勞働立法ニ於キマシテハ一層其必要ガアルト思フ、即チ事業主モ勞働者モ此法ノ制定以前ニ既ニ法ガ行ハレ得ル状態ニナクチヤナラス、事業主モ勞働者モ其氣持ニ於テ、又其運用ニ於テ之ヲ實際實行ガ出來ル、斯ウ云フ状態ニ私ハナラナクテハ立法ト云フモノハ爲スベキモノデヤナカラウト思フ、然ルニ當局ノ御説明ニ依ルト退職積立金及退職手當ノ制度ハ隨分設ケテアルケレドモ、大部分ハ實際ハ退職手當ナドヲ給シテナイ、制度ダケアルノダ、斯ウ云フ説明ガ昨日アリマシタ、又吾々モ手許ニ頂戴致シマシタ此參考資料ヲ見マシテモ、退職手當ニ關シ規定アルモノト、慣例アルモノトヲ合計シタルモノハ工場、鑛山ヲ含ンデ、十人以上ヲ使用スル工場ニ於テハ總數ノ一七%、鑛山ニ於テハ總數ノ三七%デアル、三十人以上ヲ使用スル工場ニ於テハ總數ノ三〇%、制度ノアルモノダケデ、多イ場合デ三〇%、ソレカラ十人以上使用スル場合ハ一七%、

ソレデアルカラ制度ハアッデモ、實際手當ヲ給シテ居ル工場數ト云フモノハ極メテ私ハ「パーセンテージ」ガ低下スルモノデハナカラウカト思ヒマス、サウスルト此積立金及退職手當ノ制度ト云フモノヲ、本法デ規定スルヤウナ三十人以上ノ職工ヲ使ッテ居ル工場鑛山等デ、果シテ事業主モ勞働者モ、十分ニ其氣持ニ於テ、其運用ニ於テ理解ヲ致シテ居ルカドウカト云フコトハ、私ハ疑問ヲ有ツ者デアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ、既ニソレハ運用致シテモ一向之ニ當惑スルコトモナイ、徒ニ刑辟ニ觸レルト云フヤウナコトハナイ、斯ウ云フ當局ノ御考デアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、其御意見ヲ内務大臣カラ御伺致シタイ

○潮國務大臣 工場鑛山ニ付テノ實數ニ付キマシテハ、大體今御話ノ通りデアルト思ヒマスガ、凡ソ立法ノ目的ニ付テ御話ガアリマシタガ、成程社會情勢ガ此問題デ見マシレバ事業主モスッカリ分リ、勞働者モスッカリ分リ、其他各般ノ狀況ガ出來上ッタ上デ立法ヲスベキデハナイカトノ御趣旨モアリマスガ、ソレナラバ、問題モ論議モナイノデアリマスガ、サウ云フコトニ行クノモ宜シイト思ヒマスガ、或ル問題、或ル場合ニ付キマシテハ、其處マデ社會情勢ハ來テ

居リマセヌデモ、立法ト云フコトノ手段ニ依リマシテ、或ル程度社會情勢ヲ之ニ引イテ行クト云フコトノ方ガ、大局カラ言ウテ利益デアルト云フ場合ニハ、全部ノ社會情勢ガ唯法ヲ布クニ十分ト云フ状態ニ來ナイデモ、場合ニ依ッテハ——是等モ其一ツデヤナイカト思ヒマスケレドモ、大體此事業主ノ方デモ、勞働者ノ方デモ、此法制ナド成程書イテ見レバムヅカシイヤウニモ見えマスケレドモ、準備期間等モアリマスシ、既ニ相當心得テ居ル人モアリマスシ、ソレ等ノ所ヲ能ク諒解シテ運用ノ準備ヲシテ、注意シテ行キマスルナラバ、左程間違ッタコトハ起ラヌ、隨ッテ刑辟ニ觸レルト云フコトハアッデナリマセヌシ、恐ラクサウアルモノデヤナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○木村委員 ドウモ内務大臣ハ私ノ申上ゲルコトヲ何時モ自分ノ都合ノ好イヤウニ御取リニナッテ御答ニナリマスガ、私ハサウ云フ制度ガ實際行ハレテカラ法ヲ作レナドト云フヤウナ、サウ云フコトハ申上ゲマセヌ、唯サウ云フ制度ヲ理解スル、事業家モ勞働者モ能ク理解ヲ持チ、サウシテ其運用ヲ爲シ得ルト云フ状態ニ達シテ居ルコトガ必要デアル、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデア

リマシテ、何モサウ云フコトガ實際民間ニ行ハレテカラ法ヲ作レナント言ウテ居リマスカラ、其點ハ誤解ノナイヤウニ申上ゲテ置キマス

ソコデ私ハ逐條的ニズツ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、又主ナ所ダケデアリマス、サウ多クノ所デアリマセヌ、第一條ノ此三十人以上ト三十人以下ト云フコトデ、色色問題ニナルヤウデアリマスルカラ、是ハ後デモ宜シウゴザイマスガ、此十人以上三十人未滿ノ工場ノ總數ト、ソレニ此退職手當金及退職手當ノ制度ノアル數、制度アッテ又實際支給シテ居ルモノ、其三ツノ比較シタ表ヲ戴キタイ、ソレハ御答デモ宜シウゴザイマス、ソレカラ次ニハ三十人以上ト五十人未滿ノ同様ナコト、此二ツダケ一ツ參考ノ爲ニ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス、三十人以上ト三十人未滿、十人以上ト三十人未滿(アルノ)アレバアル所ヲ御示シヲ願ヘバ宜シイ、私ハ見當ラヌカラ御質問ヲシテ居ルノデアリマスカラ、アレバアル頁數ヲ御示シ願ヒタイ

○赤松政府委員 此御手許ニ差上ゲテ居リマスル退職積立金及退職手當法案要綱及資料ト云フ所ノ三十五頁ニアリマス

○木村委員 ソコデ第一條ハソレデ宜シウ

ゴザイマス、第二條ノ所デ本法ノ適用ヲ受クル事業ガ規模ノ縮少其ノ他ノ事由ニ因ッテ本法ノ適用ヲ受ケナイヤウニナツタ時ニ於テ、事業主ハ其旨ヲ行政官廳ニ届出ヅル迄ハ前條ノ規定ニ拘ラズ仍本法ヲ適用ス、斯ウナツテ居リマスガ、實際三十人以上使ッテ居ッタノガ二十人ニナツテシマッタ、併シ届出ヲセスト、一箇月デモ二箇月デモ其届出ヲシナイ間ハ本法ノ適用ヲ受ケル、斯ウナツテ居リマスガ、斯ノ如ク法デ擬制ヲスル必要ガアリマスカドウデゴザイマス

テ置イテ差支ナイ、ソレカラ其場合ニハ居ラナイ者ニ積ムト云フヤウナコトハアリマセヌノデ、何時デモ現ニ居ル職工ノ爲ニ支拂ッテ賃銀ノ百分ノ二ヲ積ムノデアリマス、居ラナクナツタ職工ニ付テ積ムト云フコトハナイノデアリマス

カ、實際上本法ノ適用ヲ受ケナイ工場ニナリマシタナラバ、届出ノ期間ニ依ッテ斯ノ如キコトヲナサラズニ、労働者ガ實際居ナイノニ積立ヲシナケレバナラス、斯ウ云フコトニナツテハヨカシイト思ヒマス、是ハ唯官廳ノ便宜ノ爲メデヤナイカ、産業ノ利益ト云フヤウナ、産業ノ立場カラノ立法デヤナイヤウデアリマスカラ、斯ノ如ク爲ス必要ガナイノデヤナイカト云フ質問デアリマス

○赤松政府委員 本法ノ適用ヲ致シマスノハ、常時三十人以上ノ場合デアリマスノデ、常時三十人居ルカ否カト云フコトハ事實問題デアリマス、是ガ偶々二十九人、二十八人ニ減リマシテモ、或ハソレガ又暫ク經ツト上ニ上リマシタリ、其間多少ノ出入ガアリマシテモ、ソレガ常時三十人以上ヲ使ッテ居ルモノト認メラレヤウナ場合ニ於テハ、本法ノ適用ヲ受ケル工場ニナルノデアリマス、隨ヒマシテ是ガ偶々二十九人ニナツタ、二十八人ニナツタト云ウテ本法ノ適用以外

ニナツタトモ斷ゼラナイ事情ニアルノデアリマス、其點ニ付テハ無論事業主其モノノ主觀的考ヘ方ガ可ナリ大キナ原因ニナル、將來ニ於テ二十九人或ハ二十五人デズトヤッテ行クンダト云フヤウナ考ヘ方モ非常ニ主ナモノニナツテ行キマス、是ガ本法ノ適用外ニナツタカナラヌカト云フ時期ヲ明確ニ致シマスコトハ、極メテ必要ナ事柄デアアルノデアリマシテ、其時期ヲ明確ニ致シマス必要上事業主ノ届出ニ俟ツノガ一番便宜デアルト考ヘルノデアリマス

○赤松政府委員 只今御答辯モ明瞭ヲ缺イテ居ルト思ヒマス、常時三十人ト云フヤウナコトデアアルナラバ、二十八人トカ二十九人ト云フヤウナ場合ニハ、本法ノ特別ノ此規定ハ要リマセヌ、是ハ實際本法ノ適用ヲ受ケナイ工場ニナツタモノニ付テ、即チ二十五人トカ、二十人トカ、又事業主ノ主觀的考ヘ方ニ於テモ本法ノ適用ヲ受ケナイヤウニナツタモノニ付テノ規定デアリマス、今部長ノ御答ハ少シ違ッテハ居マセヌカ

○赤松政府委員 一部ダケ御答シタヤウナコトデアリマス、尙ホ申上ゲマスト、本法ノ適用範圍外ニナツタト申シマシテモ、若モ事業主ニ於キマシテ本法ノ同様ノ手當制度ヲ作り、労働者ニ手當ヲ與ヘテ行キタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマスコトヲ、無下ニ斷リマス必要ハナイ譯デアリマス、若モ事業主ガ續イテヤリタイト申スナラバ、第三條ニモアリマスヤウニ任意的ニ新ニ許可ヲ受ケマシテモ差支ナイノデアリマス、併ナガラ第三條ノ手續ヲ以チマスルト、法律のニハ一旦本法ノ適用外ニナツテカラ後ノ許可ニナリマスカラ、法律的ニハ常時三十人ノ状態ヲ下リマシタ時ニ於テ、有ユル法律的手段ガ中斷サレテ、サウシテ三條ノ許可ニナル、サウ云フコトノ面倒ヲ防グ爲ニ寧ロソレヨリハ事業主ガ引續イテ労働者ノ爲ニヤッテ行カウト云フ考ヲ持ッテ居リマスナラバ、届出ヲ以テ済シテ行ク方ガ便宜デアルト考ヘマシテ、之ヲ設ケマシタ一ツノ理由ニナツテ居リマス

○赤松政府委員 只今赤松部長ノ御答ハ其事業主ガサウ云フ考ヲ持ッテ居ル時ハ問題アリマセヌ、サウ云フ考ヲ持ッテ居ナイ時、本法ノ適用ヲ受ケマイト思ッテ居ル時ガ問題デアッテ、アナタノ言フヤウニ本法ノ適用ヲ受ケナイ工場ニナツタ場合ニ、本法ノ適用ヲ受ケタクナイ時ガ問題ニナルノデアッテ、適用ヲ受ケタイト思ッテ居ル時ハ、第三條ノ關係トカ云フコトデナシニ實際上ハ差支ナイノデアリマス、本法ノ適用ヲ受ケタイト事業

主ガ思ッテ居ナイ時ヲ言フノデアリマス、是ハ今迄ノ御答辯デ斯ウ云フ規定ヲヤル必要ハナイト私ハ考ヘテ居ル、實際其事業ガ本法ノ適用ヲ受ケルカ受ケナイカニ依ッテ決ムベキモノデアル、届出ノ時期如何ニ依ッテ斯ノ如キモノハ決定スル必要ガナイ、斯ウ云フ考デアリマス、是ハ併シ敢テモウ繰返シマセヌ、私ハ大體ドウモ本法ノア、云フ規定ヲ爲ス必要ガナカラウト云フ考デアリマス

ソレカラ第三條ノ「第一條第一項各號ノ事業ニシテ」ト書イテアル、詰リ事業ニシテ本法ノ適用ヲ受ケザル事業、私ハ斯ウ云フ規定ヲ御置キニナリマスナラバ、何故ニソレ以外ノ事業ニ御擴張ニナラナイカ、本法ノ適用ヲ受ケナイ事業主デモ一向差支ナイデヤナイカ、本法ノ適用ヲ受ケル事業ニシテ、サウシテ除外サレタモノト雖モ云々ト、斯ウ云フ風ニ限定ヲ爲サレテ居ルケレドモ、勞働者ノ福利ノ増進ヲ目的トスル施設デアリマスナラバ、本法ノ適用ヲ受ケザル事業ニ於テモ尙ホ此規定ヲ設ケテ差支ナイデヤナイカ、制度ヲ設ケテ差支ナイデヤナイカ、斯ウ云フ考デアリマスガ、ソレハドウ云フ譯デアリマスカ

○赤松政府委員 本法ハ只今ノ所工場法並

ニ工業法ノ適用ヲ受ケル事業ニ限ッテ居ルノデ、本法以外ノ種類ノ事業ニ於キマシテ、ソレガ事業主ノ希望デアルカラト言ッテ本法ヲ適用スルコトハ、一應本法ノ制度ガ工場、鑛山ニ限ッテ居ル關係上穩當デナイト考ヘマス、ソレ等ニ付キマシテハ、此際本法以外ノモノニ致シタ方ガ宜カラウカト考ヘタ次第デアリマス

○木村委員 穩當デナイト云フヤウナ小サナ所ニ拘泥ヲサレテ御答辯ニナルコトハ、私ハ是ハ此本法ヲ制定セラレル精神ニモ反スルト思ヒマス、本法ノ適用ヲ受ケナイ事業デアリマシテモ、ニ依リタイト言ッテ來ル者ガアツタ時ニ、何故ニ之ヲ除外スル必要ガアルカ、又内務省ト致シマシテハ、左様ナ施設ヲ今後續々ト御獎勵ニナラナケレバナラス、事業家ノ任意ニ任シタモノヲ、ドウモ工場、鑛山ニ限ッテ居ルカラ、サウ云フモノハ排斥スルト云フヤウナ考ヘ方ハ、私ガ當初申シマシタ立法ノ精神ガ一貫シテ居ナイト云フノハサウ云フ點デアリマス、斯ウ云フモノヲ除外セラレル必要ハ毛頭ナイと思フ、其點ニ付テ御意見ガアレバ後ニ承リマス

次ニ第五條ノ臨時工ノ問題デアリマス、  
「六月ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リ

タルトキ」斯ウ云フ文句ガアリマスガ、此引續キト云フコトハ昨日ノ御答辯デハ、是ハ雇傭關係デハナイ、法律關係デハナイ、使用關係デアル、事實問題デアル、斯ウ云フ御答辯デアリマシタガ、事實關係デアルト致シマシテモ、其事實關係ガ中斷ヲ致シテ居ルナラバ、例ヘバ十日デアル、二十日デアル、其間中斷ヲ致シテ居ッテ、サウシテ六箇月ニナラナケレバ、ヤハリ是ハ臨時工トシテ御取扱ニナルデアリマスガ、ドウデアリマスカ

○赤松政府委員 御説ノ通り事實問題デアリマスルノデ、其時ニ引續キ使用セラル、ト云フ狀況ガ存在致シマセヌ場合ニ於キマシテハ、是ハ本法ニ於キマシテハ、六月以內ノ期間ヲ定メテ使用セラルル者ト云フ譯デ、適用外ニナッタ譯デアリマス

○木村委員 ソレハ少シ私ハ法律問題、事實問題ナドダケデナシニ、サウ云フ點ハ御考慮ニナルベキデヤナイカと思ヒマス、サウナルト直グ脱法ノ行爲ガ出來マス、五日トカ十日トカ、實際上使用シナイト云フコトニナルト、本法ノ適用ヲ受ケヌデモ宜イト云フ脱法行爲ガ出來マスカラ、私ハ其點ガ不明デハナイカ、サウ云フ考ガ致シマスノデ、其考ダケ申シテ置キマス、私ハ單ニ

今赤松部長ノ答ヘラレタヤウナ方面カラ之ヲ取扱ッテハ如何カト考ヘマスケレドモ、今御答辯ノ通りト解釋シサ置イテ差支アリマセヌカ

○赤松政府委員 此點ニ付キマシテハ昨日モ他ノ委員ニ御答致シマシタト記憶致シテ居リマスガ、單ニソコニ三日トカ四日トカ云フ雇傭契約ノ中斷ガアツタト致シマシテモ、ソレガ事實上ニ於テ繼續シテ使用スルト云フ意思ノアツタ狀態デアリ、又狀況デアルトコトガ、社會的ニ判斷シ得ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソレハ引續キ使用關係ニアルモノト見マス、然ラザル場合ニ於テハ、是ハ全然新タナル使用ガ始ッタモノト判斷ヲ致スヤウニシテ行ッタナラバ、實情ニ合フト考ヘテ居リマス

○犬養委員 一寸之ニ關聯シテ伺ヒマスガ、此問題ハ非常ニ私ハ重要ダと思フ、ソレデ本法ノ第一條ニアリマスヤウニ「當時三十人以上」ト云フ人數ヲ限ッテノ立法デアリマスカラ、臨時工ガ非常ニ殖エルと思フ、サウ御思ヒニナリマスガ、御答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ民法上ノ雇傭關係デナク、事實上ノ使用關係ニ於テ臨時工ト云フモノヲ取扱ニナル、洵ニ結構デアリマス、ソレデ是ハ事實認定ニナッテ來マスカラ、四五日途



切レテモ引續キ使フモノトシテ、事業主ガソコニ脱法行爲ヲ行ツタ見タ時ニハ、ソレヲ臨時工ナラザルモノト御認定ニナル其境目ガ、中々ムヅカシイト思ヒマスガ、日數ナドニ付テ何カ御考ノ限度ガアリマスカ、事業主ノ氣持ヲ主ニサレテ御扱ヒニナリマスカ、ソレトモ幾ラ日數ガ懸離レテモ、其限度ヲ限ツテソレヲ臨時工トセズニヤラレマスカ、是ハ私ハ臨時工ト云フ脱法行爲ガ殖エルト思フ、此點ニ付テ御親切ナ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○赤松政府委員 本法施行ニ伴ヒマシテ臨時工ガ増加スル傾向ガアルドラウト云フ御説デアリマスガ、ソレハ私ト致シマシテハ、此法案ノ爲ニト云フ程マデニハ強ク考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ現ニ今日ノ景氣ガ一時的小景氣デハナイカト云フ事業主側ノ不安ノ下ニ、近年臨時工ガ段々殖エテ參ル傾向ヲ持ツテ居リマス、ヤハリ此趨勢ハ或ハ今少シク長ク續クノデハナイカト憂ヘテ居リマス、尙ホ今申上ゲマシタヤウニ、引續キト云フ狀態ヲ事實問題ノミニ依ラズニ、ソコニ何等カ日數等ニ依ツテ限ツタナラバトウカト云フ……

○犬養委員 限ツタラドウカデハナイ、標準ガアルカト云フノデス

○赤松政府委員 標準ガアルカト云フ御質問デアリマスガ、別ニ餘リ標準ヲ明確ニ致シマス、又ソコヲ境ニ致シテヤハリ脱法行爲ヲ致サントスル者ガアリマスノデ、却テサウ云フコトヨリハ、色々同ジヤウナ種類ノ使用ガ存在致シテ居ルノデアリマスカラ、他ノ工場ノ實情ヤ何カト比較研究致シテ見マス、如何ニモソレガ脱法行爲ダ、本當ニ臨時ノ爲ニヤツテ居ルノデハナイノ

カト考ヘテ居リマス

○犬養委員 結構デアリマス

○木村委員 今度ハ第十一條ノ退職積立金ノ問題デアリマスガ、是ハ重大デアリマスカラ、内務大臣カラ御答願ヒタイト思ヒマス、此十一條ヲ見マスルト「事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ労働者ノ賃金ノ中ヨリ其ノ百分ノ二ニ相當スル金額ヲ各労働者ニ代リ其ノ名義ヲ以テ退職積立金トシテ積立ツベシ」斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、内務大臣ハ労働者ノ賃金カラ百分ノ二ヲ事業主ガ引去ル場合ニ於テ賃金ノ値上ヲセズンテ、斯ウ云フコトガスラノト實行出來ルモノト御考デアリマスガ、ドウデアリマス

カ

○潮國務大臣 御質問ノヤウナ事項ハ賃金カラ、引去ツテ積立テマスル金額ガ相當多額ダト云フコトニナリマスレバ、餘程ソコニ困難ガ伴フト思フノデアリマス、賃金ノ百分ノ二ニ相當スル金額デアラナラバ、左程困難ナク實行シ得ルモノト考ヘテ居リマス

○木村委員 私ハ例ヘバ一圓日給ヲ貰フ者デモ三十日ニナリマスレバ、一箇月三十圓トナリマスカラ百分ノ二ト致シマスナラバ六十錢、六十錢デハ是ハ極メテ小サナ金デ

ヤナイカ、斯ウ内務大臣ハ御考ニナルカモ知レマセヌケレドモ、私ハ日本ノ労働者ノ生活狀態等カラ考ヘマシテ、一箇月六十錢ノ金ト云フモノハ、其生活ヲ脅威シナイ程ノ小サナ金ダトハ思ヒマセヌ、私ハ賃金ノ値上ヲセズンテ、從來カラ何カノ制度ガアツテ、サウシテ各百分ノ二ヲ出シテ居ッタノヲ今度ハ之ヲ改メテ、此積立金トシテ取ルノダト云フコトニナリマスレバ差支アリマセヌガ、新ニ此法ヲ設ケラレテ、從來支給シタルヨリ、一圓ノ日給労働者ニ對シテ月六十錢ノ金ヲ資本家ノ方デ引去ツテ、ソレデ労働者ノ生活ニ差支ナイトハ私ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、私共ハサウ云フ點カラ、先程ヨリ議論ガ出マシタガ、一體政府ガ何等

此件ニ金ヲ出サズシテ、サウシテ労働者ト事業主ノ犠牲ニ於テ社會立法ヲシヨウトサレテ居ル所ニ、非常ニ無理ガアルト、斯ウ考ヘテ居リマスガ、内務大臣ハ相變ラズ一圓ノ日給労働者ニ取ツテ月六十錢ノ金ヲ引去ルコトハ一向差支ナイ、斯ウ御考デアリマセウカ、ドウデアリマセウカ

○潮國務大臣 事例ヲ以テ御示シニナリマスガ如キ、一圓ノ賃金ヲ取ル労働者ガ一箇月分三十圓ノ中カラ六十錢ヲ積立テル、私ハ一向影響ガナイトハ考ヘテ居リマセヌ、殊ニ六十錢ト云フ現金ハ労働者ノ爲ニハ相當犠牲デアルト思ヒマス、併ナガラ或ル程度ノ犠牲ハ拂ヒ、サウシテ事業主ニモ亦犠牲ヲ拂ツテ貰フ、而シテ此案ガ成立ツノデアリマスカラ、決シテ六十錢ヲ無難作ニ何ノ影響ナキモノトハ考ヘテハ居リマセヌケレドモ、或ル程度ノ犠牲ハ、結局労働者ナリ其家族ナリノ懷ロニ歸ヘル金デアリマスカラ、其點ハ忍ンデ貰フヨリ外仕方ハナイト思ヒマス

○木村委員 ドウモ私ハ只今ノ内務大臣ノ御答辯ニ満足致シマセヌ、此他ニモ、吾々ニ參考資料トシテ示サレタヤウニ共濟組合ト云フモノガアツテ、労働者ハ相當賃金ノ中カラ引去ラレテ居リマス、サウシテ此度又

百分ノ二ヲ引去ラレル、ソレデハ労働者ハ  
イツデモ生活費ヨリモ餘裕ノアル賃金ヲ  
貰ッテ居ルカト云フト、ドウモサウ云フ者ハ  
極メテ少數デハナカラウカト思ヒマス、生  
活費ガ十分デアルト云フヨリモ生活費ニ足  
ラヌ生活ヲ爲シテ居ルノニ、其中カラ少額  
ナリト雖モ一箇月六十錢ヲ引去ラレルト云  
フコトハ、私ハ非常ニ無理デハナイカト思  
ヒマス、然ラバ其無理ハ何處ニ行クカト  
云フコトニナルト、私ハ此法ヲ施行サレル  
ト、此金額ハ賃金ノ増給ニ依ッテ補フト云フ  
形ニナッテ來ルノデハナイカ、又サウシナケ  
レバ無理デハナイカ、詰リ事業主ガ全額負  
擔ト云フ肚デ進ムナラバ、私ハ是ハ實行出  
來ルト思ヒマス、増給ヲシ、事業主ガ百分  
ノ二ヲ全額負擔スルト云フ肚ヲ決メナクテ  
ハ、政府カラ一文モ出サズ、而モ労働者ノ生  
活ト云フモノハ賃金ヲ以テ足ラナイト云フ  
今日ノ狀態ニ於キマシテハ、私ガ今申ス方  
法ヨリソレガ進ム所ハナイデヤナイカト思  
ヒマス、内務大臣ハ此規定ニ依リマシテ、  
賃銀ハ増給ヲスベキモノダトハ御認メニナ  
ラヌデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ

○潮國務大臣 ソレハ工場々々ノ事情ニモ  
依リマスルシ致シマスルカラ、事業主ガ増  
給ヲシテヤラウト云フ場合モアルカモ知レ

マセヌケレドモ、此百分ノ二ト云フコトヲ  
積立テル爲ニ、必ズ各方面ニ於テ増給ヲ實  
現スルト云フコトハアルマイト私ハ思フノ  
デアリマス、労働者ノ犠牲ニ於テ、此程度  
ノ積立ハ爲シ得ルモノト思フ、併ナガラ是  
ハ事業主ノ考モアリマセウカラ、増給シテ  
ヤラウト云フコトガアッテモソレハ差支ハ  
ナイ譯デアリマス

○木村委員 モウ其問題ニ付テハ是レ以上  
申上ゲマセヌ、昨日モ田尻君カラ御尋ガアッ  
タヤウデアリマスガ、労働者ノ犠牲ニ於テ  
ヤルト、斯ウ云フコトデアリマスルナラバ、  
何故ニ百分ノ二ト此處デ限定サレテ、「少ク  
トモ百分ノ二」ト、コッチノ事業主ノ退職手  
當積立金ト同様ニ、「少クトモ」ト云フ規定  
ヲ御入レニナラヌノデアリマセウカ、「少ク  
トモ」ト、斯ウナレバ、是ハ労働者デ餘裕  
ノアル者ハ、將來ノ備ノ爲ニ、百分ノ二ヲ  
ヤラウト云フ者ガアレバ、是ハ少シモ拒ム  
必要ハナイ、益、犠牲的ナ精神ヲ發揮サセ  
テ、將來ノ備ヲ爲サシメル所以デアリマス  
カラ、コチラニコソ「少クトモ」ト云フ規定  
ガアッテ宜ササウニ思ヒマスガ、之ヲ御入レ  
ニナラナカッタ理由ハドウ云フコトナノデ  
アリマセウカ

○赤松政府委員 此點ニ付テハ昨日モ一寸

申上ゲタカト思ヒマスルガ、私共ノ考ト致  
シマシテハ、労働者ノ積立テマスル此金ハ、  
不融通財産トナリマスルノデ、ヤハリ一定  
ノ限度ヲ決メル必要ガアリマス、而シテ先  
ヅ各労働者全體ヲ見渡シマシテ、百分ノ二  
位ノ程度デアルナラバ、サウ無理ナ、生活上  
ニ非常ニ困難ヲ與ヘル程ノコトモアルマイ  
シ、先ヅ此位ノ程度ヲ積立テ、置ケバ、退  
職ノ時ニ或ル程度ノ役ニハ立ツ、斯ウ考ヘ  
マスノデ、限定致シマシテ百分ノ二ト致シ  
テ居ルノデアリマス、而シテソレ以上、非  
常ニ高給ノ者デ餘裕ノアリマス者デアリマ  
スルナラバ、ソレハ從前通り、任意ノ貯金  
獎勵ニ俟チマシテ、其方面デ以テ貯蓄思想  
ノ涵養モ致サセ、生活ノ安定ノ基礎ニモ致  
サセテ行ッテ十分デハナイカト、斯ウ考ヘタ  
次第デアリマス

○木村委員 今ノ私ノ言ヒ方ハ、モウ少シ  
加ヘナクチャイケナカッタノデアリマスガ、  
「少クトモ百分ノ二」ト斯ウ規定ヲサレマシ  
テ、サウシテ百分ノ二ヲ超ユル額ニ付テハ  
是ハ労働者ノ承諾、同意ヲ求メナクチャナ  
ラス、斯ウ云フ風ナ規定ヲ置カレマス、  
私共ハ一向無理ガナイト思フ、内務省デ御  
考ニナッテ居ル百分ノ二ハヤラナクチャナ  
ラス、而シテ百分ノ二ヲ超ユル額ニ付テハ

○赤松政府委員 此第十一條ノ規定ニ、此積立

労働者ノ同意ヲ得テ積立テルコトガ出來  
ル、斯ウ云フコトニ爲サッタナラバ、今申サ  
レタ目的ヲ達スルノデヤナイカ、任意ニ貯  
金ヲサセルト、斯ウ仰シヤルケレドモ、少  
クトモ此制度ヲ設ケラレル以上ハ、ヤハリ  
此本法ノ中ニ於テ規定サレテヤッタ方ガ、  
其目的ヲ達成シ得ルト思ヒマス、私ノ言ウ  
タノハサウ云フ意味デアリマス

○赤松政府委員 労働者自身ノ側カラ申シ  
マスルナラバ、成程御説ノ如ク、餘裕ノア  
リマス者ガ自己ノ希望ヲ以チマシテ、之ニ  
依ッテ本法ニ據ル如キ積立ノ出來マスコト  
ハ幸ナコトダト思フノデアリマスルガ、一  
面本法ニ據リマス積立ハ不融通財産ニナ  
リマシテ、差押モ讓渡モ出來ヌコトニナッテ  
居リマス、隨ヒマシテ、労働者個人ノ財産  
ヲ無制限ニ——或ハ或程度マデ制限シマス  
ニ致シマシタ所デ、融通財産ニ致スコトハ  
却テ一般ノ取引ノ安全ヲ害シマスノデアリ  
マス、隨ヒマシテ政府ト致シマシテハ、先  
ヅ労働者ハ、百分ノ二程度ノモノヲ以テ退  
職準備ヲ致スノガ妥當デアルト考ヘマシ  
テ、他ハ融通財産トシマシテノ貯金ノ獎勵  
ニ俟ツコトガ宜カラウカト考ヘテ居ルノデ  
アリマス

○木村委員 此第十一條ノ規定ニ、此積立

ノ方法ヲ明示シテ居リマセヌ、退職手當ニ付キマシテハ、二十條ニ「銀行ヘノ預金」デアルトカ、「金錢信託」デアルトカ法ヲ以テ規定シテ居リマスガ、此退職積立金ニ付テハ、法ヲ以テ其方法ヲ明示サレナイノハドウ云フ譯デアリマスカ

○赤松政府委員 本法ノ中ニ積立方法ニ付キマシテ規定ヲ致シマセズデシタノハ、餘リニ複雑ニ相成リマスルノデ、却テ是ハ勅令ニ讓リマシタ方ガ適當デアラウト考ヘマシテ、勅令ヲ以テ規定致スコトニ致シタノデアリマス、御手許ニ差上ゲマシタ十一條第一項勅令案ノ如ク、相當詳細ニ規定ヲ致サウト思フテ居ルノデアリマス、殆ド手續規定ニ類シマスノデ、之ヲ勅令規定ニ讓リマシタ次第デアリマス

○木村委員 今ノヤウナ御答辯デアリマスルト、ヤハリ此退職手當ニ付キマシテモ、複雑ニナルカラ勅令ニ讓ツタ宜イノデアアル、退職手當ノ方ノ積立ノ方法ニ付テハ法律ヲ以テ規定シ、退職積立金ニ付テハ命令ニ讓ルト云フノハ、ドウモ私ハ立法ノヤリ方ガ一貫シテ居ナイヤウニ思フノデアリマス、今御答ノヤウデアレバ、兩方共ニ法デ御規定ニナッタ宜イデヤナイカ、何レモ一致スルヤウニサレタ宜イデヤナイカ、退

職積立金デモ、退職手當デモ、之ヲ確實ニスル必要ト云フノハ、私ハ同様デアラウト思ヒマス、別々ニスル必要ガナイデヤナйкаト考ヘルノデス

○赤松政府委員 二十條ノ方ノ退職手當積立金ハ、本法ニ示サレマシタヤウナ方法ヲ以チマシテ金錢ヲ積立テマシタ時ガ退職手當積立金ノ積立ニ相成ルノデアリマス、郵便貯金以下三方法ヲ舉ゲマシタ以外ニ依ッテ金ヲ積ミマシタ場合ハ、本法ニ據ル積立ニナラナイ、本法ニ於テ積立トハドウ云フ形式ニ依ッテ積立テタ時ガ積立デアアルカト云フ、其實體ニ關係シマスガ故ニ、二十條ニハ此項目ヲ舉ゲマシテ、他ノ規定ニ屬シマス即チ十一條ニ類スルヤウナ手續規定ニ屬シマスモノハ、是亦勅令ニ讓リマシタ、其爲ニ、十一條ト二十條トノ書き方ニ違ガ出來タノデアリマス

○木村委員 次ニ此第十一條ノ第二項ノ災害其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキハ積立ヲ爲サスデモ宜シイ、減額シテモ宜シイ、斯ウ云フ規定ガアリマスガ、「災害」ハ分リマスガ、其ノ他已ムヲ得ザル事由「ト云フコトハドウ云フ意味デアリマセウカ、例ヘバ生活費ニ非常ニ不足シテ居ル労働者ガ、生活ノ爲ニ、百分ノ二ヲ引去ラレテハ困ル

ト云フ、斯ウ云フ場合ハ、ヤハリ此中ニ入ルモノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、其點ハ一番重大デアルト思ヒマスカラ特ニ御伺ヲ致シマス

○赤松政府委員 第二項ノ「災害其ノ他已ムヲ得ザル事由」トアリマス所ノ「其ノ他已ムヲ得ザル事由」ト云フノハ、ヤハリ「災害」ニ類シマスヤウナ、客觀的事由ニ依リマシテ發生致シマシタ場合ヲ指シテ居リマス意味デアリマス、事例デ申シマスルナラバ、労働者自身ノ災害デハアリマセヌガ、例ヘバ事業ガ災害ノ爲メ、其他ノ理由ヲ以チマシテ休止致シテ、其爲ニ一月ノ可働日數ガ極メテ減少シタト云フヤウナ場合ニ就キマシテハ、生活上ノ必要上、賃金ノ差引ヲ差控ヘル方ガ妥當デアルト云フ場合ナドモアラウト思フノデアリマス、併ナガラ労働者自身ノ經濟的事情ニ依リマス主觀的事由ニ依ル場合ニ於キマシテハ、之ヲ已ムヲ得ザル事由ノ中ニ入レナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○木村委員 サウナリマス先程申上ゲマシタ如ク、是ハ益ドウモ労働者ヲ保護スルヤウナ立法デアッテ、而モ労働者ヲ害メル法律トナル、斯ウ云フ結果ニナルト思ヒマス、例ヘバ労働者ガ病氣ヲスル、病氣ヲシテド

ウシテモ金ガ要ル、斯ウ云フ時デモヤハリ差引カレルノデアリマセウカ、病氣ト云フヤウナコトハ已ムヲ得ザル事由ト云フ中ニ入ラナイデセウカ

○赤松政府委員 御質問ノ通り労働者個人ニ屬シマス事由ニ依リマス病氣ノ如キモノニ付キマシテハ、本法ノ中ニ入レナイ積リデ居リマス、サウ云フ場合ニハ本法ノ適用サレマスルノハ、工場鑛山ノ労働者デアリマスガ故ニ、只今一方ニ於テ健康保險法ニ依リマス療養ノ給付モアリマスノデ、先ヅ差支ナイト考ヘルノデアリマス、尙ホ斯ウ云フコトニ致シマシタノハ、結局労働者ノ積立ノ目的ヲ貫徹致シマス爲ニハ、已ムヲ得ザル趣意デアリマシテ、或ル程度マデ労働者モ我慢ヲシテ貰ハナケレバナラナイト考ヘテ居リマス

○木村委員 私ハ此已ムヲ得ザル事由ト云フヤウナコトハ、此労働者ニ關スル方面ニ於テハ、極メテ廣汎ニ御解釋ニナルノガ適當デハナイカト思フ、是ハ餘リ杓子定規ニ客觀的ナ條件ガ備ハラナクチャナラスト云フヤウナコトデハ、私ハ却テ是ガ惡法ニナリハシナイカト云フコトヲ心配スル者デアリマス、ソコデ其次ノ第十三條、是モ重大デアリマスカラ内務大臣カラ御答願ヒタイ

ト思ヒマス、事業主ハ豫メ確實ナル方法及利子ノ定率ヲ定メテ、行政官廳ノ許可ヲ受ケタル時ハ、労働者ノ退職積立金ヲ運用スルコトヲ得トアリマス、労働者ノ賃金ノ中カラ積立テタ其積立金ヲ、事業主ガ使用スルコトガ出來ルト、斯ウ云フ規定ガアリマシガ、何故ニ労働者ガ運用シヨウト思フ時分ニ其規定ガナイノデアリマセウカ、事業主ガ其積立金ヲ利用シタイト云フ時ニハ、行政官廳ノ許可ヲ得テ、サウシテ労働者ノ同意ヲ得テ運用ガ出來ルト云フ規定ガアリマスガ、何故ニ労働者ガ其積立金ヲ利用セントスル時、其運用ノ規定ガナイノデアリマセウカ、労働者ニハソナ資金ヲ運用スルト云フコトハナイナドト云フコトハ考ヘラレマセヌ、労働者ト雖モ色々ナ事業モヤリマセウ、其外ニ色々ナ運用ヲスル場合モアルデアリマセウカラ、私ハ是ハ事業主ダケデヤナイ、労働者ニモ斯ノ如キ規定ガアツテ宜イノデヤナイカト思ヒマス

○潮國務大臣 御答致シマスガ、事業主ガ運用スルト云フノハ、是ハ從來行ハレテ居リマシタ、事業主ガ労働者ノ積立金ヲ運用ヲシテ、サウシテ福利施設トシテ相當ナ利子ヲ付ケテヤルト云フヤウナコトヲ今迄ヤツテ居ル慣行ガアリマスノデ、其慣行ヲ此法

ノ上ニ現ハシテ、規定ヲ致シタ譯デアリマス、労働者ガ之ヲ使フト仰シヤイマスガ、ソレハ労働者ガ一人々々ノ自分ノ貯金ヲ引出シテ運用スルト云フコトハドウ云フ場合デアリマスカ、サウ云フコトハ今迄モ慣行モアリマセヌシ、ソレハ一寸考ヘル必要ガナイノデヤナイカト思フテ居ルノデアリマス

○木村委員 今迄ハサウ云フコトハナイト仰シヤッテ居リマスケレドモ、是ハ積立金ノ制度ガ將來完成シテ行キマスルナラバ、十年、二十年ト勤メテ居ル労働者ト云フモノハ相當ナ積立金ガソコニアル譯デアリマス、隨テ其労働者毎ニ計算スルヤウニモナツテ居リマスルカラ、隨テ労働者ガ其自分ノ分前ヲ運用スルト云フ場合ハ、起リ得ルノデアリマス、今日迄ハ斯ウ云フ制度ガナカタノデアリマスカラ、サウ云フモノハ起リマセヌケレドモ、今後ハ私ハサウ云フコトガ考ヘ得ラレルコトデナルト思フ、今迄ナカッタカラ考ヘナカッタト云フヤウナコトデ是ハ労働者ノ賃銀ヲ取ツテ資本家ガ利用スルコトノミ考ヘテ、サウシテ労働者ガソレヲ利用スル、運用スル規定ガナイト云フコトハ私ハ缺陷デハナイカト思ヒマス

○廣瀨政府委員 労働者ガ自分ガ貯金ヲシ

テ置イテソレヲ引出シテ運用シテシマフト云フト貯金ガナクナルノデアリマシテ、折角貯金致シマシタ本法ノ趣旨ヲ徹底スルコトガ出來ナイコトニナリハセヌカト思ヒマス、ソレデアリマスカラ是ハヤハリ貯金ハ貯金トシテ保管シテ置ク、斯ウ云フ意味デ労働者ノ場合ニハ認メテナイノデアリマス

○淺沼委員 議事進行ニ付テ一寸申上ゲマス、只今陳情書ナルモノガ配ラレタノデアリマスガ、私共議會ニ初メテ入ッテ、ドウ云フ慣例ガアルカ分リマセヌ、併シ審議員最中ニ、殊ニ此問題ニ付テ重大ナ關聯ヲ持ツ陳情書ガ配ラレタノデアリマスガ、是ハ委員長ニ於テ許可ヲ與ヘラレテ配ラレタノデアリマスカ、此慣例ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ

○熊谷委員長 御答致シマス、是ハ參考ノ爲ニ配ッタニ過ギマセヌ

○淺沼委員 私は是ハ當ヲ得タ處置トハ思ハナイ、不穩當デアルト考ヘマス、之ヲ配ルト云フコトハ是ハ重大ナ問題ト思ヒマス、殊ニ現在ニ於テ全國産業團體聯合會、或ハ其系統ニ屬スル團體ガ反對ヲシテ居ラナケレバ是ハモウ問題ハナイト思フノデスガ、非常ナ反對ヲシテ居ル折柄、斯ウ云フモノ

ヲ配ルト云フコトハ當ヲ得タ處置デナイト思フノデス、殊ニ又内務省ハ全產聯トノ間ニ對立ガアルト云フコトニ於テ、可ナリ委員會ニ於テハ問題ニサレテ居ル折柄デアリマス、之ヲ委員長ガ許可サレタカドウカ知リマセヌガ、配ラレタト云フコトハ非常ニ遺憾ナ處置デアルト私ハ思フノデアリマス、出來得ベクンバ之ヲ撤回シテ戴キタイト思ヒマス

○熊谷委員長 一寸委員長カラ辯明致シマス

○犬養委員 是ハ何カノ行違私ノ手ニモ來タノデアリマス、吾々モ是ハ撤回シテ呉レト言ッテ申出テ、マダ其手續ガ完了シテナイノデアリマス、吾々トシテモ是ハ議事進行中ニ配ルモノデハナイト云フ認定ノ下ニ、此文書ノ配付ハ撤回シテ貰ヒタイト云フコトヲ言ッテアルノデス

○淺沼委員 委員長、然ラバ之ヲ配ッタノハ委員長ノ命令ニ依ッテ配ッタノデスカ、ソレトモ書記ガ獨斷デ配ッタノデスカ、其點ヲ明確ニシテ戴キタイ

○熊谷委員長 委員長ハ此問題ニ關スル有ユル參考書ガ來レバ、是ハ或ハ労働者方面カラ來テモ、資本家方面カラ來テモ、公平ニ御配リシタ方ガ參考ニナラウト思ッテ御

配リシタノデアリマス

○淺沼委員 是ハ參考書デアリマセヌ、陳情書デアリマス、是ハ重大ナ問題デアルト思ヒマス

○熊谷委員長 私ハ參考書ト認メテ配ッタノデアリマス

○淺沼委員 如何ニ委員長デアッテモ陳情書ト云フコトガ明確ニ書イテアルデアリマセヌカ

○熊谷委員長 陳情書デモアナタ方ノ投書函ニ全部配ル場合アルノデアリマス、ソレヲ簡略ニシタモノト見テ、私ハ配ッテモ宜カラウト云フコト配ラセタノデアリマス、併ナガラ委員會ニ於テ皆サンガ是ハ返却スベキモノデアルト云フコトナラバ、其點ハ取消シテ返却スルコトニ致シマス

○淺沼委員 返却スル前ニ之ヲ明ニシテ置キタイト思ヒマス、函ノ中ニ配ルト云フコトハ特定ノ人ニ配ルノデアッテ、要スルニ名前ガチャント載ッテ是ハ配ラレルノデアリマスガ、是ハ特定人デアリマセヌ、而モ議員カラ何等要求シタコトガナイノデアリマス、議員カラ參考トシテ要求シタモノデアリマセヌ、而モ是ハ資本家團體ノ陳情書デアリマス、ソレ故ニ之ヲ配ルト云フコトハ此會議ヲ是カラ進メテ行ク上ニ於テ重

大ナル疑義ガアルノデアリマス

○熊谷委員長 其點ニ付テハ先刻委員長ヨリ辯明ヲ致シテ居リマス、如何ナルモノガアッテモ相當ト認メルモノデアッタナラバ、ソレハ勞働組合カラ來テ居ル所ノモノデモ、或ハ資本家カラ來ル所ノモノデアラウトモ、共ニ御配リシタイ考デ居ルノデアリマス

○淺沼委員 ソレナラバ念ノ爲ニモウ一遍伺ッテ置キマスガ、是ハ資本家ノ團體カラ配ラレタ陳情書デアリマスケレドモ、假ニ勞働組合ノ側カラ、モウ一遍陳情書トシテ茲ニ提出致シマスナラバ、委員長ハ配ッテ戴ケマスカ

○熊谷委員長 ソレハ御配リ致シマス

○加藤委員 先刻陳情書ガ私共ノ手許ニ参リマシタ、誰ガ配レト言ウタカト言ッタラ——私ハ政府ノ參考書類ダト思ッテ見マシタラ、陳情書デアリマスガ、是ハ委員長ノ命令デ配ルノダト申シマシタカラ、是ハ配ルベキモノデアナイカラ、持ッテ行キ給ヘト返シタ譯デアリマス、委員長ハ、或ハ勞働團體デアッテモ、或ハ資本家團體デアッテモ、參考ナルベキモノハ將來トモ配バルカモ知レスト云フヤウナコトデアリマスルガ、從來私ハ斯様ナモノヲ御配付ニナッタコトヲ

未ダ會テ見ナイノデアリマス、自分ノ席ニハ配ッデアリマスガ、此議場ニ政府以外ノ參考資料ヲ委員長ガ許可シテ配ラレタト云フコトハナイノデアリマス、ソコデ只今斯様ナ議論ガ起キマシタガ、尤モデアラウト思ヒマス、將來ト雖モ左様ナ參考資料ト云フモノハ此席デ御配付ニナラナイヤウニ——

委員長ガ命令シテ御配付ニナラナイヤウニ——是ダケ御注意ヲ申上ゲテ置キマス

○熊谷委員長 皆サンノ意思ガサウデアリマスレバ、ソレデハ皆サンノ御意思ニ從ヒマシテ、爾後配ラスコトニ致シマス——此問題ハ是デ決マリマシタガ、今マデノ慣例ニ依ッテ見マス、斯ウ云フモノハ配付シタ場合モアリ、又配付セザル場合モアッタノデアリマス、私ハ配付シタルモノノ例ニ從ヒマシテ、餘リ弊害ノナイコトダト思ヒマシタカラ、ヤリマシタケレドモ、皆サン全委員會始メノ方々ガ御不平デアルヤウデアリマスカラシテ、之ヲ撤回致スコトニナリマシタ、ドウゾサウ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○木村委員 先程社會局長官カラ、其積立金ヲ使ッテシマヘバ、金ガナクナッテシマウト云フ御答辯ガアリマシタケレドモ、是ハ

ヤハリ勞働者ノ實情ヲモウ少シ御考ヘニナル必要ガアルト思フ、勞働者ト雖モ其使ッテシマッタ後ニ埋合セガ出來ナイコトガナイヤウニスルガ爲ニハ、事業主ニ對シテ色ノ規定デ公債ヲドウスルトカ、色々利用ノ制度ガ設ケラレテ居リマスカラ、勞働者ニ對シテモ、其制度ガアッテ宜イデヤナイカト思フ、或ハ國債ヲ勞働者ガ持タヌト云フコトハ斷定出來マセヌ、何カ病氣ガアルカラ一寸ソレヲ利用シタイト云フコトモアリ得ルカモ知レナイ、隨テ勞働者ノ側ニモ此積立金ヲ利用シ得ル途ヲ御考ヘニナッテ置ク必要ガアリハシナイカト思フノデアリマス、ソレハ全然必要ガナイト云フ御考デアリマセウカ、其點ヲ御伺シマス

○赤松政府委員 勞働者ガ自分ノ貯金ヲ引出シマシテ使ヒマシタノデハ、本法ノ目的ヲ達シマセヌノデ、是ハ止メタ方ガ宜イト思ッテ居リマス、只今御話ノ如ク、國債ヲ買ヒマス、今ノ所ハ大概國債位ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレハ一種ノ積立ノ行爲デアルト見マシテ、郵便貯金トシテ現金ヲ預ケズニ、國債、或ハ其他ノモノニ振向ケマスコトニ付テハ考慮致シテ差支ナイカト考ヘマス

○犬養委員 關聯事項デ——私ノ伺ヒタイ

ノハ第十一條ノ第二項デス、先刻政府委員ノ御答ガ曖昧デ済ンデ居テ、甚ダ誤リガアリマス、第十一條第二項ニ關スル木村委員ト政府委員ノ勞働者ヲ主ニシタヤウナ話合ヒデ済ンデシマッタノデスガ、是ハ事業主ヲ主ニシタ御話ナンデアッテ、ソコカラ行キマスト「災害其ノ他已ムヲ得ザル事由アル」ト云フ此「事由」ハ餘リ擴ガルト私ハイケナイト考ヘテ居リマス、災害ト云フモノハ天變地異ト云フモノデセウ、其ノ他已ムヲ得ザル「ト云フノハ、災害ト限ッテハ文字ノ含ミガ餘リ限定サレルカラ附ケタモノ、ヤウニ解釋シテ居ル、或ハ戰爭トカ「パニック」トカ云フヤウナモノデアッテ、根本ノ色々ノ事情ニ關係シテ來ルノデスガ、是ハ重大ナ社會情勢ト云フ意味デヤナイノデスカ、是ハ小サイコトデスケレドモ、能ク伺ウテ置キマセスト、先刻ノ質疑應答デハ勞働者ヲ主ニシタヤウデ、此條項ハ済ンデシマッタ、是ハ能ク伺ウテ置キタイ、成ベク狹マツタ方ガ宜イデヤナイノデスカ

勞働者ノ側ニ於キマス客觀的事情ガアリマスナラバ、此積立ヲ免除シテモ宜イト考ヘテ居リマス、隨テ客觀的事情トハ何ゾヤト云フコトデ、先程理由トシテ申上ゲマシタノハ事業主ノ方ガ何カ事情ニ依リマシテ業務ヲ休止シタ、其爲ニ月ノ三分ノ一シカ働ケナカッタ、ソレデ非常ニ其月ハ收入ガ少カッタ、斯ウ云フ場合ニハ積立ヲ免除スルノガ穩當デハナイカト考ヘテ居ル、御説ノ如ク勞働者自身ノ主觀的ノ事由ニ依リマスト、是ハ殆ド果シテ家族ニ病人ガアルノヤラ、親類ニ病人ガアルノヤラ、親爺ガ病氣デアルヤラ、一々調ベルコトガ出來マセヌシ、結局是ハ積立テナイノト同ジ事情ノ結果ヲ來スノデアリマス、ソレデ本法ノ目的ヲ達シマス場合ニハ、サウ云フ主觀的ノ事情ハ已ムヲ得マセヌカラ勞働者モ我慢ヲシテ貫ヒマシテ、本法ノ目的ヲ達スルヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○赤松政府委員 是ハ内輪ノ話ニナリマスケレドモ、政友會ノ政務調査會ニ於キマシテ、災害其他已ムヲ得ザル理由ト云フコトノ具體的ノ例ヲ參考ノ爲ニ伺ッタノデスガ、私此處ニ鉛筆デ書イテアルノデスガ、不可抗力ニ類スルモノ、例ヘバ「モラトリウム」ト云フヤウナ話デシタガサウ云フ風ニ解釋シテ宜イノデスカ

○赤松政府委員 其場合或ハ私共ノ方デ聽違ヒガアツタカト思ヒマスガ、「モラトリウム」ノヤウナ場合、詰リ財界ノ「パニック」ト云フヤウナ場合ハ、私共ハ豫想致シテ居リマスノハ十六條ノ場合、事業主ガ積立デマス場合ノ事情トシマシテハ考慮致シテ居リマス、十一條ノ場合デハアリマセヌ

○木村委員 次ニ退職手當ノ所ノ第十六條デスガ、是モ重大デアリマスカラ内務大臣カラ御答願ヒタイト思ヒマス、是ハ「毎年一回以上一定ノ期間末ニ於ケル勞働者ノ其ノ期間中ノ賃金ノ少クトモ百分ノ二ニ相當スル金額ヲ退職手當積立金トシテ遲滞ナク積立ツベシ」斯ウナッテ居リマスガ、是ハ何故ニ原則トシテ毎月一回、丁度勞働者ノ賃金——コッチノ積立金ト同ジヤウニ毎月之ヲ積立テルヤウナ制度ニドウシテ爲サラヌノデアリマセウカ、退職手當ヲ確實ニスルガ爲ニハ、原則トシテ毎月一回、斯ウ云フヤリ方ガ宜イト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ斯ウ云フ規定ガ出來マスルト、新ニ雇傭スル者ニ對シテハ賃銀ノ低下ト云フコトガ起リハシナイカ、此前ト丁度反對ニ、今度ハ雇主ノ方デ斯ウ云フ負擔ヲ致サナクチャナラヌト云フコトデ、後カラ

新ニ雇傭致シマス時分ニハ賃銀ヲ下ゲテ雇フト云フヤウナコトニハナラヌデアリマセウカ

○潮國務大臣 成程勞働者ニ賃銀ヲ拂フ爲ニ原則トシテ八月一回、其時ニ勞働者ノ積立金ニ付テハ清算スルルト云フコトナラバ、事業主ノ方ノ積立ニ付テモ月々デ宜イデヤナイカ、是ハ確ニ兩方キツチ合ッタ行キ方デアリマシテ、仰シヤルコトハ御道理ハアルコト、思フノデアリマス、併ナガラ事業主ニ毎月自分ノ積立金ヲ致サセルト云フコトハ、成ベク手數ヲ省キタイト云フコトデ、是ハ八年ニ一回以上ト決メテアリマスカラ、是ハ數回ニナッテモ宜イノデアリマスカ、勞働者ノ賃銀ヲ積立テルト同様ニ毎月毎月ヤラセヌデモ宜イイト云フ考ヘデアアルノデス、併シ御話ノ通りキチント合ッテ居リマスカラ、綺麗デハアリマスガ、サウマデヤル必要ハアルマイト斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ賃銀ノ低下ノ問題ハ是ハ中々實際問題ニ即シタ問題デアリマスルガ、此爲ニ安イ賃銀デ雇入レナケレバナラヌト云フヤウナ場合ハ先ヅ起ラヌデアラウト云フ見込ヲ持ッテ居リマス

○木村委員 内務大臣ノ初メノ方ノ御答辯ハ私ハ諒解致シマセス、サウ云フ綺麗ニナ

ル、キチントナル、サウ云フコトヂヤアリ  
マセヌ、毎年一回ダト爲スト、此退職手當  
ヲ確保スル制度ニ非常ナ缺陷ガアル、毎月  
ヤッテ居レバ、ソレデ毎月積立テルトスウナ  
リマスガ、若シ年末ニ積立テル、事業年度  
ノ年度末ニ積立テルトスウナッテ居レバ、其  
途中ニ於テ若シ其事業家ガ失敗ヲスル、斯  
ウ云フコトニナッテシマヒマスレバ、此退職  
手當ガ貰ヘヌト云フコトニナッテシマフヂ  
ヤナイカ、サウ云フキチントスルトカ何ト  
カ、サウ云フ單純ナ問題ヂヤアリマセヌ、  
退職手當ノ制度ヲ確保スルガ爲ニ勞働者ニ  
付テモ毎月々々斯ウヤル、一箇月毎ニヤル、  
斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ、事業家  
ノ方ハ一向サウ云フコトヲヤラヌデモ大丈  
夫ダゾト云フヤウナ頭デ居ルコトハ私ハ出  
來ヌト思ヒマス、三十人位ノ、殊ニ資金ガ  
缺乏シテ非常ニ經營難ノ工場モ入ッテ居リ  
マスルカラ、サウ云フ頭デ御答ニナッテハ私  
ハ御答辯ニナラヌト思ヒマス

○廣瀬政府委員 事業主ノ積立デアリマス  
ガ、此處ニモ書イデアリマシヤウニ毎年一  
回以上上ト云フコトニナッテ居リマシテ、ソレ  
ハ毎月ヤッテモ無論結構デアリマスガ、併シ  
御承知ノヤウニ職工ノ方ノ賃銀ノ支拂ハ是  
八月ニ一回以上ニ決ッテ居ル譯デアリマス、

ソレカラ支拂フ時ニソレヲ引去ルノデアリ  
マスカラ、ドウシテモ其都度其月ニ於テ積  
立テルコトニナルノデアリマスカラ、大概  
毎月一回ノ積立ニナルト思ヒマス、事業主  
ノ方デハサウ毎月キチンノトヤラナイデ  
モ、毎年適當ノ時期ヲ決メテ、サウシテソ  
レニ應ジテヤッテ行キマスレバサウ危イコ  
トモナイ、又此積立ノ時期ニ付キマシテハ  
豫メ届出ヲサセテ置キマシテ、相當ナ吾々  
ノ方デモ注意監督ヲ致シテ居ルノデアリマ  
ス、サウ云フヤウニ御心配ニナルコトハナ  
イグラウト思ヒマス

○木村委員 只今ノヤウナ點ハ餘程細密ナ  
考デ勞働立法ハ爲サラスト、サウ云フ大  
マカナコトデハ、私ハ運用ノ上ニ非常ナ間  
違ヲ生ズルノデヤナイカト思ヒマスガ、唯  
サウ云フコトハナカラウト云フヤウナ大難  
把ナ考デ、私ハ斯ウ云フ問題ハ取扱フベ  
キモノデヤナカラウト思ヒマス、ソレカラ  
「災害其ノ他已ムヲ得ザル事由」ト此處ニ  
又出テ來マシタガ、是ニハ事業家ガ損失ヲ  
シテ、ドウモ積立ガ出來ナイ状態ニ立至リ  
マシテモ、積立ヲ爲サナクチャナラヌデア  
リマセウカ、行政官廳ノ許可ヲ受ケテ積立  
ヲ爲サズト云フ中ニ——事業家ガ損失ヲシ  
テドウシテモ積立ガ出來ナイト云フ中ニ入

ルデアリマセウカ、或ハ借金ヲシテデモ此  
積立金ヲシナクチャ刑罰ニ觸レル、斯ウ云  
フモノデアリマセウカ

○赤松政府委員 十六條ノ「災害其ノ他已  
ムヲ得ザル事由」ト申シマス場合ハ、是亦  
災害ニ類シマスヤウナモノヲ申シマシテ、  
客觀的ナ事情ニ基ク場合ニ限定致ス積リデ  
居リマス、御尋ノ如キ事業經營ノ内容ニ依  
リマシテ、赤字デアアルカラト申シテ積立ヲ  
免除スルト云フ意味ニハ解シテ行カナイ積  
リデ居ルノデアリマス、左様御承知願ヒマ  
ス

○木村委員 此二十條ノ規定ヲ見 マスル  
ト、退職積立金ノ積立ハ命令ノ定ムル所ニ  
依ッテ、郵便貯金デアルトカ、銀行ヘノ預金、  
金錢信託、登録國債、斯ウ云フ風ニ分レテ  
居リマスガ、例ヘバ銀行ヘ預金シタ場合、  
或ハ信託會社ニ金錢信託ヲ爲シタヤウナ場  
合ニ、其會社ガ破産ヲスル、銀行ガ破産ヲ  
スルト云フヤウナコトデ損失ヲ生ジマシタ  
時ハ、是ハ單ニ事業主ダケノ責任デアリマ  
セウカ、命令ノ定ムル所ニ依リ、殊ニ或ル  
場合ニ於テハ、行政官廳カラシテ指圖ヲシ  
テ此銀行ニ預ケロ、此銀行ハ不適當デア  
ルカラ此銀行ニ預ケロ、斯ウ云フ風ニ指圖ヲ  
サレテ、サウシテ退職手當ヲ積立テ、居ッ

タ場合ニ、其銀行ガ破産ヲシタ、斯ウ云フ  
場合ニハ事業主ダケノ損失デアリマセウカ、  
其點ヲ御伺致シマス

○赤松政府委員 二十條ノ積立金ノ積立方  
法ハ茲ニ掲ゲテ居リマス四項目ノ何レニ依  
リマセウトモ、ソレハ事業主ノ選擇ニ委セ  
マスノデアリマス、隨ヒマシテ銀行ヲ指定  
致スト云フヤウナ問題ハ起ラナイノデア  
リマス、尙ホ此場合銀行ノ破産等ニ依リマス  
損失ハ、事業主ノ補償ヲ要求致スコトニ致  
シテ居ルノデアリマス

○木村委員 ドウモ其點ニ付テモ私ハマダ  
十分ナル御調査、御考ガナイト思ヒマス、此  
積立金ノ運用ヲ誤マツタ時分ニハ非常ナ  
——三年以下ノ懲役等ニ處セラレル位ノ規  
定ガアルノニ、銀行等ハ事業家ガ任意ニ選  
擇シテ宜シイ、破産ヲモウスルデアラウト  
云フ評判ノアルヤウナ銀行デアラウト、ド  
ンナ銀行デアラウト勝手ニ選擇ヲシテ宜イ  
ト云フヤウナコトデハ、私ハ親切ナ考ヘ方  
デヤナイト思フ、今日公共團體等ニ於キマ  
シテハ、其金ヲ預金スル場合ニ於テハ、ド  
ン銀行ヘヤラナクチャナラヌト云フコトハ  
チヤント決ッテ居ル、確實ナ銀行デナクチャ  
ナラヌト云フコトガ決ッテ居ルノニ、事業主  
ガ任意ノ銀行ニ預ケテ宜シイト云フヤウナ



コトデハ、私ハ非常ナ危険ガアルト思ヒマスガ、其點ハ如何デアリマセウ

ガ通ラヌト思ヒマスガ、其點ニ付テハ如何デアリマスカ

○赤松政府委員 餘リ嚴格ニ立テルノモ如何カト思ヒマシテ、斯ウ云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、勿論中ニハ銀行ノ選擇ヲ誤ッテ怪シ氣ナ所ニ預ケ入レル者モ必シモナキニシモ非ズトハ存ジマスルガ、若シモ餘リニ甚シイウナ事情ニアリマスルナラバ、ソレハ適度ニ忠言ヲ與ヘマストカ何カ致シマシテ行ク方ガ、行政運用ノ上ニ於テ却テ適當デアラウト思ヒマス、願出ニ依リマシテ銀行ヲ指定致スト云フコトニナリマス

○廣瀬政府委員 此制度ヲ設ケマシテ、之ニ對シマシテハ行政官廳ガ責任ヲ以テ双方共ニ監督ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、労働者ノ參與ヲ認メルト云フコトハ必要ヲ認メナイノデアリマス

○赤松政府委員 四十三條ノ意味ハ、本法ノ適用ガアリマシタト云フコトダケニ依リマシテ從前ノ退職手當規程ガ直チニ效力ヲ失ッテシマフ、或ハ本法ト同様ノ内容ニ變更サレテシマフト云フコトハナイノデアルト云フコトヲ宣言致シタニ過ギナイモノデアリマシテ、從前ノ退職手當規程ノ内容ニ依リマシテ、ソレガ契約ニナッテ居リマスカ、何ニナッテ居リマスカ、色々事情ガアラウト思ヒマスガ、ソレノ手續ヲ經マシテ變更スルコトハ、敢テ之ヲ本條ノ規定ヲ以テ妨ゲテ居ル譯デハナイノデアリマス、但シ從前宜シキ待遇ヲ與ヘテ居リマシタモノガ、意味ナク本法ガ出來タカラト云ウテ、待遇ヲ低下致シマスヤウナ事態ノ發生致シマスコトハ、當局ノ切ニ希望シナイ所デアリノデアリマス

○赤松政府委員 此點ハ極メテ重大デアリマスカラ、モウ少シ御伺シテ置キタイト思ヒマスガ、第四十三條ヲ見マス「本法適用前ノ退職手當規程ハ本法ノ適用ニ依リ廢止又ハ變更セラルルコトナシ」斯ウ云フコトニナッテ居ル「變更セラルルコトナシ」但シ本法適用後ノ勤務ニ對シ本法ニ依リ退職手當ヲ支給スル場合ニ於テハ從前ノ規程ニ依リ支給スベキ退職手當ハ其ノ差額ヲ支給スルヲ以テ足ル」ドウシテモ以前ノモノヨリモ少クシテハナラヌゾト云フ風ニ此規定ノ上カラ見エルノデアリマス、詰リ從前ノ規程ノ變更ト云フコトヲ此法ニ依ッテ認メナイカノ如ク解釋サレマス、今當局ノ御答辯ニ依リマス、手續ヲ履ンデ行政官廳ノ許可ヲ得タ場合ニハ、ソレヲ本法ノ程度マデ引下ゲルコトハ差支ナイ、斯ウ云フ御答辯デアツカノヤウニモ見エマスガ、如何デアリマセウカ、私ハサウ云フコトガ出來ナクチャイカヌデヤナイガ、ソレヲ此四十三條ニ依ッテ禁止シテ居ルノデハナイカト考ヘマスカラ御伺ヲ致シマス

○赤松政府委員 只今申上ゲマシタヤウニ、本法ガ適用サレタカラト云ウテ、本法ノ反射的效力シテ從前ノ規程ガ廢止又ハ變更サレテシマフノデハナイ、自然ニ廢止又ハ變更サレテシマフコトニナルノデハナイト云フダケノ意味デアリマシテ、從前ノ規程ノ内容ノ如何ニ依リマシテ、契約デアリマスナラバ契約變更ノ手續ヲシ、又其他

ハ變更セラルルコトナシ」斯ウ云フコトニナッテ居ル「變更セラルルコトナシ」但シ本法適用後ノ勤務ニ對シ本法ニ依リ退職手當ヲ支給スル場合ニ於テハ從前ノ規程ニ依リ支給スベキ退職手當ハ其ノ差額ヲ支給スルヲ以テ足ル」ドウシテモ以前ノモノヨリモ少クシテハナラヌゾト云フ風ニ此規定ノ上カラ見エルノデアリマス、詰リ從前ノ規程ノ變更ト云フコトヲ此法ニ依ッテ認メナイカノ如ク解釋サレマス、今當局ノ御答辯ニ依リマス、手續ヲ履ンデ行政官廳ノ許可ヲ得タ場合ニハ、ソレヲ本法ノ程度マデ引下ゲルコトハ差支ナイ、斯ウ云フ御答辯デアツカノヤウニモ見エマスガ、如何デアリマセウカ、私ハサウ云フコトガ出來ナクチャイカヌデヤナイガ、ソレヲ此四十三條ニ依ッテ禁止シテ居ルノデハナイカト考ヘマスカラ御伺ヲ致シマス

○木村委員 此退職積立金ノ退職手當ノコトニ附帶シテ一ツ御尋致シタイ、私ハ斯ウ云フ制度ヲ設ケラレル以上ハ、労働者ノ權利ヲ確保シマス關係上、是等ノ積立金ノ管理、産業經營其他ノ事ニ付テ労働者側ノ參與ヲ認メラレルコトガ當然ノコトノヤウニ思ヒマスルガ、ソレ等ノ點ニ付テハ如何デアリマスカ、斯ウ云フ制度ヲ設ケラレル以上ハ當然労働者側ノ代表者ノ參與ヲ認メル、斯ウ云フコトニシナクテハ此法ノ精神

ハ此立法ノ精神ガ徹底シナイト思ヒマス、其事ダケ申上ゲテ置キマス、ソコデ最後ニ四十三條デアリマス、四十三條ノ所ニ「本法ノ適用ヲ受クル事業ニ於ケル本法適用前ノ退職手當規程ハ本法ノ適用ニ依リ廢止又ハ變更セラルルコトナシ」斯ウナッテ居リマス、サウスルト從來此退職手當ノ問題デ労働爭議ヲ惹起シテ、労働爭議ノ結果本法ノ規定スル以上ノ積立金及ビ退職手當ノ規程ガ出來テ居ル工場ハ、依然トシテ其規程ハ殘ッテ居ッテ、ソレニ從ハナクチャナラヌノデアッテ、本法ノ程度ノ所マデ引下ゲルト云フコトハ出來ナイノデアリマセウカ、私ハ本法ヲ制定セラレテ、是ガ公正妥當デアルト云フコトデ立法ヲ致サレマスル以上

○赤松政府委員 只今申上ゲマシタヤウニ、本法ガ適用サレタカラト云ウテ、本法ノ反射的效力シテ從前ノ規程ガ廢止又ハ變更サレテシマフノデハナイ、自然ニ廢止又ハ變更サレテシマフコトニナルノデハナイト云フダケノ意味デアリマシテ、從前ノ規程ノ内容ノ如何ニ依リマシテ、契約デアリマスナラバ契約變更ノ手續ヲシ、又其他

ハ變更セラルルコトナシ」斯ウ云フコトニナッテ居ル「變更セラルルコトナシ」但シ本法適用後ノ勤務ニ對シ本法ニ依リ退職手當ヲ支給スル場合ニ於テハ從前ノ規程ニ依リ支給スベキ退職手當ハ其ノ差額ヲ支給スルヲ以テ足ル」ドウシテモ以前ノモノヨリモ少クシテハナラヌゾト云フ風ニ此規定ノ上カラ見エルノデアリマス、詰リ從前ノ規程ノ變更ト云フコトヲ此法ニ依ッテ認メナイカノ如ク解釋サレマス、今當局ノ御答辯ニ依リマス、手續ヲ履ンデ行政官廳ノ許可ヲ得タ場合ニハ、ソレヲ本法ノ程度マデ引下ゲルコトハ差支ナイ、斯ウ云フ御答辯デアツカノヤウニモ見エマスガ、如何デアリマセウカ、私ハサウ云フコトガ出來ナクチャイカヌデヤナイガ、ソレヲ此四十三條ニ依ッテ禁止シテ居ルノデハナイカト考ヘマスカラ御伺ヲ致シマス

○赤松政府委員 只今申上ゲマシタヤウニ、本法ガ適用サレタカラト云ウテ、本法ノ反射的效力シテ從前ノ規程ガ廢止又ハ變更サレテシマフノデハナイ、自然ニ廢止又ハ變更サレテシマフコトニナルノデハナイト云フダケノ意味デアリマシテ、從前ノ規程ノ内容ノ如何ニ依リマシテ、契約デアリマスナラバ契約變更ノ手續ヲシ、又其他

ハ變更セラルルコトナシ」斯ウ云フコトニナッテ居ル「變更セラルルコトナシ」但シ本法適用後ノ勤務ニ對シ本法ニ依リ退職手當ヲ支給スル場合ニ於テハ從前ノ規程ニ依リ支給スベキ退職手當ハ其ノ差額ヲ支給スルヲ以テ足ル」ドウシテモ以前ノモノヨリモ少クシテハナラヌゾト云フ風ニ此規定ノ上カラ見エルノデアリマス、詰リ從前ノ規程ノ變更ト云フコトヲ此法ニ依ッテ認メナイカノ如ク解釋サレマス、今當局ノ御答辯ニ依リマス、手續ヲ履ンデ行政官廳ノ許可ヲ得タ場合ニハ、ソレヲ本法ノ程度マデ引下ゲルコトハ差支ナイ、斯ウ云フ御答辯デアツカノヤウニモ見エマスガ、如何デアリマセウカ、私ハサウ云フコトガ出來ナクチャイカヌデヤナイガ、ソレヲ此四十三條ニ依ッテ禁止シテ居ルノデハナイカト考ヘマスカラ御伺ヲ致シマス

○赤松政府委員 只今申上ゲマシタヤウニ、本法ガ適用サレタカラト云ウテ、本法ノ反射的效力シテ從前ノ規程ガ廢止又ハ變更サレテシマフノデハナイ、自然ニ廢止又ハ變更サレテシマフコトニナルノデハナイト云フダケノ意味デアリマシテ、從前ノ規程ノ内容ノ如何ニ依リマシテ、契約デアリマスナラバ契約變更ノ手續ヲシ、又其他

ハ變更セラルルコトナシ」斯ウ云フコトニナッテ居ル「變更セラルルコトナシ」但シ本法適用後ノ勤務ニ對シ本法ニ依リ退職手當ヲ支給スル場合ニ於テハ從前ノ規程ニ依リ支給スベキ退職手當ハ其ノ差額ヲ支給スルヲ以テ足ル」ドウシテモ以前ノモノヨリモ少クシテハナラヌゾト云フ風ニ此規定ノ上カラ見エルノデアリマス、詰リ從前ノ規程ノ變更ト云フコトヲ此法ニ依ッテ認メナイカノ如ク解釋サレマス、今當局ノ御答辯ニ依リマス、手續ヲ履ンデ行政官廳ノ許可ヲ得タ場合ニハ、ソレヲ本法ノ程度マデ引下ゲルコトハ差支ナイ、斯ウ云フ御答辯デアツカノヤウニモ見エマスガ、如何デアリマセウカ、私ハサウ云フコトガ出來ナクチャイカヌデヤナイガ、ソレヲ此四十三條ニ依ッテ禁止シテ居ルノデハナイカト考ヘマスカラ御伺ヲ致シマス

ノモノデアリマスレバ、其他ノ手續ヲ履ミ  
マシテ廢止又ハ變更スルコトハ敢テ本法ニ  
於テハ妨ゲナイ、唯ソレハ事實問題トシテ  
サウ云フ待遇ノ低下ヲ致スヤウナコトニナ  
リマスコトハ、私共ノ望シデ居ラナイ所デ  
アルト云フコトヲ附加ヘテ申上ゲテ置キマ  
ス

○松村委員 今ノ關聯事項トシテ簡單ニ實  
例ヲ以テ伺フテ置キマス、團體契約或ハ團體  
契約類似ノ契約ニ依テ一年間トカ二年間  
トカ期限ヲ附シテ退職手當ノ契約ガ出來タ  
ト假定致シマス、然ルニ本法ハ昭和十二年  
一月一日カラ實施サレルノデアルカラ、普  
通ナラバ其契約ハ期限ガ來ナケレバ解除又  
ハ變更スルコトハ出來マセヌ、然ルニ本法ハ  
直チニ實施ヲ見マス、斯様ナ場合ニ於テハ  
四十三條ノ規定ハ如何ニ解釋致シマスカ、  
四十三條ノ規定ハ今マデノ御説明ニ依ルト  
云フト、左様ナモノデモ本法ノ適用ニ依ッ  
テ是ハ變更シ得ルヤウニモ解釋サレマス  
ガ、事實上ハ期限ガ到著シナケレバ變更又  
ハ廢止スルコトハ出來ナイコトニモナリマ  
ス、サウ云フヤナ問題ニ付キマシテ、紛  
争ガ起ルト思ヒマスノデ、四十三條ノ規定  
ハ如何ニモ面倒ナ解釋ガ起ルカラ、今ノ實  
例ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○赤松政府委員 只今ノ御質問ノ假設例ニ  
付テ御答ヲ致シマス、期限附ノ團體協約ガ存  
在シテ居テ、未ダ期限ノ到來前ニ本法ノ實  
施ガアリマシタ場合ニ於キマシテハ、別段  
本法ノ規定ガ適用サレタカラト云ッテ、其團  
體協約自體ガ廢止又ハ變更セラル、ノデハ  
ゴザイマセヌ、隨ヒマシテ團體協約其モノ  
ノ廢止變更ノ手續ヲ經マシテ、兩者ノ合意  
ガアリマシテ廢止變更ヲ致シマスコトハ敢  
テ妨ゲマセヌガ、本法ノ效果トシテソレガ  
其前ニ變更サレタリ廢止サレタリスルコト  
ハナイノデアリマス、而シテ若シモソコニ  
團體協約ガアッテ本法ガ實施サレタ場合ニ  
於キマシテ、團體協約ニ依リマス退職手當  
ト、本法ノ命令シテ居リマス所ノ手當トガ  
二重ニ行クコトガアッテハナリマセヌノ  
デ、但書ヲ以テソレヲ説明シテ、此場合ニ  
ハ差額ダケヲ支給スレバ宜シイ、二重ニナ  
ルコトヲ但書ニ於テ防イデ居ルノデアリマ  
ス

○松村委員 マダ少シ分ラナイノハ、團體  
協約又ハ類似ト言ヒマシタ、ソレハ一ツノ  
假想ノ例ヲ舉ゲマシタ、團體協約又ハ其類  
似デナクテモ宜シイ、サウシマス時期限ハ  
來年ノ一月一日以後デナケレバ到來シナイ  
ノデスガ、併シ今日ヨリ一年後ノ一月一日

以後ニ廢止スル意思表示ヲ致シマスナラ  
バ、ソレハ雇主ハ意思表示ヲ致シテ置キマ  
スト云フト、本法實施後ト雖モ廢止サレマ  
スカ、ドウカ

○赤松政府委員 今ノ御質問ガハッキリ分  
リマセヌデシタガ、期限ガ到來致シマスレ  
バ勿論……

○松村委員 モウ一遍分ルヤウニ申上ゲマ  
ス、是ハ此四十三條ノ規定ノ適用ハ、今マ  
デノ説明ハ、廢止又ハ變更ガ出來ルト屢  
御説明ニナッテ居ル、但シソレハ出來得ル限  
リ既定ノ保護ヲ減ラサナイヤウニ政府ハ希  
望スルト云フコトヲ頻リニ言ウテ居ル、併  
シ雇主ガ斯ウ云フヤウナ法規ガ出來ルナラ  
バ却テ面倒デアル、面倒ガ起リ得ルコト  
ヲ豫想シテ、廢止シタイト云フ意思ヲ直チ  
ニ茲ニ起シテ來タ、併シ期限ハマダ到來シ  
ナイ、サウ云フヤウナ場合ハ是ハ適用後デ  
ハ其差額ヲヤラナケレバナラヌノデカラ、  
事實上其規程ハ廢止出來ナイト云フコトニ  
ナル、實質上廢止出來ナイト云フコトニナ  
ル、今日廢止シタクトモ期限ガ到來シナイ  
カラ出來ナイト云フコトニナル、出來ナイ  
中ニ法律ガ適用サレルト云フコトニナル、  
サウ云フ場合ニ四十三條ハドウナルカ、實  
際問題トシテソレハ澤山起ルカラ、ソコデ

ヤハリ四十三條ノ規定ノ、廢止又ハ變更セ  
ラレルコトナシト云フ説明ハ、變更シテモ  
廢止シテモ宜シイト云フ説明カ、將來色々  
ナ紛争ガ起ルト思ヒマスカラ、此四十三條  
ハ其點ヲハッキリサシテ載カナケレバナラ  
ヌト思ヒマス

○赤松政府委員 私ノ言葉ガ足りマセヌ  
カ、ハッキリ致シテ居ル積リデアリマスガ、  
：今ノ御話ノ如キ場合ニ於キマシテハ、其  
一方的ノ意思表示デ以テ、從來ノ規程ガ廢  
止サレマスヤウナ性質ノ規程デアリマスナ  
ラバ、廢止サレマセウシ、若シモソレガ相  
手方ノ合意ガナケレバ廢止ノ出來ナイヤウ  
ナ種類ノモノデアリマスナラバ、民法上ノ  
手續ヲ履ミマシテ廢止ガ出來ルコトニナル  
ト思ヒマス、本法ハ其廢止ヲショウガシマ  
イガ、全然ソレニハ關係ガナイノデ、本法  
ノ效力ヲ以テ何等ノ手續ヲ履マズシテ、ソ  
レガ自然ニ廢止變更セラレルコトハナイト  
云フダケノ事柄デアリマス

○松村委員 能ク分リマシタ、大體ノコト  
ハ分リマシタガ、其解釋ハ非常ニ將來面倒  
ヲ起シマスガ故ニ、此處デハハッキリ確メテ  
置クノデアリマス、政府委員ノ説明デ一應  
分ッタガ、問題ガ起ルト云フコトヲ申上ゲテ  
置キマス

○熊谷委員長 ソレデハ渡邊泰邦君

○渡邊(泰)委員 私ノ質問ハ極メテ簡單デ

アリマス、大體ニ於テ本案ニ賛成スル者デアリマスカラ、質問ハ極メテ簡單デアリマスルガ、幸ヒ内務大臣ガオ居デスカラ、其基本的命題ニ付テ一言御伺フシタイと思ヒマス、内務大臣ハ企業家モ労働者モ其利害ガ竝進スルト云フ認識ノ下ニ此労働法案ノ立法ヲナサレタカノ如ク御答辯ニナッテ居ル、併シ現在ノ此經濟組織、社會情勢ニ於テ企業家モ労働者モ其利益ガ竝進スルトハ吾々ハ考ヘラレナイノデアリマス、何故ナラバ先程松田君ガ質問致シマシタコトニ聊カ關聯致シテ居リマスルガ、此法案ガ出ルト必ズ新シク儲ハレル所ノ労働者ハ賃銀ガソレダケ下ゲラレルト云フコトハ、今日ノ經濟組織ノ下ニ於テハ明瞭ナ事實デアリマス、ソレデゴザイマスカラ、内務大臣ハ新シク特別單行法デ最低賃銀ヲ確定スル、現在世界ノ各國ニ於テ此問題ハ實施セラレ、或ハ既ニ施行セラレテ居リマス、此最低賃銀ヲ確保スル法律ヲ最近ノ機會ニ於テ提案セラレル意思ガアルカドウカヲ明確ニ御伺致シタイと思ヒマス、其意思ガアリ、其豫定ガナケレバ、此法案ガ一片ノ空文ト化スル憂ハ十分アルノデアリマスカラ、其點ヲ先

ツ御伺致シタイと思ヒマス

○潮國務大臣 私ハ企業家ト労働者トノ利

害ガ成ベク竝進スルコトヲ希望スルノデアリマシテ、又殊ニ我國ノ労働者ト企業家トノ間ニ於キマシテハ、從來カラノ相互信頼ト云フ關係ヲ基礎ニシテ、産業ノ發展ニ從事シナケレバナラヌト考ヘテ、其趣意ヲ申上ゲタノデアリマス、此法ニ依ッテ或ハ雇入レノ際ノ賃銀ノ引下ト云フコトガ起ルデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、私ハ之ニ依ッテ左様ナコトハ起ラヌダラウト考ヘテ居リマス、併シ最低賃銀ニ關スル法制ヲ作ルト云フコトモ一ツノ重大ナ立法デアリマスルケレドモ、事茲ニ至リマス影響スル所非常ニ重大デアリマスカラ、只今此最低賃銀ニ關スル法制ヲ立テヨウト云フコトハ、マダ決心ハ致シ兼ねテ居ルノデアリマス、十二分ニ調査研究ノ上デナイト決マラナイコトデアルト思ヒマス

○渡邊(泰)委員 ソレデハモウ一箇所御尋

致シマス、第十三條ノ單ニ労働者ト規定致シマシタノハ、自分ガ使ッテ居ル労働者ト規定致シタノデアラウト思ヒマス、併シ實際問題トシテ使ハレテ居ル労働者ニ許可ヲ得ルコトハ頗ル簡單デアリマス、雇主ガソレヲ雇傭シ、ソレヲ罷メル權限ヲ持ッテ居

ル労働者ノ許可ヲ得ルト云フコトハ、是ハ實際問題トシテ出來得ナイト云フ實例ハナカラウト思ヒマス、單ニ労働者ノ同意ヲ得ルト云フコトヲ、他ノ何カノ勅令ニアリマシタ審議會ノ同意ト改メタ方ガ労働者ニハ妥當ナ方法デヤナカラウカト思ヒマスルガ、ソコニ御考及ビマセヌデシタカ、其點ヲ一寸御伺致シマス

○赤松政府委員 事業主ガ労働者ノ積立金

ヲ運用致シマス場合ニ於キマシテハ、確實ナル方法又利子ノ額等ニ付キマシテハ、豫メ行政官廳ノ許可ヲ受ケテ居リマス、ソレニ依リマシテ、行政官廳ガ先ヅ是ナラバ労働者ノ貯金ヲ運用シテモ危クモナシ、又労働者ノ爲ニモナルト云フ見究メガ付キマシタ時ニ、初メテ許可致スノデアリマス、隨ヒマシテ御説ノ如ク成程大多數ノ労働者ト云フモノハ事業主ニ使ハレテ居リマス關係上、必シモ絶對ノ自由意思デ以テ同意不同意ヲ表ハスコトガ出來ナイ場合モアリマスト思ヒマスガ、併ナガラ今申上ゲマシタヤウニ、方法、利子額等ニ付キマシテハ、行政官廳ガ十分ニ監督致シテ居ルノデアリマスカラ、大ナル支障ハナイト考ヘテ居リマス

○渡邊(泰)委員 分リマシタ、モウ一點内

務大臣ニ御願シタイコトハ、一日モ速ク日本ノ労働者ノ最低賃銀ヲ決メルコトガ、私ハ現内閣ノ國民生活安定ノ其趣旨ニ適フノデアリマシテ、一日モ速ク其法案ヲ提出セラレンコトヲ望ムノデアリマス(拍手)此法律ガ實際問題トシテ適切、劃切ナル運用ヲ爲スヤウニ其骨子ヲ定メラレンコトヲ切ニ御願致シマシテ、私ハ質問ヲ是デ終リマス

○熊谷委員長 淺沼君、アナタノ質問ハ澤

山アリマスカ  
○淺沼委員 長イコトハアリマセス、簡單デス——條項ニ付キマシテハ色々塚本サンカラ質問致シマスコトニ致シマシテ、私ハ極ク簡單ニ政府ノ失業問題ニ對スル所見ヲ少シ伺ッテ置キタイと思フノデアリマス、今出サレテ居リマス案ト云フモノハ、失業對策ノ一ツトシテ出サレテ居ルノデアリマス、併シソコデ伺ッテ見タイと思ヒマスコトハ、今ノ資本主義社會ニ於キマシテハ、失業問題ノ解決ハ困難デアルト云フコトハ誰シモ考ヘテ居ルコトダト思フノデアリマス、色々理窟ハアルト思フノデアリマスガ、失業ト云フコトハ資本主義ノ一ツノ大キナ病氣デアリマスカラ、資本主義制度ヲ根本的ニ改革シナイ限りニ於キマシテハ、解決ノ出來ナイ問題デアルト私共ハ考ヘル

ノデアリマスルカラ、此政府ニ對シテモ其基礎ノ上ニ置カレテ居リマス政府デアリマスガ故ニ、今失業問題ヲ根本的ニ解決シロト申上ゲマシテモ、中々サウモ行カヌコトト思フノデアリマシテ、私ハ此問題ニ付テハ觸レナイノデアリマス、併シ失業ヲ防止スル意味ト失業者ヲ救済スル意味ノコトハ、ヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、現ニ今議題ニナッテ居リマスル案ハ、或ル意味カラ申上ゲマスナラバ、失業防止或ハ失業シタ時ノ備ヘノ問題デアルト、私共ハ考ヘルノデアリマス、併シ現實失業シテ居リマスル人ノコトニ付テハ、社會局並ニ政府ハ觸レテ居ラナイノデアリマス、此點甚ダ私共遺憾ニ思フノデアリマス、此參考資料ヲ讀ミマスト大正八年ノ失業防止委員會ニ於キマシテ、日傭労働者共濟制度ト云フモノヲ決メマシテ、ソレガ内務省ノ省議ヲ通過シテ、閣議ニ於テ何カ大藏省トノ關係ニ於テ豫算ガ五十萬圓バカリ伴フト云フ意味合ニ於テ、尙且ツ資本家團體デアリマス所ノ全產聯ノ強力ナ反對ニ遭ッテ、内務省ハ引ッ込メテ經驗ヲ持ッテ居ルト思フノデアリマス、是ハ本法ヲ出スカラニハ、現實ニ失業シテ居リマス人ノ上ニ、此共濟組合制度ノ確立ト云フコトヲヤ

ラナケレバ、現實ニ失業シテ居ル問題ヲドウスルカト云フコトヲ、御聽キシタイト思フノデアリマス、參考マデニ東京市ニ住ンデ居リマス所ノ失業者ノ状態ヲ御話致シマシナラバ、東京市ニ於キマシテハ登録ヲ致シマシテ、ソレニ依ッテ失業者ニ仕事ヲ與ヘテヤッテ居リマス、其賃銀ガ一日一圓三十錢デアリマス、而シテ一箇月ノ收入ハ技術ヲ持ッテ居リマスル大工、左官ト云ッタヤウナ人達ハ十七八圓デアリマスガ、技術ヲ持タナイ普通ノ人夫デ働キマス人達ハ十二圓乃至ハ十一圓位ノ程度デアリマス、假ニ十二圓ト假定致シマシテモ一日ノ收入ハ四十錢ト云フコトニナルノデアリマス、家族五人ト云フコトニナリマスレバ、是ハヤッテ行ケナイノデアリマス、現ニ東京市ダケデ登録シテ居リマス人達ガ二萬五千人程アルノデアリマス、東京市全體ノ登録セラレザル失業者ヲ加ヘマスナラバ十萬人アル、失業者ガ幾分減ッタトハ言ヒマスガ、日本全國ニ於テ日傭労働者ト云フモノハ三十六萬位ハ數ヘルコトガ出來ルト思フノデアリマス、之ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカ、一應伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

○廣瀨政府委員 政府ノ失業對策ト致シマシテハ、數年前ヨリ引續イテ施行致シテ居リマス、御承知ノ失業救済關係ノ各種ノ事業ガゴザイマス、是ハ社會局ノ手ヲ經テ毎年東京府初メ全國ノ主ナル都市ヲ中心トシテ、相當大キナ金ガ出デ居リマス、サウシテ政府ノ補助ガアルト同時ニ、地方モ亦金ヲ出シマシテ、ソレノ失業者ヲ救済スルト云フコトヲ實行致シテ居ルノデアリマス

○淺沼委員 モウ一ツ之ニ關聯シテ御同致シマスガ、昨年から本年ニ掛ケテ内務省ノ失業救済ニ關スル補助金ヲ減ラシテ居ルノハ、ドウ云フ意味合デアリマスカ、殊ニ「インフレ」失業者ニ對スル補助金、本年度ニ於キマシテモ、各都市ニ對スル補助金ヲ減ラシテ居ルノハ、ドウ云フ譯デスカ、ソレヲ改メテ御聽キシタイ

○廣瀨政府委員 昨年から本年ニ掛ケテノ豫算ノ關係デ、失業救済關係ノ補助ガ減ッテ居ルノデアリマスガ、是ハ大體失業者ノ數ガ順次減ッテ居リマスノデ、ソレデ豫算モ減ッテ居ルヤウナ次第デアリマス

○淺沼委員 成程軍需「インフレ」ニ依ッテ、一部ノ産業ニ於テハ非常ニ景氣ガ出テ來テ、動員サレテ居ルヤウデアルガ、ソレハ主トシテ技術労働者ニ關スル限リデ、技術ヲ持タナイ人達ハ、マダ非常ニ困ッテ居ルノデアリマスカラ、現實ノ問題トシテ、今困ッテ居ル失業者ノコトヲ、モット御考慮ノ程ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、殊ニ各都市カラ出ス所ノ失業者ニ對スル事業ノ公債認可其他ガ、色々ナ事情カラ遅レルヤウナコトガアッテ可ナリ困リマスガ、サウ云フヤウナモノニ對シテモ特別ノ便宜ヲ圖ッテ救キタイト思フ、次ハ本案ニ關スル問題デアリマス、本案ノ對象ハ就業労働者ヲ對象ニシテ居ルト思フノデアリマスガ、就業労働者ヲ對象トシテ、尙且ツ本案立法ノ趣旨ヲ色々ノ説明ヲ通ジテ伺ヒマス、結局ハ軍需「インフレ」ニ對スル反動ニ備ヘル爲メデアルト云フコトヲ言ハレテ居ラナイ爲ニ、非スガ、此點ガ明確ニナッテ居ラナイ爲ニ、非常ニ議論ガ沸騰シテ居ルヤウデアリマス、例ヘバ今ノ狀態デ軍需「インフレ」ガ續ク譯デハナイト私共思フノデアリマシテ、若シ一度反動ガ參リマス、直グサマ困ルノハ三十萬ノ臨時職工ノ問題デアアル、又臨時職工バカリデハナイ、日本ノ中小商工業者ト云フモノハ、或ル意味カラ申シマス、大産業ノ下ニ寄食シテヤッテ居ルモノデアリマシテ、一度不景氣ト云フ風ガ來ルト、ソレニ依ッテ非常ナ動搖ヲ受ケル、動搖ヲ受ケレバ必然的ニ手當ノ問題ヲ中心トシテ、勞

働者ヲ誠ラナケレバナリマセヌカラ、誠ッタ場合ニハ勞働者トノ間ニ大キナ争鬭ガ起ル、之ヲ防止スル爲ニ本案ガ提出サレテ居ルノダト思フノデアリマシテ、就業勞働者デモ臨時工ハ少クトモ本案ノ對象デアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル政府當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フ

○廣瀨政府委員 本法案制定ノ理由ハ、既ニ大臣ヨリ申上ゲテアルノデアリマスガ、本法案ヲ提出スルニ今ガ非常ニ好機デアルト云フコトニ付キマシテハ、現ニ輸出ガ非常ニ盛ンデアリ、輸出關係ノ工業ガ盛ンデア、又軍需關係ノ事業ガ盛ンデア、一般ノ工業界ガ非常ニ景氣ガ好イ、將來或ハ反動來ガアリハセヌカト云フ、斯ウ云フコトモ將來ニ考ヘナケレバナラヌノデ、景氣ノ好イ時機ニ臨ンデ、今之ヲ提案スルコトガ時機ヲ得テ居ルト云フコトニ付テハ、私共モサウ云フ風ニ思ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ臨時工ノ問題デアリマスガ、是ハ本法ニ於テ六箇月以上ニナッテ、サウシテ事實使關係ガ繼續シテ居ルモノト認定サレル場合ニハ、之ヲ臨時工ト言フヨリモ、最早本法ノ適用ニ付テハ、ヤハリ退職手當ヲ支給シ得ルヤウニ取扱フト云フヤウニ、此問題ニ付テノ解決ノ一步ヲ進メテ居ル譯

デアリマス

○小山委員 只今重大ナ御話ヲ承ッタノデアリマスガ、現内閣ハ産業ヲ盛ンシテ、公債ノ消化其他負擔ノ公平ト云フコトヲ考ヘテ居ル際デアリマスガ、軍需「インフレ」今日ノ景氣ガ不景氣ニナルト云フコトヲ豫想セラレテ、此立法ガ計畫サレタト云フ風ニ只今聞エタノデアリマスガ、然ラバ内務大臣ハ此日本ノ今日ノ景氣ガ或ハ一年、或ハ半年ノ後ニ、直ニ大キナ變化ガ經濟上ニ來ルト認メマスカドウカ、此點ニ付テ御伺シタイノデアリマス

○潮國務大臣 中々私共ニ産業界ノ將來ヲ見透シテ、確タル御返事ヲ申上ゲルコトハムヅカシイノデアリマス、併シ此法案ハ此一二年ノ先ニ必ず不景氣ガ來ルト云フヤウナコトラ、前提ニシテ居ルモノデモ何デモアリマセヌ、併ナガラ今ハ兎ニ角相當ナ活氣ガアルノダカラ、斯ウ云フモノヲ作ッテ、事業家ニ對シテモ負擔ヲ望ムノニハ、ヤハリ相當活氣ノアル時代ガ最モ宜シイト云フノデ、今日提案シタ其趣意ヲ、先般來繰返シテ申上ゲテ居ルノデアリマス、社會局長官ガ申上ゲタ趣意モ、ソレニ外ナラヌト思フノデアリマス

○小山委員 今長官ハ正シク全然反對ノ意

見ヲ申述ベテ居リマスガ、然ラバ社會局長官ノ御話ト内務大臣ノ御話トハ、全然違フノデアリマスカ

○潮國務大臣 私ガ聽イテ居リマシタ所デハ、私ガ申上ゲタノト或ハ言葉ハ違ヒマシタデゴザイマセウガ、趣意ハサウ違ッテ居ルコトヲ申上ゲタノデヤナイ、併ナガラ若シ速記デモ調ベテ見マシテ、全ク違ッテ居ルコトヲ社會局長官ガ申上ゲテ居リマスナラバ、是ハ委員長等ニモ御願ヒシテ、相當ニ其點ハ措置ハ致シマス

○小山委員 ソレハ大藏大臣ノ隨時聲明シテ、此景氣ヲ更ニ持續セシメテ、尙ホ産業ヲ盛ニシ、尙ホ公債ノ消化ヲサセヨウト云フ積極政策ヲ樹テヨウ、片方ハ消極的ニ此景氣ガ一年ノ後カ二年ノ後カニ、反動ガ來ルカモ知レヌカラ、其反動ニ備ヘル爲メノ積立法デアルト云フコトデアリマシテハ、私共ハ全然意見ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、私共ハ意見ヲ異ニシテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス

○淺沼委員 臨時工ハ軍需「インフレ」ニ對スル一時的ノモノデアルト思フノデアリマスシ、ソレハ又資本家ノ搾取ヲ蒙ル一ツノ手段デアルト考ヘマス、モウ一ツハ勞働者ノ犠牲ノ上ニ立ッテ「コスト」ヲ安クシヨウ

ト云フ資本家ノ手段ガ、含マレテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ風ナモノニ對シテハ、政府ハ六箇月ト云フコトデナシニ、後程塚本サシカラ色々體驗ニ基イテ御意見ガアルト思ヒマスガ、ドウ云フ風ニ監督スルカ聽カシテ戴キタイト思ヒマス、モウ一ツハ此案ノ立法ノ趣旨ハ、資本家ト勞働者ノ兩方ノ金ヲ積立テ、行クト云フコトデアリマスガ、イツソノコト、モット突込ンデ政府モ金ヲ出シテ失業保險ト云フコトヲ考ヘラレル餘地ハナイカト云フコトヲ、御伺ヒシテミタイノデアリマス、此案ヲモウ少シ發展サシテ、政府モ一枚加ッテ失業保險ト云フモノニマデ、發展サセル御考ハナイカト云フコトヲ聽キタイノデアリマス、モウ一ツハ四十三條デ先程問題ニナッテ居リマシタガ、本法ノ施行ニ依ッテ勞働者ノ現在持ッテ居ル既得權ハ、斷ジテ侵害サレナイカ、色々心配サレル人モアルガ、侵害サレルト云フヤウナコトガアルト、是ハ勞働爭議ヲ豫想シナケレバナリマセヌ、何トナレバ今マデノ勞働條件ヲ好クシタノハ、今マデ勞働者ガ犠牲ヲ拂ッテ、大工場其他ニ於テ勞働條件ヲ好クシテ居ルノデアリマス、之ヲ獲ル爲ニハ或ハ牢獄マデ行ッテ勞働者ガ取ッテ既得權デアリマスカラ、本法ノ施行ニ依ッテ大工場其

他ニ於テ、既得權ヲ侵害サレルト云フヤウ  
ナコトガアリマスレバ、其時ハ勞働階級ハ  
強力ナル壓力ヲ以テ闘争シテ行カナケレバ  
ナラヌト云フコトヲ、御心ノ中ニ入レテ置  
イテ裁カナケレバナラス、斯ウ云フ點ニ付  
テ、ドウ云フ御考ヲ持タルルカ

○廣瀨政府委員 臨時工ノ問題デアリマス  
ガ、此問題ニ付テノ監督ハ、ヤハリ本法施  
行ニ關スル地方廳ニ於テ工場課ナリ何ナリ  
ニ於テ、監督ヲ致ス積リデアリマス、ソレ  
カラ失業保險ノ問題デアリマスガ、之ニ付  
テハ既ニ内務大臣カラモ、數回本議場ニ於  
テモ答辯シテ居ラレルヤウニ、此制度ハ失  
業保險トハ別ニ關係ナク、之ヲ以テ失業保  
險ヲ行フ前提トスル意味デモアリマセヌ、  
又之ヲ以テ失業保險ニ代ヘルト云フ問題デ  
モナイ、全ク是ハ別箇ノ問題トシテ、失業  
保險ハ考ヘテ居ルノデアルト云フコトデア  
リマス、左様御承知置キヲ願ヒタイ、ソレ  
カラ尙ホ本法施行前ノ契約ニ關スル問題、  
是ハ四十三條ニ、ハッキリ書イデアリマス  
カラ、之ニテ御承知置キヲ願ヒタイ  
○淺沼委員 マダ聽キタイコトハ色々アリ  
マスケレドモ、之デ打切りマス  
○熊谷委員長 ソレデハ藏原君  
○藏原委員 大分時間モ經チマシタシ、モ

ウ既ニ多數ノ諸君カラ御伺ヒ致シマシタノ  
デ、大體分リマシタガ、ホンノ一二點確メ  
テ置キタイコトガアリマス、元來私ハ此法  
律案自體ノ目的趣旨ニ賛成デアリマス、唯、  
併シ斯ウ云フ法律ヲ施行スルニ付テハ、是  
ハヤハリ世間ノ實情ニ能ク即シテ行カナケ  
レバナラス、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、  
其點多少世間ノ實際ノ實情ト離レテ居ルノ  
デヤナイカト云フヤウナ疑問ガアル、其點  
ニ付テ御伺シタイ、第一ハ昨日來ノ當局ノ  
御答辯ニ依リマスルト、此法案ノ趣旨ハ、  
大體今日既ニソレノ實行シテ居ル所ヲ、  
更ニ之ヲ法制化スルニ過ギナイ、只今ノ所  
デハ實際、經費ガアツテモ實際上規程ノ積  
立金ヲ積立シテ居ナイノデ、之ヲ確保スル  
爲ニ此法案ヲ作ルノダト云フノガ、主ナ理  
由デアルト云フ御話ガアツタ、ソコデ私ハ實  
際ニ於テハ、此適用ヲ受ケル工場ノ實情ヲ  
考ヘテ見マスルト、三十人以上五十人マデ  
ト云フ所デ、實際サウ云フ規程或ハ内規ガ  
アル所ハ一割八分、所ガ五十人以上百人未  
滿ノ所デハ二割八分、百人以上ニナッテ初  
メテ五割三分ト云フ工場ガ、實際ソレヲ持  
テ居ルト云フコトニナル、是ハ此趣旨ニ對  
シテ、實際ノ實情ニ即シテ居ナイデヤナイ  
カト云フ疑ガアル、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

○廣瀨政府委員 此制度ヲ施行致シタ場合  
ニ能ク實情ニ即シテ、巧ク圓滑ニ行ハレル  
カドウカト云フコトニ付テノ御懸念デ、洵  
ニ御尤モニ存ズルノデゴザイマスガ、只今  
御舉ゲニナッタヤウニ、現ニ退職手當ノ制度  
ガ施行セラレテ居ル數ハ、マダ十分トハ  
行ッテ居リマセヌ、「パーセンテージ」カラ言  
ヒマシテモ、工場數ノ「パーセンテージ」ハ  
非常ニ低イノデアリマス、併シヤハリ大正  
七八年頃カラ今日マデノ間ニ漸次擴マッテ  
參リマシテ、相當程度マデハ普及致シテ居  
ルノデアリマシテ、職工數カラ申シマス  
約四十八「パーセント」、三十人以上ノ工場  
鑛山ニ付テハ四十八「パーセント」マデ行ッ  
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事情  
デアリマスカラ、大體ニ於テ是カラ來年ノ  
一月マデノ間ニ、此關係官廳方面ニ於テ十  
分ニ本法ノ施行ニ付テノ準備ヲ致シ、サウ  
シテ其趣旨ノ徹底ヲ圖ッテ行キマスレバ、此  
制度ノ實行ニ當ッテモ圓滑ヲ缺クト云フヤ  
ウナコトハ、ナイガラウト思ッテ居リマス、  
又サウ云フ圓滑ヲ缺クトコトノナイヤウニ、  
十分努力ヲ致シタイと思ッテ居リマス  
○藏原委員 一寸御答ノ「ポイント」ガ違ッ  
テ居ルト思ヒマスガ、私が御尋ネシタノハ  
昨日アタリカラ御聞キシテ居ルト、斯ウ云

フヤウナ實際ノ實情ニアルノデ、新ニ負擔  
ヲ重ク課スルモノデヤナイト云フヤウナ風  
ニ、私ハ受取ッタノデアアル、若シソレガ誤解  
デアレバ結構デスガ、併シサウ云フ風ナ御  
答辯カラ見マスルト、今ノ實際ノ實情ハ百  
人以上ニ至ッテハ、ソレハ社會局長官ガ仰シ  
ヤルヤウニ五割三分ト云フコトニナッテ居  
リマスカラ、言分ガ立チマセウガ、併シ三  
十人以上五十人未滿一割八分、五十人以上  
百人未滿二割八分、サウ云フヤウナ所ハマ  
ダ多クノ所ガサウ云フ制度ガナイ、大多數  
ノ所ガサウ云フ制度ガナイノニ、新シクサ  
ウ云フ制度ヲ拵ヘサセルト云フコトガ、實  
際ニ適スルカドウカ、ソレニ付テノ御意見  
ヲ伺ッテ居ルノデアリマス、サウ云フコトデ  
ハ大分世間ノ實情ニ即セヌコトニナリハセ  
スカ、實際之ヲ私共カラ考ヘルト、大工場  
ニ付テハ既ニサウ云フ制度ガアル、是ハ大  
工場ハ既ニ問題外デアアル、大工場以外ノ中  
小ノ工業者ニ取ッテノ問題ガ今總テノ諸君  
ガ論ジテ居ル所デアリマス、ソレ等ヲ實際  
ニ私共ハ考ヘテ洵ニ憂慮ニ堪ヘナイ、其點  
ヲ伺ヒタイ  
○廣瀨政府委員 私ノ先程ノ答辯ガ見當ヲ  
違ッテ居ッタ點ガアツタヤウデアリマスガ、成  
程小サイ方面ニ對シテハ、實際マダ十分ニ

決テ居ラス、此方面コソ必要デアリマシテ、其方面ニ對シテ普及ヲスルト云フコトガ必要デアルト云フ御意見デアリ、私共モサウ考ヘマシテ、中小工業ノ負擔ガ餘リ堪ヘ難イ所マデ、小サイ所ヘ下ッテハナラヌノデアリマシテ、或ル程度マデノ所ハサウ大シタ負擔デモナイノデアリマシテ、産業ト兩立シ得ル範圍ニ於テ擴大テ行カウ、即チ普及シテ行カウ、今迄ハ比較的大キナ工場ノミデアッタノデアリマシテ、之ヲズツ擴大テ行カウト云フコトガ、一ツノ目的デアリマス、現在行ハレテ居ル退職手當ト云フモノヲ法制化スルト云フコトハ、合理化スルト同時ニヤハリ普及化ヲ必要トスル、斯ウ云フ目的デアリマシテ、何レズツ擴大ガテ行ク譯デアリマシテ、擴大テ行ク場合ニ、現ニ行ハレテ居ナイ所ニ此制度ヲ置イタナラバ、非常ニ實情ニ即シナイコトニナリハセヌカト云フヤウナ御心配デアリマシテ、ソレ等ニ付キマシテハ、十分ニ本法施行ニ當ッテ注意ヲ致シマシテ、サウシテ工場主其他關係者ヲシテ、本法ニ關スル知識ヲ得セシメテ、能ク實際ニ困ラナイヤウニ致シタイ、斯ウ思ッテ居リマス

シタイ、要スルニ結果ハ是ハ中小ノ工業者ニ、眞ニ或ル負擔ヲ負ハセルト云フコトニナルノデアリマシテ、私共ハ其負擔ニ中小工業者ガ堪ヘルカ堪ヘヌカト云フコトヲ實際心配シテ居ルノデアリマシテ、其材料トシテカ、昨日中小工業者ノ收益狀況ノ調ト云フモノヲ商工省デ調ベタモノト思ヒマスガ、御配リニナッテ居ッタ、之ニ徴シマスルト、非常ニ利益ガアルヤウニナッテ居リマス、而其調ハ自己ノ資本金額——自己資本ナントカト云フコトニナッテ居ル、中小工業者ハ自己ノ資本デヤッテ居ルノダト云フ御見込ニナルンデスカ、或ハ外ノ考ガアリマシカ、サウシテ又眞ニ負擔ニ、此法律ノ適用ニ本當ニ堪ヘ得ルト云フヤウナ御認定ガ付キマスカドウカ、而シテ又其御認定ヲナサル根據ハ唯此調デアルカ、或ハ社會局當リデ本當ニ工業者ニ付テ御調ニナッタカドウカ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

○赤松政府委員 中小工業ノ中ニハ、自己資本ノミナラズ他カラ借入レテ居ル者ノアルコトモ承知致シテ居リマス、而シテ負擔ニ堪ヘルヤ否ヤト云フコトハ、賃銀ノ百分ノ二ノ程度デアリマスナラバ、生産費ニ比シマシテモ、或ハ生産額等カラ考慮致シマシテモ、色々ノ方面カラ大體致シマシテ、中小工業ノ基礎ヲ潰滅ニ歸スルヤウナ重大ナ問題ヲ起ス程ノ程度デハナイト、認定ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、而シテ中小工業ニ從事致シテ居リマス労働者ノ保護ノ必要モアリマスルシ、兩々相比較致シマシテ、此程度ノ負擔ハ已ムヲ得ザル問題デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○藏原委員 是ニ至ッテハ認定ノ違デアリマスルカラ、追究致シテモ仕方ガアリマセヌガ、唯此調一ツシカ根據ニナッテ居ラスカ、或ハ其他ニ具體的ニ工場カ何カニ付テ御調ベニナッタコトガアルカドウカ、ソレヲ一ツ聽キタイ

○赤松政府委員 具體的ニ個々ノ工場ニ付テ調ベマシタヤウナコトハゴザイマセヌ、併ナガラ他ノ生産額、生産費ト云フヤウナコトヲ總括致シマシテ、觀察致シテ居リマシヤウナ次第デアリマス

○藏原委員 是以上此問題ニ付テ追究致シテモ仕方ガアリマシマシガ、私ハ内務省ガ實際ニ斯ウ云フ法律ヲ作ラレル時ニ付テノ態度、或ハ用意トシテハ、甚ダ不十分デアルト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス、是ハ唯議論ノ問題デヤナイ、斯ウ云フ風ナ商工省ノ變ナ調査ニアルヤウナ斯ウ云フ風ナ利益ノアル問題デナイ、是ハ實際御調ニナルト、今ノ事業經營家ハ私ハ労働者ト一緒ダト思フ、是ハ全部デナイカモ知レマセヌガ、私ハ不幸ニシテ斯ウ云フ機關ヲ持タヌカラ、材料ガアリマセヌガ、私共ハ實際大阪ナリ何處ナリニ直面シタ場合ニ於テ、サウ云フ風ナ考ヲ熟ス、是ハ將來ノ問題デアリマスシ、御役所ガ机上デ認定サレルノガ、如何ニ世間ノ實情ニ疎イカノ原因ガ其處ニアルトスレバ、能ク一ツ御考慮願ヒタイ、モウ一ツ私ノ御伺シタイノハ、十七條ノ問題ニ關聯シテ、政府ノ方デハ労働爭議ヲ起ス理由ニナラナイト云フ斷定ヲ下シテ居ラレルガ、委員諸君ノ方デハ、總テ是ガ労働爭議ヲ起ス原因ト云フコトヲ皆確信致シテ居ル、コ、ニ私ガ貰ッテ居リマス表ノ中デ、昭和九年ノ退職手當ヲ原因トシテ起シタ労働爭議ガ二十七件アル、所ガ其中三十人未滿ノ工場ガ十六、五十人未滿ガ七十、百人未滿ガ一ツトナッテ居ル、三十人未滿ノ所、又五十人未滿ノ所、殆大部分コニ労働爭議ガ起キテ居ルト云フ事情ハ、ドウ云フ風ナ所ニ起因シテ居ルカ、其理由ヲ一ツ伺ヒタイ

○赤松政府委員 大工場ニ於キマシテハ、御手許ニアル表ニモゴザイマシヤウニ、今日退職手當ノ規定若クハ慣行ガ、相當廣キ



ニ及ンデ行ハレテ居リマス、隨ヒマシテ勞働者ガ退職ノ場合ニ於キマシテハ、何等カ相當ノ手當ヲ貰ッテ解除ヲスルコトニ相成ッテ居リマスノデ、ソコニ退職手當ニ關スル爭議ノ起ル餘地ガ極メテ少イノデアリマス、併ナガラ極ク低イ方ニ參リマス、是亦御手許ニアリマス表デ御覽ノ如ク、サウ云フ慣行若クハ經營制度ガ存在致シテ居ルコトハ極メテ少イノデアリマス、サウ云フコトノ爲ニ勞働者ガ工場ヲ罷メマス場合ニ、全然手當ヲ貰フコトガ出來ナイヤウナ場合ガ屢アル、而モサウ云フ所ハ、比較的資力が薄弱デアルニ拘ラズ、平素ニ於テ何等ノ準備ヲ致シテ居リマセヌ爲ニ、其場合ニ於テ勞働者ガ如何ニ要求致シマシテモ中手當ハ出シニクイ、併シ勞働者ハ職ヲ離レルノデアルカラ、後ノコトヲ何トカシテ行カナケレバ、明日カラモ困ルノデアルカラト云フノデ、ソコニ深刻ナル爭ガドウシテモ起リ勝チデアアル、サウ云フヤウナ點カラ見マシテモ、本案ニ依リマシテ小工業者ノ方ニ於キマシテモ、平素カラボツ／＼ト準備ヲシテ參リマス云フコトガ、大變結構ナコトダト、斯ウ考ヘテ居リマス

**○藏原委員** 勞働爭議ガ現在ドウ云フ事情ニ依ッテ起ッテ居ルカト云フコトハ、是ハ私

ノ説明スル迄モナイコトデアアル、私共是マデ實際ニ打突ッタ人間カラ申シマス、机ノ上デハドウカ知リマセヌケレトモ、資本家對勞働者、或ハ企業家對勞働者ト云フ關係ニ於テ、是ハ寧ロ資本家ノ方ガ或ル場合ニ於テハ弱イ、勞働者ノ大キナ組織ガアル時ニハ、勞働者ノ大キナ組織ガ其處ニ働イテ、資本家ガ寧ロ守勢ナ立場ニ立チ、弱者ノ位置ニ立ッテ居ルト思フ、私ハ決シテ資本家ノ立場ニ立ッテ居ルノデハナイ、私共ハ今マデ資本家ナリ勞働者ナリノ中間ニ立ッテ、一種ノ行司見タヤウナコトヲヤッテ來タ、其意味カラ考ヘテ見デ、是ハ中以下ノ工業者ニ取テハ、非常ナ壓迫デアルト云フコトヲ思ハザルヲ得ヌノデアリマス、サウ云フコトデ或ル場合ニ於テ、此原因ハ知リマセヌケレドモ、或ハ勞働者ノ勢力ガ中以下ニ及ブ現象ヲコ、ニ現ハシテ居ルノデハナイカト思フ、百人未滿ノ工場ガ大多數デアアル、勿論個々ノ資本家、企業家ハ、貧弱ナ、無用意ナ所モアリマセウ、併ナガラ其無用意ナ原因ハ何處ニアルカト言ヘバ、資本家ナリ企業者ガ金ガナイコトガ原因デアアル、即チ其處ニ中小工業者ノ苦心ノ存スル所ガアル、ソコテ私ハ今度ハ一ツ内務大臣ニ大體ノ御見透シヲ御同致シテ

置キタイト思ヒマス、曩ニ述べマシタ點、又勞働爭議ニ對スル私ノ考ヘ方、斯ウ云フコトカラ今度新ニ此法律ノ苦痛ヲ感じ、又影響ヲ受ケルノハ中小ノ工業者ニ限ルト私ハ思フ、中小工業家、之ヲドウ云フ風ニスルカト云フコトハ國家ノ大問題ト思フ、商工省ナリ或ハ大藏省ノ方ニ於テハ、私ハ之ヲ擁護シテ盛立テ、行クト云フ立場ニ立ッテ居ルト思フ、ソレハ馬場サンノ財政方針カラ言ッテモ、又小川サンノ考カラ言ッテモ、サウ云フコトニナッテ居ルト思フ、所ガ内務省ノ方ニ於テハ、勞働爭議ノ方面、或ハ又他ノ方面カラ、斯ウ云フヤウナ法律ニ依ッテ中小工業者ヲ撲滅スルヤウナ手段ヲ法ヲ執ッテ居ラレルノデハナイカ、サウ云フヤウナ結果ニナリハシナイカ、私ハ此二ツノ脚ガ全ク不揃ヒノ状態ニナルト思ハザルヲ得ナイノデアリマス、是ガ私ハ諸君ノ考ノ一致スル所ノヤウニ思ッテ居リマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、斯ウ云フ状態ノ下ニ此法律ヲ出サレテ、中小工業者ヲ撲滅スルト云フ意思ガナイト云フコトヲ斷言シ得ラレルカドウカ御伺シタイ

**○潮國務大臣** 此法律ニ依ッテ今マデ慣行モ何モナイ業者ニ對シテハ、皆或ル程度ノ負擔ヲ要求スルノデアリマスカラ、中小工業者ハソレダケノ犠牲ヲ拂ッテ呉レラレルコトニナル、併シソレハ勞働行政ノ上カラ實ニ已ムヲ得ナイ、又延テハ産業行政ノ上カラ見デモ、必要ナモノト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ一方商工省ナリ、或ハ大藏省ナリニ於キマシテ、是等ノ業者ノ保護獎勵ト云フコトハ、是ハ當然シナケレバナラヌノデアリマス、斯ウ云フ法律ガ出來テモ出來ヌデモ、是等ノ人ノ獎勵ナリ保護ト云フモノニハ手ヲ盡サナケレバナラヌ、有ユル方面デ手ヲ盡スコトヲ考ヘマス、ケレドモソレアルガ爲ニ、此法律ト決シテ矛盾シタ政策ガ行ハレルト云フコトニハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、犠牲ヲ拂ッテ貰フ所ハ拂ッテ貰フ、サウシテ保護シ、獎勵シ、盛立テ、行クベキ所ハ、政府ニ於テ盛立テ、行ク、此處ガ折衷調和サレ、バ、最モ妥當ナル政策ガ行ハレルモノト考ヘマス

**○藏原委員** 是カラ先ハ認定ノ問題デアリマスカラ、私ハモウ申上ゲマセヌ

**○熊谷委員長** 今度ノ順序ハ岡本委員ノ順番ニナッテ居リマスガ、岡本委員ハ何カ用ガアッテ退席セラレマシタノデ、其次ノ塚本君ニ許シマス——塚本君、長イノデスカ、短イノデスカ

**○塚本委員** 極ク簡單デス

○熊谷委員長 簡潔ニ御願シマス

○塚本委員 先づ最初ニ政友會ノ方々ガ私ニ質問ノ順序ヲ讓テ下サイマシタコトヲ感謝シテ質問ニ入りタイト思ヒマス、私ハ先づ順序ヲ追ウテ質問シタイノデアリマシマス、第一條ニ於キマシテ、當時三十人以上ノ工場、鑛山ニ之ヲ適用スルト云フヤウニ、社會局最初ノ原案カラ、其適用範圍ヲ縮小セラレタ其事ニ依リマシテ、三十何萬ノ労働者ガ其除外ヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウナ結果ニナツタコトヲ、甚ダ遺憾トスル者デアリマス、更ニ此適用範圍ヲ五十人以上ニシテハドウカト云フヤウナ意見モ耳ニスルコトヲ、更ニ遺憾トスル者デアリマス、之ニ似通フ労働立法ト致シマシテ、明治四十四年ノ三月二十八日ニ公布ニナリマシタ工場法ニ於キマシテハ、最初カラ其適用範圍ガ十五人デアッタノデアリマス、ソレガ大正五年ノ九月一日ニ執行ニ相成ッタノデアリマスガ、越エテ大正十二年三月二十九日カラ、是ハ十人以上ニ適用スルト云フヤウニ範圍ガ廣メラレマシタ、現ニ實行ニナツテ居ルコトデアリ、更ニ適用ノ範圍ニ付キマシテモ、非常ニ擴ゲラレテ參ッタノデアリマス、又健康保險法ニ付テ見マシテモ、昭和二年ノ一月一日、施行ノ最初ニ於キマシテ、十人以上ニ是ガ適用ニナツタノデアリマス、越エテ昭和十年ノ四月一日ニハ、是ガ改正ニナリマシテ、現行法デハ五人以上ニ是ガ適用ニナツテ居ルノデアリマス、既ニ明治年代ニ於テ公布ニナリ、大正年代ニ於テ施行ニ相成ッタ工場法、昭和二年ニ施行ニナツタ所ノ健康保險法ノ先例ヲ見マシテモ、非常ニ思切ッタ範圍カラ始メラレテ居ルノデアリマス、而モ此工場法竝ニ健康保險法ニ於キマシテモ、事業主ノ負擔ト云フモノガ相當ナ額ニ上ツテ居ルコトハ言フ迄モナイノデアリマス、施行ノ最初カラ十五人或ハ十人ト云フ風ニ始メラレテ、現在デハ工場法ハ十人以上デアリ、健康保險法ハ五人以上トナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ古クカラ制定セラレタ所ノ是等ノ法案ガ、既ニサウ云フ範圍カラ始メラレテ居ルノデアリマス、ソコデ社會局デ案ヲ作ラレマシタ時ニ、同様ニ今度ノ制定シヨウトスル所ノ退職積立金法案ニ於キマシテモ、十人以上ノ鑛山工場ニ之ヲ適用シヨウト云フ原案ガ成立ッタコトハ、是ハ當然デアルト私ハ思フノデアリマス、ソレガ圖ラズモ如何ナル事情、如何ナル理由ニ依ツテカ、是ガ三十人ト云フコトニナツタコトハ返ス、モ残念デアリマス、而モ今ヤ國內ニハ庶政一新ノ聲

ガ満チテ、國民生活安定ノ……

○熊谷委員長 ドウゾ質問ニ觸レルヤウニ願ヒマス、唯例證ヲ舉ゲテ居ッテハ仕様ガナイカラ……

○塚本委員 政策ヲ行ハウトシテ居ル所ノ現内閣ニ於テ施行セラレヨウトスル所ノ此法案ガ、三十人以上ニ適用範圍ヲ縮小セラレタコトハ甚ダ遺憾ト考ヘルノデアリマス、何故原案カラ斯ノ如クニ今日ノ提案ニ御修正ニナツタノデアアルカト云フ事情ヲ一ツオ開カセ願ヒタイノデアリマス

○廣瀬政府委員 本法第一條デ三十人以上ト云フコトニナリマシタノハ、中小工業ノ詰リ事業主ノ經濟負擔ノ見地カラ見テ、是ヨリ小サイ事業主ニ向ッテ、此經濟負擔ヲセシムルノハ難キヲ強ユルモノデアルト云フ見込ノ下ニ、三十人ト云フコトニ決定致シタノデアリマス

○塚本委員 重ネテ御伺シマスガ、ソレデハ最初二十人ト云フ原案ヲ作ラレタ時ノ心持ハドウデアアルカト云フコトヲ御伺致シマス

○赤松政府委員 労働者保護ノ立場カラ申シマスルナラバ、今マデ度々申上ダタ如クニ、退職手當ノ準備ヲ致シマス必要度ノ濃イノハ、下ニ行ク程濃イト申シテ差支ナイ

ノデアリマス、隨テ希望ト致シマシテハ、最初ノ原案ノ方ガ望マシイ、又一度ハサウ云フ風ニ考ヘテ見タノデアリマス、尙ホ其後研究ヲ重ネマスルニ從ヒマシテ、ソコ迄行キマスコトハ、却テ事業ノ經營ヲ委微セシムルヤウナコトニナリ、延テソレハ産業協力ノ精神ニモ反シ、労働者ノ爲ニモナリマセヌカラ、先づ三十人位ノ所ガ穩カデアラウ、斯ウ考ヘマシタ、若シモ希望ノアリマスモノハ、三十人以下デモ、十分負擔力ノアル者モアリマセウ、サウ云フ人デヤラウト云フ人ガアリマスレバ、三條ニ依リマシテ、本法ノ適用出來ル途モ拓イタ、ソレガ最モ適當デアラウト考ヘテ居リマス

○塚本委員 本法制定ノ目的ガ労働者保護デアルト云フ御答辯デアリマスガ、ソレデアレバ尙ホ以テ私ハ小サイ所ホド必要デアル、他ノ委員カラモ御話ガアッタヤウニ、私本會議デ申上デマシタヤウニ、小サイ工場ホド此種ノ爭議ガ多い、其事實ニ依リマシテモ、小サイ工場ノ方ニ普段カラ準備ヲサシテ置ク、サウ云フ準備ガ普段カラ出來テ居ラヌカラ人ヲ斷ル、臍首ヲスルト云フ場合ニ其問題ニ關聯スル所ノ爭議ガ起ルノデアリマス、斯ウ云フ小サイ工場ホド普段カラ此準備ヲ爲サシムルコトガ必要ナノデア

リマス、併シ此點ニ付テハ極メテ遺憾デア  
リマスガ、問答ヲ繰返シテモ同ジコト考  
ヘマスノデ、次ニ進ムノデアリマスガ、第  
五條ノ所謂臨時工ノ問題デアリマスガ、是  
ハ其後ニ委員會ニ於ケル委員ト政府委員ト  
ノ間ノ質問應答ニ依リマシテ、大體私ガ本  
會議デ御尋シマシタヤウナ事項ニ付テハ、  
ソレハ除外スルモノデハナイ、本法ノ適用  
ヲ受ケルモノデアルト云フコトガ甚ダ明瞭  
ニナツタコトヲ、私ハ心カラ喜ブノデアリマ  
スガ、資本金ノ勞働者雇傭ニ付テハ極メテ  
巧妙ナル手段ガ行ハレテ居ッテ、姓名ノ上ニ  
ハ面番號ト云フモノヲ附シテ居ルモノガ  
アルガ、其職工「カード」ト云フモノヲ其  
時々ニスツカリ切變ヘテシマッテ、面番號  
カラシテ改メテ掛カルト云フヤウナコトデ、  
全ク繼續セラレタ者デナイト云フヤウニ見  
ラレルヤウニ、外部カラ少クトモソレガ窺  
知出來ナイガ如クニ、皆クヤッテ居ル工場  
モアルノデアリマスルカラシテ、本法適用  
ニ付テハ其點十分御注意下サルコトヲ御願  
シテ置キタイノデアリマス、ソレカラ同條  
ノ臨時工ト看做サレルモノデアリマスガ六  
箇月マデ大體臨時工ト看做サレルト云フ規  
定ニナツテ居ルト思ヒマスガ、此臨時工が出  
來マシタノハ、何ト申シマシテモ軍需「イン

フレ」ガ現レテ來テカラデアリマス、私ガ本  
會議デ申上ゲマシタヤウニ、十何年前カラ  
巧妙ニ之ヲ使ッテ居リマシタモノガアリマス  
ケレドモ、所謂今日ノ臨時工ト云フモノハ、  
數年前ノ軍需「インフレ」カラデアリマシテ、  
ソレハ軍需「インフレ」ノ景氣ガ何時マデ續  
クカ分ラナイト云フ不安ノ下ニ、最初大抵  
臨時工ト云フモノハ三箇月以内デアッタノ  
デアリマス、ソレガ軍需「インフレ」ノ景氣  
ガ此調子デハ相當長ク續クト云フ見透シノ  
下ニ、漸次是ガ六箇月ニナリ、最近デハ一  
年ノ期間ノ臨時工ト云フモノモ相當多イノ  
デアリマスガ、私ハ臨時工ト云フモノノ期  
限ハ六箇月デハ長過ル、實際事業「ヤッテ」行  
キマス場合ニ臨時ニ人ガ要ルト云フ場合ニ  
於キマシテハ、六箇月ト云フ期限ハ不必要  
デアアル、今日大キナ産業デアリマシテモ、  
分業ト云フモノガ非常ニ發達シテ參リマシ  
テ、各種ノ大工場ニ於キマシテモ生産能力  
ト云フモノガ極メテ増進シテ居リマス、隨  
テ相當續ッタ大量註文「ガ」アリマシテモ、ソ  
レヲ短時日ニ仕上ゲテ行クコトノ能力ヲ  
持ッテ居ルノデアリマス、サウ云フコトカラ  
致シマシテ、臨時工ノ期限ハ大體三箇月以  
上ヲ超エルコトハナイ、六箇月以上ニナレ  
バソレハ本雇ノ性質ヲ持ツモノダト考ヘテ

居ルノデアリマス、同時ニ季節労働ノ一年  
デアリマスガ、季節労働一年ヲ超エル場合  
ハ云々トアリマスガ、一年ト云フヤウナ季  
節労働ハ私ハアリ得ナイ、季節トハ字ノ如  
ク春夏秋冬ノ意味スルモノダト思フノデア  
リマシテ、其意味カラ行キマシテモ、大體  
春ノ季節、夏ノ季節、秋ノ季節、冬ノ季節  
ト云フヤウニ、誰人モ考ヘルノデアリマス、  
季節労働ト云フノハサウ云ウ意味合ノモノ  
ダト考ヘルニ拘ラズ、季節労働トシテ一年  
間ヲ見込シテ居ルノデアリマスガ、此出サ  
レマシタ所ノ説明書ト申シマスガ、之ニ依  
リマシテハ一年ノ間ニ一箇月位仕事ヲ休ム  
企業ガアルト云フ事例ヲ御舉ゲニナツテ居  
リマスガ、假ニ茲ニ一年ニ一箇月位作業ヲ  
シナイヤウナ産業ガアッタトシマシテモ、サ  
ウ云フ産業ニ於テハ、労働者ハ十一箇月働  
イテ一箇月遊ベバ引續イテ又使ッテ貰ヘル  
ノダト云フ性質ノ労働デアルト思フノデア  
リマス、例ヘバ信州ニ於ケル製絲企業ノ如  
キデアリマス、サウ云フヤウナ長イ季節勞  
働ト云フモノハ認メラルベキモノデハナイ  
ト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ何故臨  
時ヲ六箇月ニ認メラレ、又季節ノ一年ヲ認  
メラレタノデアアルカ、其點ヲ伺ッテ置キマス

○赤松政府委員 臨時工ト認定致シマス、  
期間ヲ六箇月トスルノガ宜イカ、三箇月ト  
スルノガ宜イカト云フコトニ付キマシテハ、  
色々御意見モ多方面ニアルノデアリマス、  
併ナガラ今日産業界ノ實情カラ見マシテ、  
先ヅ六箇月デ區切りマスルノガ大體宜イ  
所デハナイカト、誰モヤハリ認定ニナリマ  
スノデ、數字的根據ト云フヤウナモノモア  
リマセヌガ、サウ云フ積リデ出シテ居ルノ  
デアリマス、尙ホ季節的事業ニ付キマシテ  
ハ、是ハサウタントハナイト思フノデアリ  
マスガ、唯六箇月ヲ超エマシタヤウナモノ  
ガアルカモ知レマセヌシ致シマスノデ、  
是ガ本當ノ休ニシカ過ギナイノデ、來年ハ  
又別ダ、來年ト申シマスガ、次ノ季節ニ付  
テハ、別ノ雇人「レダ」ト云フヤウナ實情ガア  
リマスルモノナラバ、是ハ季節ト見テ差支  
ナイノデヤナイカ、ソレガ引續イテ來ル者  
デアアルノデ、本當ノ休ノ如キ狀態デアリマ  
スルナラバ、ソレハ勿論繼續シタモノト見  
ルノガ至當デハナイカト考ヘテ居ルノデア  
リマス

○塚本委員 六箇月ノ期限ノ長イ短イハ、  
是ハオ互ノ認定ノ相違デアリマスカラ、是  
デ止メマスガ、季節事業ノ今ノ答辯ニ對シ  
テハ、是ハ本法ノ適用ヲ受ケルモノデア  
ルト云フ御答辯ニ付キマシテハ、満足ノ意ヲ

表シテ置キマス、次ニ第六條ノ「賃金及標準賃金ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、是モ御示シナリマシタモノニ依リマスナラバ、大體健康保險法ノ例ニ依ラレルヤウデアリマス、此事ニ關シマシテハ、先ニ渡邊委員カラ、最低賃金法ノ制定ガ必要デアルト云フ質問ガアリマシテ、洵ニ同感ノ意ヲ表シテ居ッタ次第デアリマスガ、私ハ本法ノ適用ニ依リマシテ、健康保險法ニ依ル所ノ賃金並ニ標準賃金デハ、是ハ更ニ深く考ヘテ貰ハナケレバナラスト思フノデアリマス、例ヘバ健康保險法ニ依ル所ノ、一級ト云フモノ、標準賃金ハ三十錢デアリ、二級ガ四十錢、三級ガ五十錢、四級ガ六十錢、五級ガ七十錢、六級ガ八十錢トナッテ、七級ニ至ッテ一圓ニナルノデアリマスガ、今日失業ト云フヤウナ場合ニ、特別手當ヲ二十日ナリ三十五日ナリ減ケルコトニ、此法案デハナルノデアリマスガ、其場合ニ僅ニ一級、二級ノ即チ三十錢、四十錢ト云フヤウナ標準日額ニ依ッテ支給セラレルノデハ、甚ダ勞働者ノ受ケル恩惠ト云フモノハ薄イト言ハナケレバナラヌノデアリマス、之ニ關聯致シマシテ、更ニ私ノ御伺致シタイノハ、健康保險法ニ付キマシテモ、之ヲ改正スルノ御意思ハナイ

カ、少クトモ此規定ハ此規定デ置イテ、サウシテ此扶助法ノ支給ノ場合デアルトカ、或ハ本法ニ依ル所ノ二十日間或ハ三十五日間ノ支給デアルトカ、サウ云フ場合ニ於テハ、第七級ニ滿タザル者ハ第七級ヲ以テ支給スルト云フ風ニ、本法ニモサウ云フ風ニシテ戴キタイシ、ソレカラ又健康保險法ニ於キマシテモ、サウ云フ風ニ改正シテ戴キタイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、其點ニ付テ如何デアリマスカ、御伺ヲ致シマス

○赤松政府委員 本法ノ退職手當ノ標準ニ付キマシテ、標準賃金ヲ健康保險法ノ標準報酬日額ニ依ルト云フコトハ、一應ソレガ國家ノ法制ト致シマシテモ結構ダト考ヘテ居リマスシ、其方ガ誤ガナイト、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、サウ致シテ置キタイト思フノデアリマス、尙ホ標準報酬日額ノ決定ニ付キマシテ、色々御希望ガゴザイマシタガ、只今ノ所、健康保險法ノ方ニ於キマシテハ、別段改正致サウナ順序ニハマダ至ッテ居リマセヌ、尙ホ極ク最低ノ所ニ付キマシテハ、勞働者災害扶助法ノ如ク、一定ノ最低限度ヲ定メタラドウカト云フ御意見ト拜聽致シマシテ、此次マデニ十分研究シテ置キタイト思ヒマス

○塚本委員 只今ノ健康保險法ノ等級ノ間

題ニ付キマシテハ、既ニ各府縣ノ工場課等ニ於テモ、是ハ餘リ善クナイト云フコトヲ御認ニナッテ、ソレノ内務省社會局ニ對シテ御意見ノ申達ノアル所モアルカノヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、實際問題ト致シマシテ、片眼ヲ失ウタ或ハ足ヲ一本失ウタ、サウ云フヤウナ場合ニ於テ、如何ニ標準日額三十錢ニ依ッテ、最高ノ給付ヲ受ケテモ、ソレガ幾ラニナルデアリマセウカ、僅ニ百數十圓ニシカナラナイノデアリマス、此實情ヲ何ト云ッテモ改メテ戴カナケレバナラヌノデアリマスカラ、私ハ切ニ此改正ノ速カナランコトヲ希望シテ置ク次第デアリマス、ソレカラ二十四條ノ但書デアリマスガ、是ハ大體御示シニナリマシタモノニ依ルト、不信ノ行爲ニ依リ解雇スルトキハ全額支給セザルコトヲ得ルト云フコトニ付テハ、吾々ハ何等ノ異議ハナイノデアリマス、併シ第二ノ雇入レ後三年未滿ノ者ニシテ自己ノ都合ニ依リ退職スルトキハ全額支給セザルコトヲ得、三年未滿ノ者ニハ事業主ガ積シタ所ノ積立金ハ一文モヤラナイデモ宜イノダト云フ規定ハ、餘リニ本法制定ノ趣旨ニ副ハナイモノデアアル、ソレト併セテ第三ニ雇入レ後三年以上ノ者ニシテ自己ノ都合ニ依リ退職スルトキハ二分ノ一又ハ三分ノ

一マデ減額スルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマスガ、是モ亦甚ダ無理ナル規定デアルト思ヒマス、其點ニ付キマシテモ私共ハ三年未滿デアッテモ、少クトモ半分ハヤラナケレバナラヌノデヤナイカ、ソレカラ又三年以上デアリマスナラバ、更ニモット多クヤラナケレバナラヌノデハナイカ、而モ此規定セラレテ居ル所ノ積立金ト云フモノ、額ガ、極メテ少額ナルニ於テ、更ニ其感ヲ深クスル者デアリマス、勿論吾々トテモ不都合ノ行爲アッテ辭メテ行ク者ニマデモ、ソレヲ支給セヨト言フノデハナイノデアリマシテ、第一番ニ掲ゲテ居ル問題ニ付テハ異議ハアリマセヌガ、少クトモ無事ニ三年近クモ勤メテ居ッテ辭メテ行ク者ニモヤル必要ハナイト云フヤウナ規定ハ、本法制定ノ趣意ニ副ハナイノデアリマス、ソレカラ更ニ此中ニ疾病、老年其他已ムヲ得ザル事由ヲ含マズ、斯ウ書イテアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テハ是ハドウスルノデアアルカ、其點ガ明ニナッテ居ラナイト思ヒマスカラ、其點ヲ御伺ヒスル次第デアリマス

○赤松政府委員 雇入レ後三年未滿ノ者ニ對シマシテ、自己都合ノ場合ニヤルノモヤラナイノモ、其自己都合ノ事情如何ニ依リ

マシテ、事業主ノ判斷ニ委セテ置クト云フ  
ノガ、大體ノ腹案デアルノデアリマス、元  
來此退職手當ノ制度ト申シマスモノガ、從  
來發達シテ來テ居リマス所ノ日本ニ於キマ  
ス慣行ヲ本ニ致シテ居リマスノデ、ソレヲ  
一應取入レマス同時ニ、ソレニ對シマシ  
テ餘リ不合理ナ所ハ、ソレヲ合理化シテ行  
クノガ大體ノ立前デ出來テ居ルノデアリマ  
ス、殊ニ此退職手當ハ單ニ失業ノ爲メバカ  
リデハナク、一種ノ勤績ニ對シマスル獎勵、  
或ハ勸奨ト云フヤウナ意味モ含シテ居リマ  
スノデ、隨テ極ク短期間ノ者ニ付キマシテ  
ハ、其事業主ノ考ニ任セマシタ方ガ、却テ  
圓滑ニ行クノデハナイカ、御互ニソコハ信  
賴シ合ヒマシテ、圓滿ニ進行致シマスヤウ  
ニ私共ハ切望致シテ居リマス、餘リ嚴ク致  
シマスコトハ、實情ニ副ハナイノデハナイ  
カト考ヘマシテ、此程度ニ止メタイト思ッテ  
居リマス、雇入レ後三年未滿ノ者ニ付キマ  
シテハ、從來ノ慣行ニ於キマシテハ、元來  
自己都合ノ者ニ對シマシテヤリマシタ場合  
ハ極メテ少イノデアリマス、併シ退職手當  
ト致シマシテ既ニ準備ヲ致シテ參リマス上  
カラ申シマシテ、最後ニ辭メマス時ノ事情  
ニ依リマシテ多年ノ勤績ノ功勞ヲ全然没却  
致シマスヤウナ處置ヲ致シマスコトハ、如

何ニモ人情ニ反シタ事柄デハナイカ、又退  
職手當制度ヲ作りマシタ本旨カラ申シマシ  
テモ、半分の力、切メテ三分の一——茲ノ處ハ  
私共モマダハッキリ決ッテ居リマセヌガ、是  
非共ヤッテ貰ヒタイ、ソレ以上ハ、辭メマシ  
タ理由如何ニ依ッテ、色々——全額ヤッテ貰  
テモ、是モ亦大變宜イコト、考ヘテ居リマ  
ス、ソコラハ事業主ノ判斷ニ委ス方ガ圓滿  
ニ行クノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ只今考  
ヘテ居ル次第デアリマス  
**○塚本委員** 只今ノ最後ノ御説明ガ極メテ  
妥當ナ答辯デアルト思ヒマス、其答辯ノ趣  
旨ニ依リマシテ、ドウゾ是ハ三年未滿ノ者  
ト雖モ、少クトモ十分ノ一ヲ與ヘル、三年  
以上ニ於テハ更ニソレ以上與ヘルヤウニ、  
政府ノ方デモ尙ホ決定的ナモノデハナイト  
云フ御趣旨デアリマスカラ、ドウゾ之ニ對  
スル命令ヲ御定メニナル時ニハ、十分ノ御  
考慮ヲ御願申上ゲテ置キマス  
ソレカラ第二十六條デアリマスガ、二十  
六條ノ特別手當ノ支給ノコトガアリマス  
ガ、是モ原案カラ申シマス、私共ノ方デ  
ハ一ツ改惡ニナツタ點ヲ發見シテ居ルノデ  
アリマス、例ヘバ一年以上三年未滿ノ者ニ  
付テハ標準賃金ノ二十日分ニ相當スル金額  
ト云フノハ、原案ニ於キマシテハ、是ハ其

第二ニ示シテアルヤウニ、是ガ三十五日デ  
アツタモノガ、特ニ此三年未滿ノ者ヲ二十日  
分ニ下ゲラレタコトハ、甚ダ遺憾ニ存ズル  
ノデアリマス、ソレニ付テノ私ハ答辯ハ求  
メマセヌガ、但シ此中ニハ工場法ノ規定ニ  
依ル所ノ十四日分ノ豫告手當ト云フモノハ  
全然別デアラウト私ハ考ヘテ居リマスガ、  
左様デアリマスカ、御答辯ヲ願ヒタイ  
**○赤松政府委員** 解雇ノ豫告ハ工場法上ノ  
規定デアリマシテ、本法トハ關係ガゴザイ  
マセヌ、別ニナツテ居リマス  
**○塚本委員** 只今ノ條文ハソレデ満足デア  
リマス  
次ニ第四十一條デアリマスガ、四十一條  
ノ中ニ、「事業主及勞働者ノ出捐ニ係ル組合  
ガ本法施行ノ際現ニ退職手當ニ關スル規程  
ヲ有スル場合ニ於テ事業主行政官廳ノ許可  
ヲ受ケタルトキハ第十一條ニ規定スル退職  
積立金竝ニ第十六條及第十七條ニ規定スル  
退職手當積立金ノ積立ヲ爲サザルコトヲ  
得」斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、茲ニ  
言フ「事業主及勞働者ノ出捐ニ係ル組合」ト  
ハ如何ナルモノデアルカ、現ニ又サウ云フ  
モノガ存在シテ居リマスレバ、實際ニ付テ  
御教ヲ願ヒタイノデアリマス  
**○赤松政府委員** 四十一條ニ書イデアリマ

ス組合ハ、只今考ヘテ居リマスノハ、共濟  
組合ト稱セラレテ居リマスルヤウナ種類ノ  
モノデアルノデアリマス、其二三ハ私承知  
シテ居ルモノモゴザイマスガ、(塚本委員  
「御示シ願ヒタイ」ト呼フ)例ヘバ八幡製鐵  
所ニ於ケル共濟組合モゴザイマス、其他ニ  
色々ナ共濟組合ガゴザイマスガ、其中、  
本法ニ代リ得ルヤウナ實質ヲ備ヘテ居リマ  
スモノ——代リ得ルヤウナ實質ヲ備ヘテ居  
リマセヌトイケマセヌガ、斯ウ云フモノニ  
付テハ、其制度ヲ維持シテ行クコトハ差支  
ナイト考ヘテ居リマス  
**○塚本委員** ソレデハ、茲ニ日本團體保險  
ノ勤績給與付ノ團體保險ト云フモノガアリ  
マスガ、斯ウ云フモノハ勿論私ハ此中ニハ  
入ラスト思フデスケレドモ、如何デセウカ  
**○赤松政府委員** 四十一條ハ組合ト書イテ  
アリマスノデ、團體生命保險ハ組合デアリ  
マセヌ、會社デゴザイマスカラ、四十一條  
ニハ入ッテ居リマセヌ  
**○塚本委員** 最後ニ御伺ヒシタイノハ、第  
十七條ノ問題デアリマス、此問題ニ付テ段  
段ト御議論ガアリマシテ、寧ロ之ヲ削除シ  
テハドウカト云フ御議論モ段々拜聽シタノ  
デアリマスガ、私ハ甚ダ是ハ遺憾デアルト  
思ヒマスシ、本案ノ制定ガ世間ニ傳ヘラレ

マシタ時ニハ、劃一主義デハイカナイト云フ事業主側ノ意見ト云フモノガ極メテ強カッタノデアリマス、サウ云フ事業主側ノ強キ意見ヲモ之ニ取入レテ、サウシテ自由ニ參酌ノ出來ルヤウナ、斯ウ云フ第十七條ノ規定ガ出來テ來タノデアリマスガ、是全ク事實ニ適合スル所ノ手段方法デアルト私ハ思ッテ居ルノデアリマス、併シ此事ガ、偶、此利益分配ニナルノデハナイカ、利益金ノ分配ノ問題デアルナラバ、ソレハ税金ノ形ニ於テ取ルコトハ出來ルケレドモ、斯ウ云フ形ニ於テ取ルコトハ宜クナイデヤナイカ、何處ノ世界ニ一體サウ云ウモノヲヤッテ居ル所ガアルノカ、何處デモヤッテ居ラヌデヤナイカ、日本ニダケヤルノハ怪シカラヌデヤナイカト云フ意味ノ意見マデモ私ハ拜聽シタノデアリマスガ、ヨモヤ之ヲ削除ナサルヤウナ御意見ヲ持ッテ居ラレル方ハ此委員ニハナカラウト考ヘマスルガ、(笑聲起ル)是ハ洵ニ遺憾ナ委員會ノ質問應答ノ次第デアリマシテ、今ヤ國內ニハ庶政一新、國民生活ノ安定ヲ期シテ、庶政ヲ一新シヨウ、少クトモ本議會ヲ通ジテ見マシテモ、所謂資本主義是正ノ方向ニ向ッテ逐次政府ト云フモノガ進ミツ、アル、自由主義カラ統制主義經濟ヘノ變革ヲ見マシテモ、サウ

云ウ歩ミヲ持ッテ居ルノデアリマス、各國ニ其先例ガナイカラ日本ニ行ヘナイト云フコトモ言ヘマイシ、私ハ是ハ是非トモ行ッテ貰ヒタイト思フノデアリマス、政府ニ於テハ、多分此條項ノ削除ニ付テハ強硬ニ御反對ニナルト思フノデアリマスガ、若シモ之ノ削除ノヤウナ意見ガ出タ場合ニハ、政府ノ御意見ハ如何デアリマスカ(笑聲起ル)之ヲ御伺致シマス

○潮國務大臣 只今、若シト云フコトデアリマスガ、ドウモ御假定爲サッテ、御想像ニナツタ問題ニ付テ今直チニ御答ハ申上げ兼ねマス

○塚本委員 尙ホ議論トナルベキヤウナ點モアリマスガ、本案ノ一刻モ早く通過セラレンコトヲ希望スルノ餘リ、私ハ質問ヲ打ち切リマス

○熊谷委員長 渡邊君、アナタノ順番デスガ、何時間位掛リマスカ、簡單ナラバ今デモ宜シウゴザイマスガ……

○渡邊(鏗)委員 私ハ明日……

「『進行々々』明日ニシテ貰ヒタイ」ト呼フ者アリ」

○熊谷委員長 皆サンノ御意見ガドウシデモ是デ散會ノ御希望ナラバ散會致シマスガ、一步デモ進ンデ行ッタ方ガ宜カラウト

思ヒマスノデ……

「『散會々々』散會シマセウ」ト呼フ者アリ」

○熊谷委員長 ソレデハ今日ハ之ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時半ヨリ開會致シマス

午後六時三十分散會